

学習成果レポートⅠ

中間報告

2022 年度 1 期発

アメリカ	・・・p1
イギリス	・・・p113
イタリア	・・・p126
オランダ	・・・p129
カナダ	・・・p130
スペイン	・・・p162
ドイツ	・・・p164
フランス	・・・p166
ベルギー	・・・p172
韓国	・・・p175
台湾	・・・p176
中国	・・・p182



PDF のしおり機能から希望の国や大学のページに飛ぶことができます

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・アイオワ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニングがかなり鍛えられたと実感しています。現地の人の話していることはほとんど理解できるようになり、会話のスピードが現地の人と合わせられるようになりました。また、海外生活の中で様々なカルチャーショックを経験し、「違う価値観とは何なのか」を体感することができています。
学習面での課題	まだまだ Speaking に関しては弱く、言いたいことを表現するのにかなり時間がかかってしまいます。そのため、申し訳ないと思いがちになってしまいますが、一生懸命表情豊かに話せば、現地の人は聞いてくれると気づきました。わからないと思ったら絶対に流さず、聞き返したりするなど、会話に積極的になれるよう努力しています。
学習目標	帰国直前の TOEIC オンラインテストで 800 点を越えること
そのためにやるべきこと	英語を使う場（現地の人と交流できる場）を増やす、授業中、または課題で出されるリーディングは毎度読む時間を測る

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	思い通りにならないことも含めて留学だと考えているので、不満とは思いませんが、大学が夏休みなので、街自体に現地の学生がほとんどおらず、クラブ活動等もすべてお休みになっているという状況で、コミュニティが非常に狭いのが大変残念です。秋学期に期待したいです。
余暇の過ごし方	授業のスケジュールがかなりタイトで疲れてしまうことが多く、身体を休めることに重点を置いています。課題をしたり、近場でお祭りなどのイベントがあれば必ず出向くようにしています。
嬉しかったこと	中国人のルームメイトと仲良くなり、中国の文化や考え方をたくさん教えてくれたことです。また、現地にいる人のほとんどが日本のことを好意的に考えてくれていて、とても優しくしてくれます。安部元総理大臣が亡くなったというニュースが報道されたときには、多くの人から声をかけてもらいました。
苦労したこと	体調を崩して熱を出し、ルームメイトがいるため部屋で一人でゆっくり休めないうえ、寮の外のカフェテリアまで食事を取りに行かなければならず、回復後もその後 1 ヶ月間咳がなかなか治らなかったことです。大学の病院の予約が取れたタイミングで症状は改善したので、コロナだったかは今でもわかりません。この時はとても孤独を感じました。

その他

新型コロナ関連	クラスを担当してくださっている先生がコロナ陽性となったのに、当時誰もマスクをしていないうえ、マスクを着けづらい雰囲気がありました。（マスクを着けてきたら先生たちも含めなぜ今日はマスクをつけたのかいちいちみんなに説明していました）
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・アイオワ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	日本ではあまり学べない長文読解の方法や単語の予測の仕方がわかる
学習面での課題	リスニングの授業で動画を見た時字幕がないと理解できない
学習目標	どんな人ともある程度は話せるようにする
そのためにやるべきこと	いろいろな人と関わる

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	夏は学生がいないので友達を作ることが大変です。人を見つけること自体難しい。
余暇の過ごし方	課題。友人と出かける。
嬉しかったこと	英語で友達とコミュニケーションが取れること。
苦労したこと	100%会話を理解することが難しい

その他

新型コロナ関連	全くありません
ヘイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・アイオワ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	日本にいる時よりも授業内で英語を話すことができる機会が増え、スラスラと英語が出てくるようになった。語学コースでは基礎固めを主に復習できたので、その内容がリーディングなどに役立ったと思う。
学習面での課題	渡航前よりも英語を話すことに対する抵抗は無くなったが、まだまだ自分が言いたいことをわかりやすく適切に伝える技術には達していないと思う。英語を話すことに慣れるために、授業では積極的に発言したり、質問をしたりした。
学習目標	英語を話すことに対する抵抗感をもっとなくす。近くで TOEIC を受けれる施設がないので帰国後にはなっていますが、帰国後に TOEIC900 点を取得したい。
そのためにやるべきこと	毎日 TOEIC の単語帳をやる。ルームメイトと積極的に話す。大学のサークルなどのコミュニティに参加し、英語を使う機会をもっと増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	周囲の人間関係には満足しています。大学の施設も整っており、語学コースの先生方もとても親切で、親身になって話を聞いてくれたり、相談に乗ってくれます。昨日セメスターの変わり目に寮も変わることになったのですが、以前の寮が最悪でした。フロアは男女混合で、トイレとシャワールームが一緒になっている構造なのですが、使い方が本当に汚かったです。何度注意喚起されても最後まで改善されることはありませんでした。時には使えないくらい汚く使用されていた場所もありました。また以前のルームメイトも早朝・深夜のスピーカーでの電話、無断で友達を連れ込む、最後にはドラッグを使用して部屋に帰ってきたこともありました。2ヶ月半という期間だったのでまだ耐えられたものの、これが一年続くようであればさすがに途中で寮を変更していたと思います。
余暇の過ごし方	部屋で Netflix を見る、大学のジムに行く、日本にいる友人と電話をする、ダウントウンを探索する
嬉しかったこと	現地の学生とご飯を食べた、インスタを交換した、平日毎日ジムに行ったら痩せた、食堂のご飯が種類豊富で美味しい
苦労したこと	以前の寮の劣悪な環境下での生活、現地の人が時間にルーズ（授業時間に私含め数人しか来ておらず、時間通りに授業が始まらない、どこかに行く約束をしても当日までスケジュールがわからない時がある）、プライベートな空間の確保

その他

新型コロナ関連	会話クラスの先生がコロナになった。しかしその後の授業は普段通り行われたこと。以前のルームメイトが2回くらいコロナっぽい症状があったものの、普通に生活していたこと
ヘイトクライム	留学初日の空港でアジア人ヘイトと思われるような発言をされた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ウェスタンカロライナ大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	渡航前と渡航 2 ヶ月後に受けた TOEIC オンラインテストの結果が 100 点近く伸びた、耳が慣れて以前よりリスニングが得意になった
学習面での課題	1 ヶ月前に語学コースを修了し学部授業に切り替わってから、教授や周りの生徒の話すスピードに理解が追いつかないことが多々あります。インターナショナルの生徒が自分のみというクラスもありますが、遠慮しすぎず周りのアメリカンや教授に話しかけたり質問することで授業理解とスピーキングの練習を同時に図れるよう努力しています。
学習目標	TOEIC 筆記試験 850 点以上を取得する
そのためにやるべきこと	毎日授業終わりに復習を欠かさずする、今している 3～5 時間の自習を継続する、現地学生の友人を増やせるよう積極的に話しかける

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	インターナショナルの友人は作りやすく仲良くできているが、現地学生の友人を作ることは難しくもどかしさを感じているため。
余暇の過ごし方	日本人の友人、インターナショナルの友人と課題やショッピングなどをして過ごす
嬉しかったこと	留学をしなければ出会えなかった多くの友人ができたこと
苦労したこと	留学生とは仲良くする気がない現地学生もいて、冷たく対応される場合があること

その他

新型コロナ関連	外大生がコロナに感染し、初めてコロナを身近に感じた
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ウェスタンワシントン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英語教育
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業内で意見を述べる機会が多くあるため、初めはためらって話すことができなかったが、学期の最後には自分から進んで意見を述べられるようになった。また、新たな英語教授法をいくつか学んで実践したことで、効果的な授業の作り方について考えが深まった。
学習面での課題	課題の量が大変多く、学期の初めのほうは毎日のように課題に 10 時間以上費やし途中で集中力が切れてしまうことが多々あったので、週末の楽しみを作ったり、ルームメイトとコミュニケーションをとったりして気分転換するように心がけた。
学習目標	TOEIC で 860 点以上と英検準 1 級を取得できるレベルの英語力を身に着けること。
そのためにやるべきこと	ルームメイトに積極的に話しかけてスピーキング力を上げ、語彙力を向上させる。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトに恵まれ、お互いの国の料理を作りあったり、一緒に映画鑑賞をしたり、T シャツを染めたり、週末に出かけるなど良い思い出がたくさんできたから。
余暇の過ごし方	週末も一日課題に費やすことが多かったが、ダウンタウンやシアトル、バンクーバーなどに様々な国の料理を食べに行ったり、ショッピングに行った。
嬉しかったこと	学期の途中で祖父が亡くなり、精神的に不安定な時期があったが、ルームメイトや友達が支えてくれたおかげで乗り越えられたこと。
苦労したこと	スピーキング力に自信がなかったため話すことをためらったり、英語が通じないことがあり、初めはルームメイト上手く意思疎通ができなかったこと。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ウェスタンワシントン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	言語学やアメリカのバイリンガルについての知識が深まった。
学習面での課題	アカデミックな英語を理解すること、授業で発言すること。予習と復習を欠かさずに行う。
学習目標	TOEIC900 点、授業でディスカッションができるようになる。
そのためにやるべきこと	空いた時間に英語でニュースを読んだり TED トークを見たり、参考文献を読んだりしてアカデミックな英語に慣れる。 授業を通して友人を作り、授業の内容の理解に努める。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	自分が思っていたよりも友人を作ることが難しいことや、授業の内容にまだまだついていけないと感じるため。
余暇の過ごし方	友人と出かける、一人で出かける、自習、就活、卒業研究の執筆、家事、絵を描くなど
嬉しかったこと	少しずつアメリカでの生活に慣れてきて、レストランでの注文やスーパーでの買い物を持て行えるようになってきたこと。
苦労したこと	春学期に受講していた授業にほとんどディスカッションがなかったことや、現地学生が授業前ギリギリに来て、終わるとすぐに帰ってしまうため、なかなか現地学生と話すきっかけを作ることができず、友達を作ることに苦労した。

その他

新型コロナ関連	集団感染が多いように感じた。
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ウェスタンワシントン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	映画を字幕なしで理解あらかたできるようになっていた。
学習面での課題	スピーキング力の伸び悩み。日本人同士でも英語を話す。
学習目標	日常会話を流暢にでき、会話を楽しむことができる。
そのためにやるべきこと	とにかく英語を話す時間を作る。（意外と話す機会がない）

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	周りに恵まれ、日本での生活水準とほぼ変わらない生活を送れていると感じるから。 寮も綺麗でルームメイトやスイートメイトともうまくいっているから。
余暇の過ごし方	ジムに通う
嬉しかったこと	NUFS から出発した他の 2 人と波長があい現地でも助け合うことができていること。 現地でいろいろなところへ連れて行ってくれる日本好きの学生に出会えた事。
苦労したこと	物価が高い。円安。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オハイオ州立大学ヤングスタウン校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	今までは授業で一番に発言するようなタイプではなく、人前で話すのがあまり得意ではなかったが、クラスが少人数で自分の意見を求められることが多く、プレゼンテーションも毎週 1 回あり、少しずつ人前で発言することへの抵抗がなくなった。
学習面での課題	活用できる単語数が少ないので新しい単語を何回も復習する。教科書の内容は理解できても、複数の友人との会話に自ら入っていけないことが多いのであなたはどうか？など聞かれるのを待たずに少しでも自分から言葉を発するように努力している。
学習目標	残りの授業は学部授業なのでついていけるかなど心配なことも多いですが帰国して TOEIC で 900 点代を取る。授業だけでなく、自分がアメリカ生活で頼れるような友人関係を築く。
そのためにやるべきこと	授業でわからなかったことは放置せずに積極的に教授やクラスメイトに聞く。 新しく出会った生徒などと積極的に交流する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学コースと一緒に受けていた子達、YSU にいるインターナショナルスチューデントなどとの交流はあるものの、心から気を許せるような友人を作るのが難しいこと。
余暇の過ごし方	友人と出かける、英語で映画鑑賞など
嬉しかったこと	生活面は、何か困った時に相談できる優しい先生がいること。 友人関係は、歳関係なく遊びに誘ってくれたり、インターナショナルスチューデントの子が自分の国の食べ物を振る舞ってくれたこと。
苦労したこと	生活面は、寮に入るとミールプランに入らないといけなく、ヘルシーなオプションが少なく、食生活が乱れる。 友人関係は、留学生だからといって特別扱いをしてくれるわけではないので、自分から積極的に話したりしないと仲良くなりづらい。

その他

新型コロナ関連	日本のようにマスクや消毒の徹底などはされておらず、ほとんどの人がマスクをせず、消毒が置いてあっても使う人はほぼいない。実際に感染してしまったが、大学の対応も素早く、食事のデリバリーや隔離する部屋の確保をして下さり、不満だったこともほぼない。
ヘイトクライム	自分自身であまり経験したことはないが、友人から話を聞いたことはあるので、学部授業が始まってから少し不安な部分はある。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オハイオ州立大学ヤングスタウン校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始後、オンライン留学（日本滞在）と渡航しての留学との混合				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	まだ語学のクラスのみしか受けていないが、ELI の先生に、来たころに比べ自分の意見をはっきり発言できるようになった、すらすら話せるようになった、と言ってもらった。
学習面での課題	リサーチペーパーの書き方について、先生に質問をたくさんした。
学習目標	ネイティブと政治やビジネスの話を深くできるようになる。
そのためにやるべきこと	ネイティブと毎日話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	友人関係はとても良好であるが、寮に対しての外大のポリシーに不満がある。こちらの先生は、自分の恐怖症について向き合って提案してくれたが、外大のポリシーに反するので、変えることが出来ず、シャワーなどを寮で浴びれないことがとても不便であり、とても不満を感じる。一人一人の性格や恐怖症などしっかりと向き合ってくれる、先生も含め、人間関係はとても良好であり、先生、友達に感謝している。
余暇の過ごし方	友達や彼氏と出かける、ジムに行く、部屋で過ごす
嬉しかったこと	彼氏もでき、友達もたくさんできたことで、その人たちと遊んでいる間に英語力が上達し、友達や先生に、英語が上達した、前よりも自信をもって喋れている、とほめてもらえたこと。
苦勞したこと	外大のポリシーにより寮が変更できず、寮についてはとても不便。 自身の恐怖症のせいで、自分の寮でシャワーが浴びれないということ。 こちらの先生が忙し中時間を作って、私と話してくれたりほかの寮について、色々な人と連絡を取って、調べて下さり、外大にも連絡をしてくださったが、外大からの連絡がなかったため、その先生に対してとても申し訳なく感じた。

その他

新型コロナ関連	こちらでは、マスクもほとんどの場面で求められず、コロナウイルスに関してはストレスフリーである。
ハイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オレゴン大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業内や日常会話において、英語のリスニング能力が上がった。意識しなくても英語が耳に入ってくるようになった。
学習面での課題	課題が多いため、タイムマネジメントに苦労している。 課題を効率よくこなす為、1 日のスケジュールを細かく立てたり、To Do リストを作成したりしている。
学習目標	TOEFL iTP、550 点以上取得 TOEIC、880 点以上取得 日常会話だけでなく、自分の分野などのもう少しアカデミックな会話をできるようにする。
そのためにやるべきこと	日常会話の英語だけでなく、TOEFL にも対応できるような語彙力を身につけるために、日々の授業でわからない単語があったら、積極的に調べ、なおかつそれを活用し、アウトプットできるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	現在 AEI（ESL）の授業を受けており、8 割が日本人で、日常会話で日本語を使用する機会が多く、そのことに対して度々フラストレーションを感じる。
余暇の過ごし方	課題をこなしたり、ジムに行ったりしている。
嬉しかったこと	現在寮に住んでおり、親友と言えるアメリカ人の友人ができたこと。
苦労したこと	現地の友人（アメリカ人の友人）を作ることが思っていた以上に大変であること。

その他

新型コロナ関連	特にない。
ヘイトクライム	LA 旅行でコロナに関するアジア人ヘイトな発言を受けた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オレゴン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業開始した頃は、先生の説明を理解する・追いつくのに必死でしたが、数ヶ月経って、リスニング力が身につく、授業の内容をより深く理解できるようになったと思います。
学習面での課題	特にリーディングやライティングの課題などで、わからない単語やエッセイを書くときの表現の幅がまだ狭いと感じます（同じワードやイディオムを使ってしまうなど）それを調べるのに時間がかかって他の課題に時間をかけることが疎かになってしまったことがありました。
学習目標	帰国後 TOEIC を受けて、800 点以上取れるようにしていきたいと思っています。 また、学部授業での成績を全て全体の 75%以上取ることが目標です。
そのためにやるべきこと	夏休みに入りましたが、授業内容の復習（学部授業に内容が近いもの）と予習を通して、英語から離れない生活を続けていきたいと思っています。 1 日最低 5 時間は勉強の時間に当て、ホストファミリーとの交流を通して会話の練習も続けていきたいと思っています。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学学校に日本人が多すぎて、自分が理想としていた語学学校での授業の雰囲気や環境とは大きく異なる部分でした。（自分なりに努力はしましたが、1 日の殆どを過ごす学校内では限界がありました）また、語学 + 学部（春学期・秋学期）のプログラムでしたが、春学期のみ語学、夏と秋は学部授業をとれると思っていましたが、2 ターム（春・夏）も語学学校での授業でした。これは現地に行ってから知りました。事前の説明が不十分だったと感じます。
余暇の過ごし方	モールに行って買い物 サタデーマーケット 友達と食事 学内のイベントに参加など
嬉しかったこと	日本語を勉強している現地の友達と仲良くなりました。日本に興味を持ってくれていること、お互いに言語を教え合うことが嬉しかったです。日本語の細かいニュアンスの違いを説明することは難しかったです、楽しかったです。
苦労したこと	ルームメイトとパーソナルスペースの価値観の違いでトラブルがありました。最初にお互いルール決めをきちんとすることが大切だと思いました。

その他

新型コロナ関連	特にありません
ハイトクライム	特にありません

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オレゴン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	米国でできた友達を通して、今現在使われている表現やスラング、単語を学んだ。また、表現の幅が広がった。
学習面での課題	r や、th の発音に苦労したが、アメリカ人の友達を通して発音を確認してもらっている。また、授業の前日に配布された資料に目を通し、分からない単語を調べて準備している。
学習目標	TOEIC850 英検準一級
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間語彙と単語の勉強をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	自ら留学前に立てた目標である、積極的に自分から行動すること、英語習得という目標に近づいていると感じるから。
余暇の過ごし方	友達と料理や課題、旅行をしている。
嬉しかったこと	アメリカ人の男の子の友達ができ、夏の間ダイニングホールが利用できなかったため、毎日世界各国の料理を作って一緒に食べたこと。また、サッカーが好きな友達が私を試合に誘ってくれて、世界各国の仲間とサッカーをしたこと。
苦労したこと	生活面や友人関係で特に困ったことはないが、韓国人の留学生と友達になり私と韓国人の二人で遊んだ時に二人が韓国語を話しているときに孤独を感じた。

その他

新型コロナ関連	昨日一緒に話した友達がコロナだと聞いて驚いたが自分には特に症状は見られなかった。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・オレゴン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	普段の生活で使う語彙が増えた。
学習面での課題	スピーキング時の語彙力
学習目標	学部授業についていけるようにする
そのためにやるべきこと	毎日英単語を勉強できるように意識する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人が多すぎる
余暇の過ごし方	友人との外出
嬉しかったこと	アメリカ人は思っていたよりもフレンドリーで、友達が作りやすい。
苦労したこと	寮生活のため、寝る時間の違いや生活習慣の違いに少し戸惑ったことがあった。

その他

新型コロナ関連	同じ語学学校内でコロナウイルスが流行り始めた時には、マスク着用が必須になり、不安を感じた。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	現地の友達と過ごしていく中で自然な英語を話せるようになってきている
学習面での課題	エッセイ
学習目標	帰国後英検準 1 級以上取得
そのためにやるべきこと	英検のテスト勉強を毎日 1 時間以上やる

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	現地の友達が多いから
余暇の過ごし方	友達と遊ぶ
嬉しかったこと	問題が発生した時にたくさんの友達が助けてくれたこと
苦労したこと	料理

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	語彙力と積極的に行動することが増えた
学習面での課題	ネイティブ同士で会話しているグループ内や電話での状況下だと英語が聞き取りにくい
学習目標	授業で 90 点以上を取る
そのためにやるべきこと	必ずテスト勉強の時間を作る

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	寮に住んでいるのでたくさんの友達ができるしいつも賑やかだから
余暇の過ごし方	友達と出かける、映画鑑賞、寝る、料理
嬉しかったこと	日本に興味を持ってくれたり、実際に日本へ留学の計画を立てていること
苦労したこと	英語が聞き取れない時に何回も聞きなおしてしまうこと

その他

新型コロナ関連	特になし
ヘイトクライム	アジア人が比較的多いので特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	語彙が増えたこと、英語での日常会話に慣れてきたことで、とっさの状況であっても戸惑うことなく英語で対応できるようになった。
学習面での課題	授業内で口頭でレポート課題が出された場合、トピックや触れなければならない内容を全て正しく理解できているか不安なため、毎回授業後に教授や同じ授業内でできた友達に聞いて確認をするようにしている。
学習目標	全部で 8 つの学部授業を取る予定で、そのうち 4 つで A を取ること。
そのためにやるべきこと	まずは授業内でも使われるようなアカデミックな語彙を身につけること。さらに常に教授や友達とのコミュニケーションを欠かさないこと。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	寮、授業をとおして多くの友人ができ、いろんな体験ができているから。
余暇の過ごし方	友人と遊ぶ
嬉しかったこと	まずは同じ寮内で、毎日遊んだり一緒に勉強する現地の友人達ができこと。さらに、授業内でも友人ができ、彼らがさらに多くの友人を紹介してくれたことで、たくさんの人と知り合い、多くのことを経験できている。皆、私が英語で苦戦していることを理解し、常に教えてくれたり、助けてくれたりする。
苦労したこと	500 人ほど住む寮に 1 つしかキッチンがないため、毎回ダイニングや外食になるため、食に関しては気を遣うのが難しい。

その他

新型コロナ関連	3 月までは校内で、マスクは必須だったが、今ではつけている人をほとんど見かけない。
ハイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で学んだことを生活で応用できるようになった。
学習面での課題	複数人の友達と一緒に話していると聞き取れないことがある。
学習目標	全授業で A をとる
そのためにやるべきこと	授業毎のクイズレット、グループ課題、個人レポートに力を入れる。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	一緒に旅行する中のいい友達ができたし、アメリカの様々なところに行けて、日本では見れない景色をたくさん見れたから。
余暇の過ごし方	Netflix を見たり、買い物をしたり、ご飯を食べに行ったり、友達と話したり
嬉しかったこと	現地の子たちは、日本と違ってそれほど仲が良くなくても気軽に遊びに誘う文化があるから、そこで新しい子に出会えて知り合いが増えていくこと。
苦労したこと	春休みで、キッチンがない寮の時は、大学の食べれるところが全て閉まっていたので食に困った。

その他

新型コロナ関連	コロナについては日本よりも不安がないです。日本の大学では、コロナのせいで 2 年間学校に行けなかつたけど、アメリカの大学はマスクをつけなくて良くなったり、日本よりも柔軟な対応だと思う。
ヘイトクライム	今のところ何も差別を受けたことがないです。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニング力が上がった、現地で使われるスラングが分かるようになった
学習面での課題	語学学校の授業は午前中のみで、授業外でどのように英語力を伸ばすかが課題だった。なるべく現地の学生と一緒に過ごしたり、ひとりのときは英語でドラマを見て勉強していた。
学習目標	ネイティブ同士の会話の中に入っていくこと。全授業の成績で A 以上。
そのためにやるべきこと	現地日本人の友人間でも英語で話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ルームメイトをきっかけに友達を多く作ることができた。
余暇の過ごし方	現地の学生と遊ぶ、またはドラマを見る。
嬉しかったこと	夏休み期間中に遊びに誘ってもらったこと。
苦労したこと	夏休み期間は留学生しか大学寮におらず、人との交流が減り、また車がないため移動が不便だった。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	ハイトクライムを一度も受けなかった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立工科大学ポモナ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業では、用意されたテーマについて、各国の違いを話し合う機会が多く、異文化理解を深められた。また、来たばかりの頃より、リスニング・スピーキング力が向上したように感じられるが、授業での成果というより、日常生活においての現地の学生との交流によるものであると考える。
学習面での課題	リスニング力不足を感じるので、一人の時間には Netflix などを利用してシャドーイングをしている。
学習目標	帰国後の TOEIC で 900 点を取れる英語力を身につける。
そのためにやるべきこと	なんとか通じるだけではなく、文法も意識しながら会話をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	初日からトラブルだらけであったが、親切な人に囲まれて問題なく過ごせている。また、ディズニーがすぐに行ける距離にあったり、ロサンゼルスを中心地も遠くなく、立地が良い。語学クラスの 4/9 が日本人で、環境に不安があったが、寮でたくさんの現地学生と友達になれてとても充実している。
余暇の過ごし方	現地の学生やクラスメイトと出かけたり、他の日本人学生と日本食を作って振る舞ったりしている。
嬉しかったこと	日本の中でも NUFS に来たいと言ってくれた学生がいたこと。
苦労したこと	一対一だとなんとか会話できても、現地学生が複数人になると会話についていけないこと。長期休みはほとんどの学生がキャンパスからいなくなってしまうこと。車がないと不便。物価が高い。

その他

新型コロナ関連	ブースター接種後の高熱が辛かった。室内はマスク着用必須で、思っていたよりも不安は少なかった。
ヘイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サクラメント校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	言葉が詰まらずに会話できることが多くなった。新しい分野の知識を得ることが出来た。理解できる単語が増えた。
学習面での課題	読むスピードが遅い。聞き取った文章を瞬時に理解することができないことがよくある。克服のために恥ずかしがらずに分かるまで聞き返したり、自分でこういう意味か？と聞き直している。
学習目標	TOEIC800 点取得
そのためにやるべきこと	使える単語数を増やす。速読の練習。習った表現方法を積極的に会話の中に取り入れる。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	勉強についていくのに必死で中々友達と遊んだり、会話する時間が少ない時期が多かった。
余暇の過ごし方	友達と遊ぶ。授業の予習。映画を観る。
嬉しかったこと	拙い英語の私と仲良くしてくれる友人が出来たこと。
苦労したこと	勉強と私生活の両立が難しく、多くの友達を作ることが出来なかった。

その他

新型コロナ関連	アメリカでは今まで通りの生活が戻っており、逆に日本に帰国後マスクを常時着用する生活に少し心配しすぎではないかと感じている。
ハイトクライム	想像していたよりハイトクライムを経験することはなく、多くの人が誰に対しても偏見なく交流していた。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サクラメント校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	女性学についての造詣が深まった。
学習面での課題	授業中に教授や生徒が話すときのスピードが異常に早く、なかなか聞き取れない。
学習目標	2 期も GPA4.0 を取得する
そのためにやるべきこと	クイズやテストで満点を取る、なるべく授業は欠席しない

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	円安が酷いから
余暇の過ごし方	友人と遊んだり一人で Youtube を観たりしている
嬉しかったこと	パーティーに参加できたこと
苦労したこと	話すスピードが速くて一度では聞き取れなかったこと

その他

新型コロナ関連	途中からマスクが Optional になり、そのせいか同じ授業を取っている生徒の間でコロナ感染者が増えたこと
ハイトクライム	特にない

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サクラメント校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	最初は、教授の話を聞き取り、理解することが大変であったが、学期末には、耳が英語に慣れ、授業中に自分の意見を言えるまで成長した。
学習面での課題	予習・復習が多く、追いつかない時もあったため、来期では、効率よく取り組めるようにしたい。
学習目標	TOEIC900 点以上を取得
そのためにやるべきこと	現地の人とコミュニケーションを取ることはもちろんのこと、単語や熟語の学習を続け、様々な面から英語学習に取り組む。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	困っているときに助けてくれる友人が多く、また、周りの学生が帰省する夏休みに入ってから、遊びに誘ってくれる現地の友人に出会えたため。
余暇の過ごし方	旅行をするなど、今しかできないことをするようにしています。また、帰国後の就活に向けて web で行われているインターンにも参加しています。
嬉しかったこと	留学生であることを知った同じクラスの学生が連絡先を教えてくれて、授業の相談にのってくれたこと。
苦労したこと	特にありません。

その他

新型コロナ関連	マスクを着用している人が減り、コロナ対策がかなり緩和されたため、感染リスクは増えると感じた。
ヘイトクライム	留学前は、アジア人差別について不安を感じていたが、実際に留学開始してからは、差別をされていると感じたことはまだありません。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サクラメント校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業を受けていくにつれて資料動画などの英語のスピードやいろんな国のアクセントに対応できるようになった。
学習面での課題	授業の資料に使用される動画は問題ないが、文献や新聞の記事は難しい単語が多く単語力を鍛える必要を感じた。
学習目標	前授業で B+ 以上
そのためにやるべきこと	課題点を落とさないようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	授業後や週末も充実していて楽しかった。
余暇の過ごし方	友達のグループとハイキングなどのアウトドアを楽しんでいた。
嬉しかったこと	発音がよくなって、留学生だと思われなかったこと。
苦労したこと	移動手段がバスや自転車では限界がある。

その他

新型コロナ関連	全くもって危機感がなかったことに初めのほうは不安を覚えた。
ヘイトクライム	経験していない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サクラメント校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業中の理解度が日々高まっている
学習面での課題	現地の生徒の発言を聞き取るのが難しい
学習目標	英検 1 級を合格できるほどの英語力を身に付ける
そのためにやるべきこと	たくさんの単語に出会う

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人の友達とも、現地の友達とも仲良くできているから
余暇の過ごし方	外出、勉強、娯楽
嬉しかったこと	現地の友達ができたこと
苦労したこと	自分の言いたいことを伝えられなかったとき

その他

新型コロナ関連	日本より深刻ではなく、不安に感じることはない
ヘイトクライム	まだ経験したことがない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンバナーディノ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力が上がった
学習面での課題	スピーキング力を向上させたい
学習目標	TOEIC600
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間の勉強、積極的に人に話しかける

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	友人はいるが増やしたい
余暇の過ごし方	遊びに行くか図書館で勉強
嬉しかったこと	少しづつではあるが英語での会話をすることに慣れてきた
苦労したこと	知り合いにはなれても友達になることが難しい

その他

新型コロナ関連	マスクをしない人が多くなった
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンバナーディノ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	集中すれば教授の言っていることを大体理解できるようになった
学習面での課題	英語で発言する時、言葉が詰まり、スラスラ言葉を発することができないので、たくさん友達と会話をしようと努力している。
学習目標	TOEIC で 800 点以上取れるまでの英語力をつける。
そのためにやるべきこと	現地の友達とたくさん喋って、会話力を伸ばせるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	何人か現地の友達や、日本人じゃない留学生と友達にはなれたので満足しているが、まだまだ現地の友達などを作れると思うから。
余暇の過ごし方	友達とショッピングに行ったり、観光に行ったりしている。
嬉しかったこと	現地の人はかなり優しくて、いろいろなところに連れてってくれたり、美味しいものを食べに連れてってくれたことが嬉しかった。
苦労したこと	伝えたいことをすぐに伝えることができないことが苦労した。

その他

新型コロナ関連	カリフォルニアはマスクなしで生活できるほど制限が緩和されているのでとても生活しやすい。
ヘイトクライム	ヘイトクライムは経験したことがない。思った以上に現地の人は優しい。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンバナーディノ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ENTR の知識がついた
学習面での課題	特にない
学習目標	ENTR の知識を増やす。自分のアイデアをもつ。
そのためにやるべきこと	自分の好きなことを追求すること。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	特にない
余暇の過ごし方	友達と遊ぶ
嬉しかったこと	日本のことが好きなこと
苦労したこと	特にない

その他

新型コロナ関連	自分が感染したこと
ヘイトクライム	ない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	戸惑うことなく時制を意識して英語を話せるようになった。
学習面での課題	アメリカ人が話す英語のリスニング
学習目標	アメリカ人とスラスラコミュニケーションが取れるようになりたい
そのためにやるべきこと	アメリカ人の友達を沢山作り、場数を踏む。授業イベントにも積極的に参加する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人が多い
余暇の過ごし方	ルームメイトやインターナショナルの友達と出かけていました。
嬉しかったこと	沢山友達ができたこと。
苦労したこと	アメリカ人の友達を作るのが難しいこと

その他

新型コロナ関連	みんなマスクをしていないので、たまに不安になります。
ハイトクライム	ないです。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキングの力がついた。
学習面での課題	自分の意見の立場をはっきり言うことができず、あいまいな中立的な答えしか言えていなかった 때가 あった。授業の中で自分の考えや疑問を発表できるようにあらかじめ予習をしっかりとし、発表内容を大方考えている。
学習目標	帰国までに日中会話のみならず、アカデミックな内容についてすらすら議論できるようになりたい。
そのためにやるべきこと	世界で起きていることや、あらゆる社会的な議論に対して自分の意見を明確に示せるようにする。情報収集をして、話す練習をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	周りの人々に恵まれているからです。先生や、ホストファミリー、クラスメイト、ルームメイト…たくさんの人に支えられていると感じ、それが勉強のモチベーションになっています。学校の留学生サポートも非常に充実しています。
余暇の過ごし方	ホストファミリーや友達とビーチで過ごすことが多いです。
嬉しかったこと	良い先生やホストファミリー、友達に会えたことです。
苦労したこと	靴を部屋の中で履くのがいまだに気持ち悪いです。友人とは打ち解けるまでは少し時間がかかりました。

その他

新型コロナ関連	ほぼ誰ももうマスクをしていない状況です。前学期は学校のクラスルームのみマスク着用必須でしたが、今月からマスクは必須ではなくなり、オプションになりました。先月末濃厚接触者になりました。（隔離をし、結果は陰性でした。）学校を含まないところに COVID テストを無料で受けられる場所があり、それを活用しています。
ヘイトクライム	特にありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESS II	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ディスカッションを重ねていくにつれて、価値観の違いを理解するようになった。
学習面での課題	リーディングの量が多すぎる。何日かに分けて読んでいる。
学習目標	全授業の成績「良」以上を達成したい。
そのためにやるべきこと	リサーチペーパーなどの課題が残っているため、しっかり取り組んでいく。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	現地での友達が少ないため、やや満足。
余暇の過ごし方	勉強と就活に時間を割いている。
嬉しかったこと	ホストファミリーがよい人たちだったこと。
苦労したこと	話す速度が速すぎて聞き直さなければならなかったこと。

その他

新型コロナ関連	特になし。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	最初全く分からなかったニューヨーク出身の早口の先生の話についていけるようになった。
学習面での課題	語彙力とスピーキング力が足りない。英語で映画を見り、ホストマザーとたくさん話して英語を使う時間を確保している。
学習目標	TOEIC950 IELTS7.0、日本文化を英語で正しく伝えられるようになる。
そのためにやるべきこと	英単語力の強化、英語の記事を読む、英語でドラマや映画を見る

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ホストファミリーに恵まれたため。
余暇の過ごし方	ホストファミリーやアメリカ人の友達と過ごしたり、サーフィンや筋トレをしている。
嬉しかったこと	クリスチャンのアメリカ人がとても優しく、毎週火曜日、映画に誘ってくれた。
苦労したこと	寮生活でアメリカ人の女の子たちと本当の友達になるのは難しかった。

その他

新型コロナ関連	不安に思ったことは特にない。PCR 検査が面倒だった。
ヘイトクライム	幼稚園くらいの白人の子がブロンド好きで、私とブロンドの子たちに対しての反応の違いにすこし悲しくなることがあった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	初めの頃は英語があまり聞き取れないこともあったが、割と聞き取れるようになってきた。
学習面での課題	先生の言っている事は割と理解できるが、生徒が発言した際に聞き取りに苦労している。
学習目標	全授業の成績で 80%以上を取る
そのためにやるべきこと	夜寝る前に毎日ラジオを聴くようにする

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	自分が思っていた通りになっているから
余暇の過ごし方	家で YouTube を見る
嬉しかったこと	サッカーでいいプレーをした時に褒められた時
苦労したこと	言っていることが聞き取れない

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学サンマルコス校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業のグループワークで積極的に発言できるようになった。
学習面での課題	現地のアメリカ人の生徒たちとディスカッションをするとき、とても会話のスピードが速いから、自分の意見を考えているうちに怪腕愛用が変わってしまっていてなかなか発言できない。なので、まず言葉を発して、考えながら発言するように努力している。
学習目標	帰国時の TOEIC スコア 900
そのためにやるべきこと	毎日英語の本を読む

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	日本人の友達よりアメリカ人の友達のほうが多いから。
余暇の過ごし方	アメリカ人の友人と電話している。
嬉しかったこと	いい気候の中い友達と過ごすことが出来たこと。
苦労したこと	乾燥するので、肌がカサカサ

その他

新型コロナ関連	アメリカ人はマスクをつけません。義務もなくなりました。
ヘイトクライム	とくにありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学スタニスロース校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業内で恐れずに質問や回答する度胸がついた。活用できる単語数が増えた。会話のキャッチボールが以前より出来るようになった。
学習面での課題	自分の意見を英語で伝えることが難しい。それを克服するために使える単語数を増やしたり、日常から英語で会話をする機会を増やすようにしている。
学習目標	詰まることなく英語でコミュニケーションが取れるようになること。
そのためにやるべきこと	積極的に行動して、沢山の人と会う機会を増やし英語に沢山触れるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	文化の違い、多様性を身をもって感じることができるから。
余暇の過ごし方	旅行、料理、映画を見る。
嬉しかったこと	様々な国出身の友達が出来たこと。
苦労したこと	食の違い、他国出身の人との性格、価値観の違い。

その他

新型コロナ関連	身近な友達が陽性になり、身近に感じた。
ハイトクライム	ニーハオと知らない人に挨拶された。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学スタニスロース校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	自分の意見が英語でほとんどいえるようになった
学習面での課題	苦労していることは、課題の管理です。先生が課題の情報を早く話すため、時々聞き取れないことがある。
学習目標	TOEIC のスコア 800 点を目標にしています。
そのためにやるべきこと	会話においてはだいぶ自分の意見を言えるようにはなったが、文章を読むときわからない単語が多いのでボキャブラリーを増やしていきたい。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	たくさんの友達ができ、いろんな国の友達になれたから。
余暇の過ごし方	現地で出会った友達とご飯を食べに行ったり筋トレなどをしている。
嬉しかったこと	アメリカについたばかりの時は英語を話すことにためらいがあったので友達を作ることが難しかったですが、今では、たくさんの友達ができたので毎日楽しく生活しています。
苦労したこと	アメリカについたばかりの時は英語を話すことにためらいがあったので友達を作ることが難しかった。

その他

新型コロナ関連	特になし
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学スタニスロース校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキングがよくなるようになった、課題をこなす力がついた、レポートの書き方を再確認できた、積極的に発言をするようになった
学習面での課題	タイムマネジメント
学習目標	TOEIC700 点
そのためにやるべきこと	毎日自習 2 時間、日本人以外の子が 1 人でもいたら、日本語を全く使わないようにする

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	毎日とても楽しいから
余暇の過ごし方	旅行、買い物、映画鑑賞、散歩、ジム、図書館での勉強
嬉しかったこと	人生においてとても大切な友達がたくさんできた。英語だけでなく、スペイン語、中国語、韓国語も学ぶことができた。そして、それらを学ぶモチベーションができた。語学コースだけを取っていて、さらに不運なことにクラスメイトは名古屋外国語大学から来たメンバーしかおらず最初は自分のした選択をととても悔やんだ。しかし、その日本人メンバーは私を支えてくれるとても大切な存在となった。また、クラスでは作れなかったものの、他の国の留学生や現地の友達もパーティーや友達の友達繋がりで沢山できた。また、ポッドキャストや YouTube、ハイキングなど新しいことに友達と挑戦できた。
苦労したこと	英語で自分が言いたいことを全て伝えられる技量がまだなく、とても歯がゆい思いをした。また、生活面では食生活が日本とはとても異なっているので肌は荒れ、太った。

その他

新型コロナ関連	特になし
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学スタニスロス校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力が向上した。
学習面での課題	リスニングは問題ないが、話す時に少しまつてしまう時があるので、積極的に話して改善させている。
学習目標	授業で A を取ること。
そのためにやるべきこと	もっと積極的にネイティブの人と交流して、聞き返さないように耳慣れさせる。そして積極的に意見を言ったり、コミュニケーションを取ったりして、おいてかれないようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	大学生組織に加入したため、人脈が増えた。
余暇の過ごし方	観光したり、ジムに行ったりしている。
嬉しかったこと	人脈が増えたこと。
苦労したこと	ない。

その他

新型コロナ関連	ない。
ヘイトクライム	ない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モントレーベイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	深いトピックについて議論できるようになった。クラスメイトと問題なく話せるようになった。
学習面での課題	レポートでアカデミックな言い回しがあまり思いつかない為、書いた後にライティングアドバイザーに添削をしてもらい、語彙を増やしています。
学習目標	英語のみでも働けると思えるくらいに自信をつけること。
そのためにやるべきこと	友達（日本人を含む）と英語で会話すること。取り扱えるトピックを増やすために深い内容を話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	なにより英語を話すことが好きなので、毎日誰かと会話できる状況に満足しています。
余暇の過ごし方	気分転換にギターを弾いたり、韓国語を勉強しています。
嬉しかったこと	音楽クラブによく呼んでもらえたこと。毎週外食に行く友達が出来たこと。
苦労したこと	特にありません

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モンレーベイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	初めの頃は先生の説明が全くと言っていいほど理解することができなかったが、今では全ての単語と文法が聞き取れているわけではないが文脈や聞き取れる単語が増えてきたので理解できるようになってきた。
学習面での課題	対自分の会話は少しゆっくりと話してくれるので理解しやすいが、ネイティブ同士の会話はすごく早いので理解することができない。日常会話では知らない言い回しがたくさんあるので、もっとインプットすればより聞き取れることができると思う。スピーキングについては、語学授業だったので話す機会があまりなく伸び悩んでいる。独り言英会話をして文法を定着させたり、学んだ言い回しを使うようにする。 リスニング：ネイティブの言い回しを学ぶ スピーキング：独り言英会話で文法、単語、言い回しを定着させる
学習目標	TOEIC 11 月で 850 点 1 月で 900 点 学部授業の成績 GPA 3.8
そのためにやるべきこと	アニメのシャドーイング、洋楽で発音練習、TOEIC のリーディングと文法の問題集 1 セクションずつ、TED のディクテーション、PODCAS 聞き流し、英語でドラマをたくさん見る

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ネイティブの友達を作ることができなかった。語学授業は 1 人以外全員日本人だったのでネイティブではなくても他の国から来た生徒と仲良くなる機会が少なかった。
余暇の過ごし方	ホストファミリーに誘われたら勉強よりも優先する。日本語を教えるボランティアに参加。そのほかは英語の勉強と就活準備。
嬉しかったこと	少しでも会話ができた日はとても嬉しい日になる。ホストファミリーは友達がたくさんいるのでたまに紹介してくれて仲良くなることができた。
苦労したこと	夏休みの間ネイティブと話す機会を増やすためにホームステイをすることにしたが、ホストファミリーが忙しくあまり家にいなかったため思ったほど会話をすることができなかった。物価が全て高いので日本のスーパーと比べる癖をやめなければいけない。アメリカ料理を毎日食えること。

その他

新型コロナ関連	テレビを見なくなり、ネットでもニュース見ないので、コロナがどれほど増えているのか実感できない。学校外でマスクをつけている人はほぼいない。語学授業中 2 回ほど濃厚接触者になった。共同生活をしているのでクラスターが発生しやすい。
ハイトクライム	アジア人を嫌っている人がいるのは聞いたことがあるが、実際に何かされたことはない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モントレーベイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	クラス内で発言できるようになった
学習面での課題	アメリカの社会問題を学ぶ授業で、他の生徒と違って、全く歴史的背景を学んでいないので授業についていくのに必死になっている。とにかく教授が話していることをメモを取る。
学習目標	全授業の成績で A 以上を取ること
そのためにやるべきこと	final exam に向けて今から準備すること

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトとも現地の友人とも良好な関係を保っているから
余暇の過ごし方	Youtube を見るか、ビーチに行くか、友達の寮で映画を見る
嬉しかったこと	日本語のアシスタントをしていて、そのときお互いに切磋琢磨できていること
苦労したこと	寮にキッチンがないから、電子レンジでできる料理しか食べれないので不便。あとは食料品店が遠い（歩いて 30 分）

その他

新型コロナ関連	大学内ではみんなマスクをしているが、屋外ではマスクを外している人がほとんどだと思う。特に不快に感じていない。ほとんどの人がクラス内でマスクをしている。
ヘイトクライム	大学内のカフェの店員が「There s a fun name coming up」と目の前で言われたが、みんな特に気にしていなかった。（何を意図して行ったのかわからない。）

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モンレーベイ校				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	英語教育専攻
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	日本にいるときは中々自分から発現することが出来ずにいましたが、こちらの授業ではみんなが積極的に発言をしている中での環境なので、私自身も積極的に発言することが出来るようになりました。
学習面での課題	授業中でも分からないポイントがあれば先生に質問をして内容の理解に繋げることが出来ているので、今のところ困難なポイントはありません。
学習目標	秋のオンライン TOEIC テストで、前回の点数 625 点よりも高い点数の取得
そのためにやるべきこと	帰国後に TOEFL の受験を考えていたので、今はその勉強を並行して行っています。上記で書いた目標については、テスト形式は違いますが、どこか通ずるものはあると思うので引き続き勉強に励もうと思います。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	私は語学コースを春学期の間に受けていたのですが、同じクラス 11 人のうち 10 人が日本人で、授業内外で日本が飛び交っている環境に少し残念に思いますが、私はいつも韓国から来ていた子と英語を使って普段の生活を送っていたので、個人的には英語学習を他の子たちよりも出来ていたのかなと考えます。これらが理由となります。
余暇の過ごし方	今日から（5 月 20 日/アメリカ時間）夏休みなのですが、6 月 6 日に始まる夏の授業への参加を決めました。なので、それまでの間は休んで、夏授業に精を出そうと思います。
嬉しかったこと	私は上記でも書いたように、韓国から来ていた子と仲良くしてもらっていて、お互いの国の紹介をしあったり自分の知らないことの情報交換をすることが出来たのは、良い経験にもなったなと思います。 また、私はありがたいことにルームメイトの 2 人がとても親切だったので毎日の生活を楽しく送ることが出来ました。
苦労したこと	いつも学内で交流していた友達とは違う人達との交流だったので相手の心の開き方や態度を掴むのは難しく、大変だなと感じることはありました。

その他

新型コロナ関連	春休み明けに同じクラスの複数名がコロナの陽性になり、クラスが 1 週間オンラインになったことがありました。やはり、どこでもコロナの影響はあるのだなと感じました。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モントレーベイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	ライティング能力や文法表現が段々伸びてきたことと、アメリカ文化についても教養が深まった。
学習面での課題	リーディングの課題が多いため、すべての内容を読み課題に取り掛かる時間がないので内容の重要な部分の読み取りが難しい。そのために速読を心がけていた。
学習目標	帰国してから toeic800 点以上を取得したい
そのためにやるべきこと	休み期間もひとりで過ごすことを避け、多くの人と会話の機械を得るようにする

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人の留学生がとても多いため、どこに行っても日本人と巡り合う
余暇の過ごし方	旅行、趣味、運動、遊び
嬉しかったこと	大学に日本語学科があり言語交換がしやすい
苦労したこと	円安のために生活が苦しい

その他

新型コロナ関連	なし
ヘイトクライム	なし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モントレーベイ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	ライティング課題の時に同じ単語を繰り返し使わなくなった。会話のしている時のボキャブラリーが増えた
学習面での課題	特に歴史の授業は、話を聞いているだけでは理解するのが難しいと感じたので、予習で教科書の内容を読んでそこからネットで詳しく調べて、それでも分からないことは授業後に質問している。 日本人同士でも英語で会話をし、日本語を使わないようにしている。
学習目標	全部の教科の成績を A にする
そのためにやるべきこと	英語で日記を書く。課題について分からないことがあったら教授に質問する、もしくは CLC という課題について手助けしてくれるサービスを積極的に活用する。リスニングとボキャブラリーを増やすために今まで以上に現地の人と交流する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	たくさんの友人を作ることができ、留学前よりも自分に自信が持てるようになったと感じているから
余暇の過ごし方	友達とショッピングカートの部屋で映画を見る。課題をする。
嬉しかったこと	自分の英語が成長しているか悩んでいた時に、友達から自分は日本語全然話せないから、会話できるなんてすごいって言ってもらえてこと。それが、自分への自信に繋がった。 私と友達になってくれてありがとうと言われたこと。
苦労したこと	初めの頃は、相手の話している内容が全く理解できなくて会話に入らなかったこと。

その他

新型コロナ関連	学校で一度クラスターが起きた。今はカリフォルニアはマスクの着用義務がなくなったので大勢の人がマスクを着けていない。
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア州立大学モントレーベイ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	長文の英語を読むことへの耐性が付き、授業中の発言も増えた
学習面での課題	文章にできても、実際にすらすらと言葉で瞬時に出すことが苦手なので、授業外でもなるべく英語を口にすることを意識している
学習目標	TOEIC スコア 800
そのためにやるべきこと	わかってるつもりをなくし、基礎から固める

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトもクラスメイトも親切
余暇の過ごし方	友達と出かける、ジムに行く
嬉しかったこと	予想以上に日本に興味を持ってくれる
苦労したこと	自分の英語が伝わらず誤解されること

その他

新型コロナ関連	クラスにクラスターが発生し、オンラインになることがあった
ヘイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア大学アーバイン校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	選考分野の知識が深まった。日本で取れないような授業からの学び。
学習面での課題	課題の量の多さ。就活と並行して留学をしているため、夜は就活に時間を割かれることが多く、十分な勉強時間を確保できていない。
学習目標	ボスカリで内定獲得
そのためにやるべきこと	高 GPA の維持→毎日の学習時間をさらに増やす最低 5 時間から 7 時間へ

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	友人が多くでき、様々な経験ができており、勉強面に関しても高 GPA を維持できているから。
余暇の過ごし方	外出 勉強 就活
嬉しかったこと	友人が多くできた
苦労したこと	日本人との距離感

その他

新型コロナ関連	特になし
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I (中間報告) 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア大学アーバイン校				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修 (+ 語学科目を一部履修する場合も含む)				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	活用できる単語数が増えました。特に、自分の興味のある分野の英語の専門用語を多く学んだことによって、日本語でも英語でも同等のクオリティの議論やライティングができるようになったと感じています。 また、根性と度胸が鍛えられました。日本では、ディスカッションは時計回りに順番に発言したり、「○○さんはどう思う？」と相手に尋ねたりと、全員が平等に発言できるような配慮や気遣いが多くみられると思います。しかし、アメリカではディスカッションはまるでコンペティションのようで、いかに自分の意見を多く言えるかを競い合っているように感じられることがあります。自分の番を待っていたり、誰かが自分の意見を求めてくれるのを待っていると、一言も発言できずに終わってしまうので、自分からガツガツ発言したり、ディスカッションのファシリテーターになったりするようになりました。
学習面での課題	留学開始直後は、リーディングの多さに圧倒されました。10 週間で約 50 の文献を読まなければならなかった授業や、毎週本 3 章分のリーディングが課される授業がありました。私は集中力と単語力が低いので、リーディングにはとても時間がかかります。メモをしっかり取ることでテスト前に全部読み直さなくてもいいようにしたり、PDF の自動読み上げ機能を用いてリスニングで頭に取り込んだりと、工夫しています。
学習目標	英検 1 級と、IELTS でオーバーオール 9 を取得したいと思っています。
そのためにやるべきこと	私はとにかく単語を知らないで、いつも文献で知らない単語が出てきたらすぐに調べてノートにまとめています。また、その単語を会話やライティングで使用し、実際に運用する力を養うようにしています。英検は単語力が極めて重要な語学試験だと思うので、この習慣を続けていきたいです。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	私は普段は自分のペースで生活したいのですが、たまには友人と出かけたりご飯を食べたりしたいので、それができるゆるい関係性の友人が数人できたことに満足しています。
余暇の過ごし方	毎月、時間を見つけて旅行(ハイキングや観光スポット巡りなど)をしています。
嬉しかったこと	オリエンテーションの日に、他の大学から来た同じ学部留学の人たちに頑張って話しかけました。インスタをたくさん交換したので、困ったことがあった時にお互い助け合えて良かったなと思います。
苦労したこと	私は元々英語が話せるので、英語を学ぶためではなく、日本では学べないような自分の興味のある分野について学ぶために留学をしました。なので、現地で日本語を喋ることに抵抗はありませんでしたが、現地で出会った他の日本人留学生の英語を学ぶチャンスを奪ってはいけないなと思い、無理して英語で会話をしていた時期がありました。私は母国語は日本語で日本語の方が得意なので、できれば日本語で会話できる友人が欲しいなと思っていました。そのうちインターナショナルスクール出身で英語はもうペラペラな子や、たまには日本語を使いたいと思っている子とは日本語で話すようになり、スッキリしました。

その他

新型コロナ関連	特にありません。私の留学先大学ではずっとマスク必須だったので、安心して授業を受けることができました。
ハイトクライム	特にありません。私の留学先大学があるアーバイン市はアジア人がとても多い地域だったので、アジア人だからといって肩身の狭い思いをすることはありませんでした。旅行が好きで、1 人で白人が多い地域やヒスパニックの多い地域を訪ねることもありましたが、不安を感じることは一度もありませんでした。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カンザス州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	イディオムを毎日 1 つ学ぶ事で、日頃の英会話で使える表現が増えている事。
学習面での課題	正しい文法を使うことを意識しすぎて、他の留学生よりも発言数が少ない事。
学習目標	前授業で B 以上の判定
そのためにやるべきこと	予習復習、課題提出はもちろんのこと、講師とのコミュニケーションを大事にし成績を常に意識すること。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	多くの友人を作れたから。
余暇の過ごし方	旅行
嬉しかったこと	毎夕食一緒に学食を食べることを誘ってくれる友人ができたこと。
苦労したこと	同室のアメリカ人の衛生面

その他

新型コロナ関連	マスクは 3 月から義務が撤廃され、現在ではコロナを身近に感じない。
ハイトクライム	全くない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カンザス州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	渡米当初より発言することに対する緊張がなくなった。以前よりも自然な英語が話せるようになった。
学習面での課題	イディオムや単語量の欠如がまだ目立つ。
学習目標	全授業の成績で A を取る。
そのためにやるべきこと	できるだけ多く現地でのコミュニケーションを試みる。毎日自習を 2 時間は行う。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	大学が留学生のために多くのイベントを開催しているため、他の国の留学生との関わりが多く持てるため。
余暇の過ごし方	買い物、課題、友人と出かける、旅行
嬉しかったこと	渡米当初は理解できなかった人たちとの会話ができるようになったり、ルームメイトに実際に英語力が向上したと言ってもらえたこと。
苦労したこと	最初は耳が英語になれず聞き取れないことが多く、特に地域によって聞き取りづらいアクセントがあり、慣れるまで大変だった。初めての土地で、公共交通機関も少なく、乗り方もわからなかったため、生活に必要なスーパーなどの位置を把握するのが大変だった。

その他

新型コロナ関連	マスクをすることがなくなったこともあり、コロナに対する危機感が薄れた。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・サンフランシスコ州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	レポートに書く際の英語表現の幅が広がった。
学習面での課題	締切りぎりぎりまで溜めずに計画的に分散させる。
学習目標	もっとディスカッションに参加できるようになる。
そのためにやるべきこと	単語をより学び、現地日本人の友人間でも日本語の使用を意識して抑えるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	不満が特にないから。
余暇の過ごし方	映画やドラマ鑑賞、友人と出かける、ジム
嬉しかったこと	交通の便がいい。日本食が手に入りやすい。
苦労したこと	物価が高すぎる。

その他

新型コロナ関連	最近はマスクをしていない人が多いこと。
ハイトクライム	寮付近をうろついていたホームレス女性に「中国に帰れ」と何度も言われたことがある。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・サンフランシスコ州立大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	教授が話していることが以前より聞き取れるようになった 国際関係の授業をとっていたため時事問題を多面的にとらえることが出来るようになった
学習面での課題	教授の話が聞き取れるようになったとはいっても、まだまだ完全には理解できていない 特に、英語圏以外からの教授は方言やなまりがある教授が多いためより理解することが難しい そもそも英語の文章理解+内容理解の両方に時間がかかるため自習に時間がかかる 授業内でパツと意見を求められたときにその場で意見を言うのが難しい いくら初級の授業を履修しているとはいえ、特に私の授業はほとんど留学生もいないような学部の授業なので周りはネイティブばかりなので言語の面でとても苦労した
学習目標	ディスカッション形式の授業であれば積極的に自分から意見を言う 希望も込めて全授業の成績で A をとる
そのためにやるべきこと	内容を理解するために予習復習に力を入れる 現地の友達を増やしどんどん英語を話す機会を増やす

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	はじめは授業内で知り合った現地のこと仲良くしようと奮闘したが、やはり言語の壁や文化の違いを感じてしまい日本人の友人と過ごすことが多かった。
余暇の過ごし方	language exchange といったサークルのような場でできた友人たちと現地の学生たちも含め休みの日はごはんに行ったり出かけたりした。
嬉しかったこと	現地の学生たちと一緒にご飯を食べて交流を深めることが出来たこと。
苦労したこと	五人と一緒に住んでいて、ハウスメイトとうまいかなかった場面もあった。 私以外が全員アメリカの現地の学生で、そこに一人で入っていくのはとても難しく、文化や言語の壁を痛感させられた。 国関係なく合わない人は合わないから気にしすぎないほうが良いということを学んだ。

その他

新型コロナ関連	私は留学開始直前にコロナにかかったため、渡米してからのコロナに対する不安はあまりなかった。反対に、渡米した直後はサンフランシスコのほうでコロナに対する意識が高く、どこへ行ってもワクチン接種の記録を提示しなければいけなかった。また、キャンパス内で無料の PCR を受けることが出来たからとても便利だった。
ヘイトクライム	留学開始前個人的にとってもヘイトクライムについて心配していたが、現地に行ってみるとアジア人差別を感じる場面は一度もなかった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・サンフランシスコ州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語が頭からすぐ出やすくなっている。
学習面での課題	特になし。
学習目標	全てのクラスでパスをする。
そのためにやるべきこと	毎回授業に出席し、テスト前にはしっかりと勉強をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	旅行がたくさん行けるため。
余暇の過ごし方	友人と出かけたり、寮でゆっくりと過ごしている。
嬉しかったこと	自炊が少しできるようになったこと。
苦労したこと	ルームメイトとの生活習慣が違うこと。

その他

新型コロナ関連	熱が出たが、コロナじゃなかった。毎日学校から感染者情報が来る。
ハイトクライム	先日、寮の前の町で中国に帰れとホームレスの女性に言われた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・サンフランシスコ州立大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニング力が向上したと感じます。当初はアクセントが強いと何を言っているのか理解するのが大変でしたが、慣れてくると全く分からないからなんとなく理解できるようになりました。
学習面での課題	授業だけで理解するのは難しいので、復習の時間と課題の時間が長くなってしまうことです。時間確保のために、授業後は寮ではなく、図書館に行き、夜まで勉強しています。
学習目標	TOEIC 900 点、英検準 1 級
そのためにやるべきこと	毎日授業終わったら夜まで図書館で勉強する。少しずつ課題を進める。分からないことはすぐに聞く。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	前学期のルームメイトとハウスメイトが薬物やお酒を飲んでいて嫌でした。特に薬物は怖かったです。それ以外の友人関係は良かったです。
余暇の過ごし方	友達と遊んだり、家で休んだりします。
嬉しかったこと	・いろんなバックグラウンドを持った人と会って、自分も頑張ろうと思えたこと。 ・前学期の授業で仲良くなった子が夏休み後も遊びに誘ってくれたこと。（一時的な友達ではなかったから）
苦労したこと	・ホームシック ・物価の高さ ・円安

その他

新型コロナ関連	友人がコロナにかかったとき、ルームメイトとハウスメイトが参加したパーティーにコロナ陽性者が出たときは、毎日検査薬を買ったり大学の検査をしました。また、喉が痛くなったときはすごく不安になりました(すぐ検査して陰性)。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ショアラインコミュニティカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	会話はある程度可能になった。
学習面での課題	難しい内容やニュアンスはたまに理解不能。日々単語など勉強して克服に励んでいます。
学習目標	TOEIC900
そのためにやるべきこと	帰国後 TOEIC 対策を 1 時間ずつ行う。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	たくさん友達ができたから。
余暇の過ごし方	野球観戦
嬉しかったこと	料理が上手くなったこと。
苦労したこと	ルームメイトが臭い。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ショアラインコミュニティカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語でレポートを書く力が着いた。
学習面での課題	発言する際に表現力が足りないと感じる時がある。
学習目標	TOEIC900 以上、英検一級
そのためにやるべきこと	学部授業だけでなく、英語の勉強もしている。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	コロナの影響で志望大学が変わってしまい、コミカレになってしまったこと。
余暇の過ごし方	イベント参加や課題
嬉しかったこと	いろいろな国の人と会うことができた。
苦労したこと	ルームメイトが使う調味料のにおいがきつかったこと

その他

新型コロナ関連	なし
ヘイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ショアラインコミュニティカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語での会話がスムーズに行えるようになった
学習面での課題	まだまだ聞き取れない単語が多い。話すスピードが早いと理解できない。
学習目標	TOEIC850 点
そのためにやるべきこと	授業の課題を確実にこなし、わからない単語が出てきたらすぐに調べる。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	当初と比べ外国人の友人も増えてきた
余暇の過ごし方	友達と出かけたり、部屋でゆっくり過ごしたりしています。
嬉しかったこと	町の飲食店の店員さんに英語が上手だと褒めてもらえたこと。顔を合わせると挨拶してくれる外国人の知り合いが増えたこと。
苦労したこと	留学当初は友達がなかなかできず部屋にこもってばかりで退屈だった。なかなか外国人の友人ができなかった。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ショアラインコミュニティカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際日本
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	英語を聞く際の集中力が高まった。
学習面での課題	今まで授業中に積極的に発言することがなかったので、他の学生の積極性に圧倒されている。
学習目標	TOEIC スコア 800 以上
そのためにやるべきこと	日本人の友人ばかりとかかわるのではなく、意識的に様々な人とコミュニケーションをとる。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	毎日楽しく過ごしているが、英語を話す機会は自分で作らない限りあまり多くないから。
余暇の過ごし方	課題、友人と遊びに行く
嬉しかったこと	ホストファミリーが優しい
苦労したこと	バスでの移動

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ジョージメイソン大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語で何もストレスを感じなくなった。
学習面での課題	リスニングのスピードについていくのが大変。
学習目標	IELTS6.5
そのためにやるべきこと	友達をたくさん作りとにかく喋る

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	満足できる環境を作るために努力したから
余暇の過ごし方	筋トレ
嬉しかったこと	いい友達が沢山出来た事
苦労したこと	文化の違い

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ジョージメイソン大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニングスキルが授業開始日より高まった。分からないことがあった時にその場で質問したり、先生が与えてくださった質問に対する答えを手を挙げたり最後まで待ったりすることなくその場で答えられる積極性が身についた。
学習面での課題	リーディング、リスニング、リーディングスキルは日本にいた時のベースがあるためそこまで苦労することなく取り組めていますが、やはりスピーキングが難しいです。日本人はクラスにはいなかったため、日本語を話すことはないですが、授業丸々スピーキングのクラスとかではないので、スピーキングのスキルはもっと高める必要があると思っています。海外の友達とチャットをしたり、昼休みにお話したりしてできる限り英語を沢山使うようにしていました。
学習目標	夏学期の成績が A だったので、A+を目指せるように努力します。
そのためにやるべきこと	イベントに積極的に参加をする。自分から沢山人と話す努力をする。 分からないことがあった時にそのままにせずその場で解決できるように意識する。（その場で質問したり友達に聞いたり自分でしらべたり。） 何かを調べる時に、できる限り英語で調べるようにする。 YouTube のチャンネルは海外のチャンネルを見る。 英語の本を読む。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	比較的とても素敵な友達に恵まれて、楽しく生活ができています。ただ、他の人も留学生なので、1 人で異国の地で数々の困難にも立ち向かわなければならないため、感情のコントロールを自分ですることが難しい人からネガティブな影響を受けることもあります。そういった時に、こんなに誰かの感情に左右される経験をしに留学にきたのではないと落ち込むことも時々あるので、自分を保つ強さも鍛えないといけないなと思っています。
余暇の過ごし方	友達と遊びに行ったり、洋画を音声も字幕も英語で観たり、勉強したりしています。
嬉しかったこと	7 月末は誕生日だったのですが、1 番仲のいいタイ人の友達がお家に招待してくれて、お祝いしてくれたこと。その子のお母さんが沢山タイフードを作ってくれて、とても幸せな誕生日でした。
苦労したこと	2 つ上にも書いた通り、私の周りには承認欲求の強い友達が気づいたら多かったため、その人たちのネガティブな感情をダイレクトに受け取った時に、私も病みそうになったことがありました。日本にいる友達や家族に電話をして、メンタルを保ってもらったり、心理学を専攻している海外の友達にサポートしてもらったりしました。

その他

新型コロナ関連	特になし。
ハイトクライム	NY から大学の最寄り駅に行く高速バスで、たまたま隣に座ったとても気さくな女性の方とお話をバスの中で出している声の範囲内でしていたにも関わらず、運転手に私にだけ他の乗客にも聞こえるように、このバスのルールを知らないのか、このバスでは静かにしないといけないといったことを言われました。バスの中で電話をしていたり私よりも大きな声でお話している人もいたりしたので、多分アジア人差別だったのかなと思います。隣にいた女性の方が無視して大丈夫よと言ってくださったり、うるさい人に Excuse me と声のボリュームを下げてというジェスチャーで言って下さったりしたので、とても救われました。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ジョージメイソン大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	・気持ち的にも、語学的にも臆することなく、挙手や発言ができるようになった。 ・ノンネイティブのクラスメイトたちに囲まれる中で、リスニング力に磨きがかかった。
学習面での課題	・生活に慣れてくるとなんとなく知っている一定のフレーズや単語を使ってしか会話しなくなり、英語力を伸ばすにあたって中だるみの時期があったように思う(所謂マンネリ)。 →まずは自分にとって何気ないことや日本語で自分がよく使う言い回しが英語でどのように表現できるかを調べて身につけることで、今まで以上に英語で細かい話をしたり、テンプレートの返答ではなく、自分が本当に思った・感じたことを会話の中で伝えられるようにしたい。 ・会話の中で音がリンキングされると聞き逃してしまったり、聞き間違いをすることが多いと感じた。 →英語の音のリズムに慣れる練習が全然足りていないと反省している。振り返るとこれまでの生活ではついつい息抜きに日本語の音楽ばかり聴いてしまってもったいないことをしてしまっていたので、残りの期間は耳を英語だけで鍛えるようにしたい。You tube の活用をし、もっと現地の子たちと話す機会を作ろうと思う。
学習目標	全ての授業で B+ 以上の成績を収める。
そのためにやるべきこと	・1 日のタイムマネジメントをしっかりと管理する。語学学校の期間中、課題を後回しにしてしまったことで上手く立ち回れなかった期間があったので、大変なペーパーや課題が与えられたとして、必ずその日中に少しでも取りかかるようにして、日々の負担を大きくしないようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	一緒に名古屋外大から来た仲間たち、現地のクラスメイトたち・スタッフの方々はとても温かく、私がかかり落ち込んでしまった時期には自分のことのように親身に話を聞いてくれ、寄り添ってくれたから。 一方で、寮などこちらの生活で必要な手続きについては中々はっきりとした返事を貰えないままただ時間が過ぎるのを待つしかない、という状況が何度もあった。名古屋外大と連絡を取るにも時差の関係でラグが生じ、いつも仲間たちと共に自力で解決しなければいけなかったのが、夏学期中の大きなストレスのひとつだった。
余暇の過ごし方	予定が合えば、友達とご飯に行ったり出かけたりする。 （車が無いとかなり不便な点がネックで、友達が車を持っていない限りキャンパス付近より遠くに行くことは多くない。）
嬉しかったこと	「いつでも困ったら連絡して！」と優しい声をかけてくれる友人がたくさんできたこと。
苦労したこと	物価が高めの地域だとは聞いていたが、昨今の異常な円安の影響で、ドルだとそうでもない金額がクレジットカードで円の請求でくるとんでもない金額になっていることが毎日の悩み。

その他

新型コロナ関連	特になし
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・チャタム大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	特になし
学習面での課題	先生によって課題の量がかなり変わる
学習目標	特になし
そのためにやるべきこと	単位を落とさない

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	現地の学生が全くいない
余暇の過ごし方	旅行
嬉しかったこと	一人部屋
苦労したこと	全く友達ができない

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・チャタム大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	言葉が出やすくなった、躊躇せずに話せるようになった
学習面での課題	単語の勉強は授業とは別でやっています
学習目標	TOEIC を以前よりいい点取りたい
そのためにやるべきこと	毎日単語勉強、リスニング勉強、自習最低 2 時間

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	アパートの中で友達が出来て、部屋を行き来したり、街の人がみんないい人なので過ごしやすい
余暇の過ごし方	ショッピング、ジム
嬉しかったこと	前期のうちはアパートを貰ったので、生活しやすかった。
苦労したこと	特になし

その他

新型コロナ関連	なし
ハイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・チャタム大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	語彙力が伸びた 授業中にアカデミックな語彙を使えるようになった
学習面での課題	不十分な自分の英語力に加えバックグラウンドの違う異なった価値観を持った多国籍の生徒とのコミュニケーション
学習目標	全授業で A+
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間自習時間 現地の人となるべく沢山話し語彙力や表現力を増やす

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	前期はほとんど NUFS の生徒に囲まれた生活で 現地の人と関わる機会がなかった。
余暇の過ごし方	自習かなるべく外に出て色々なお店やカフェを探検している
嬉しかったこと	一緒に渡米した NUFS の友達たちが 結構自分一人で行動することが好きな子達が多かったこと
苦労したこと	授業以外は日本語で話してしまうためなかなか英語の向上が難しかった

その他

新型コロナ関連	バスの乗っているいるときなど意外とマスクをしてる人が多い
ヘイトクライム	アジア人があまりいないため最初の方がマイノリティを感じた

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・チャタム大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	留学当初は英語の聞き取りがままならなかったが、ほぼほぼ聞き取れるようになった。
学習面での課題	エッセイなど書く際に語彙力がまだまだ足りなく感じる。
学習目標	TOEIC スコア 800 点取得
そのためにやるべきこと	自主学習において、オンライン英会話を毎日 25 分取り組む。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	薄く広く人間関係を築けてはいるが、私的に遊びにいたりする外国人の友達はあまりいないため。
余暇の過ごし方	ジムで運動したりしている。
嬉しかったこと	留学生が集まるコミュニティに入れたこと。
苦労したこと	ひとり暮らしが初めてだったため、洗濯や料理に苦労した。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・チャタム大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	より学術的な英語のエッセイが書けるようになった。
学習面での課題	Corsera という WEB サイトを授業で使っているが、その動画のリスニングと内容把握が難しい。何回も同じ動画を見て理解できるようにしている。
学習目標	アカデミックな英単語をたくさん覚え、エッセイスキルのクオリティをたかめる。
そのためにやるべきこと	分からない単語を無死せず、積極的に生活の場で使うようにしてみる。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	人間関係が正直言ってよくない。ルームメイトとの問題などがつらい。また、語学クラスを受講しているが、ほとんど日本人のため、物足りなさを感じる。
余暇の過ごし方	市内を一人でぶらつきたり、博物館などの施設や買い物をしている。
嬉しかったこと	留学期間中にクラスメイトを招待して、パーティーを開いたこと。多くの友人が来てくれた。
苦労したこと	正確が違いすぎるひととの関係。

その他

新型コロナ関連	先生の娘の学校でコロナの感染者が確認され、我々の授業にも少し影響があった。バスの中などでは、多くの人がマスクをしていたので安心した。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・デラウェア大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	今は英語を話すことに抵抗を感じなくなりました。英語の流暢さは上がったと思います。
学習面での課題	リーディングの課題が多いので早めに課題に取り組むようにしています。
学習目標	リーディングの速度を今の 1.5 倍にする
そのためにやるべきこと	リーディングの最中に時間ををはかる。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	沢山ソーシャルイベントがあるので新しい人に沢山出会えます。その中で毎週会ってる人もいて、親友と言えるくらい仲が良かった友達も作ることができました。
余暇の過ごし方	友達の家に行ったり、友達と出かけたりしています。
嬉しかったこと	何か必要なときに頼れる友達ができて嬉しかったです。また、キャンプ、カヤックなどアメリカ文化と一緒に楽しんでいます。
苦労したこと	夏は部屋によく虫が入ってきてあまりいい気がしませんでした。

その他

新型コロナ関連	友達がコロナにかかって自分もかかってないか心配になりましたが、コロナ検査キットをすぐ用意してくれて陰性かどうか確かめることができました。
ヘイトクライム	特にはないです。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・デラウェア大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	発音がよかった。英語の流暢性が高まった。語彙がものすごく増えた（日本語でも難しいとされるようなものも習得できた）。
学習面での課題	授業中での発言の機会はある程度保障されてはいますが、他の学生の積極性に圧倒されることもあり、内向的な一部の人には積極的に参加することが難しい状況が多々あるだろうと感じる学習環境でした。自分もその人たちに含まれるので、speaking の skill を改善すべく、ごく少数の人たちと深く関わり、その人たちと基本的にコミュニケーションをとることになった結果、英語の流暢性が高まり、会話で英文が出てこなくて困ることは無くなりました。リスニングは授業のアテンダンスに加え、YouTube での動画の視聴で 8 割以上の英文が聞こえるようになりました。 授業によって劇的に英語力が伸びるという事は基本的にはなく（一部の授業はあり得るかもしれませんが）、授業の学習と同時に進行で、英字新聞の社説を毎日読んだり（結果 77 もの記事を現在までに読み終えました）、そのおかげで writing の skill が高まったり、そこで使える語彙が圧倒的に増えたという実感があることから、副次的な学習をどの程度導入するかで英語力の伸びが変わってくると痛感しました。 現在までは基本的に英語の学習が中心だったので、今後の学部授業の内容理解がどこまで難なく行うことができるのかという部分に注目して学習していきたいです。
学習目標	全授業の成績 90%以上。帰国時に英検一級の取得。TOEIC850 点越え
そのためにやるべきこと	現在行っている学習を継続して続ける（英検の参考書や過去問を解く、英字新聞の社説を毎日 2 記事、登校中毎朝 YouTube で英語を聞き続けることなど）

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	寮の衛生状態がとても悪く、ハエや虫が多いことが日本との決定的差だと思います。レストランやお店の中にもハエは普通に蔓延しており、慣れればよいのかもしれませんが、虫嫌いの人にとっては苦痛で拷問以外の何物でもないと思います。それ以外は特に問題はなく、満足に近いやや満足という状態です。
余暇の過ごし方	土日において基本的には、朝早く起きて Starbucks で友達と勉強をしており、課題の消化と休憩時間に英字新聞を軽く読むことで余暇を過ごしています。勉強以外では、日本から持参した専門書などを読んだりしていました。それらを除けば、ショッピングモールに行ったり、食材を買いに出かけたりして過ごしたり、ごくたまに旅行に出かけたりもします。
嬉しかったこと	生活面については、交友関係が広がる上で特定の人と基本的に生活を共にすることに伴い、自炊をする機会が圧倒的に増えた結果、様々な料理の作り方を知ることができたことがよかったです。また、友人関係では、あまり外交的な性格ではないため、ごく少数と特に中を深め、自分が英語を話せる機会を自己保障し、そのうえで様々な文化的な差異を直接実感することができたことがよかったです。
苦労したこと	生活面では、どのことにおいても言えると思いますが、支出の工面をすることが特に大変で、他には、栄養摂取のバランスの偏りが生じてしまうため、食習慣の乱れが特に気になりました。 一方、友人関係については枚挙にいとまがなく、特に同行した日本人学生の愚行には日々悩まされており、特にアメリカに到着してから 2 か月ほどは精神的に参っていました（今はどのような状態かわかりませんが）。簡潔に述べると、アドバイザーに対する無礼な対応と、周りに配慮ができていない行為（授業中では積極性を倒錯して騒がばいいと思っているような煩さ）、鼻につくような誇張された態度（発言して間違えたときに、こぞと言わんばかりに訂正をしたり、または自分が訂正されたときに目に余るほどの顔きをする）おまけには日本語でのやり取りでさえもままならず、度々コミュニケーションが極めて取りづらい場合が存在しました。とても自分には、これらの悪行に耐えられるとは到底思えなかったため、即座に関係を断ち、現地では出会った人々たちとのみやり取りをして現状を乗り切っています。

その他

新型コロナ関連	誰もマスクを着けていなかった（不安には思わなかった）
ハイトクライム	幸運なことに自分は経験もしたことがなく、不安に感じたこともなかったです。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・デラウェア大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	一度聞いただけで多くの情報を理解できるようになった。 人に話しかけたり、分からないことを主張することへの抵抗がなくなった。 授業中にたくさん発言できるようになった。英語を読み取る速度が上がった。 語彙の幅が広がった。話すことのできる文章の量が増えた。 質問されてから答えるまでの時間が短くなった。問題解決力や適応力が向上した。 言い換え表現ができるようになった。英語の文章を簡潔に明瞭に書けるようになった。 原稿なしでプレゼンテーションができるようになった。会話が楽しめるようになった。
学習面での課題	ネイティブの話すスピードについていけず、一度では理解できないときがある。スピードになれるために、毎朝学校に行く支度をするときや、課題をするときに英語のニュースを流している。時間のある時は洋画を英語の字幕付きで見ている。 英語の文章を読んで理解するまでの時間が他の国から来た留学生よりも長い。読解力を向上させるために、1 日 30 分は英語の文章を読む時間を設けている。その中で知らない単語があれば、その場で調べて、分からなかった単語の上書き込んでいる。また各パラグラフのメインポイントを見つけてアンダーラインを引くことで、内容理解と速読の両方を意識して読むようにしている。
学習目標	TOEIC のスコア 900 点以上。（リスニングは満点を目指す）授業で A 判定を目指す。
そのためにやるべきこと	毎日しっかり睡眠を取り授業に備える。日本語と韓国語を聞く時間を減らす。 分からないことはわかるまで質問する。積極的に外国人と交流する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	友達が増えて授業外でも外国人と交流する時間が増えた。 自炊や買い物などたとえ自分でやっていることが日本と同じことでも、国が違うだけで少しずつ、自分なりの方法も変化して楽しい。新しいことに挑戦することは、自分にとって貴重な経験だと思うので、幸福感を感じる。
余暇の過ごし方	買い物や少し遠出をする。平日ようのご飯を作り置きしたり、部屋の掃除なども行う。 映画やドラマ、アメリカのテレビ番組を見る。 日本にいる友達と電話をしたり、家族に近況報告をする。
嬉しかったこと	周りの留学生が日本の文化が好きで、お互いの文化について話したり、互いの言語を学んだりすることが、知らない間に新しい知識が入ったり、新しい経験をしている気がしてうれしい。 留学して 2 か月経つまでの間、生活環境の違いや、授業への不安から、鬱になりかけていた時に、ルームメイトがずっと寄り添ってくれていたこと。私の英語が流暢でなくても親身になって話を聞いてくれた。 自分の英語力だけでは解決できなかった時に、助けを求めたら解決するまで何時間も時間を割いて手伝ってくれたこと。 自分の事のように、一緒に悩んだり泣いたり、笑ったりしてくれる友達がたくさんできたことが一番嬉しかった。 生活面では、自炊する力が上がった。新しいことに挑戦するチャレンジ精神が旺盛になった。
苦労したこと	円安のために、食材など購入を制限している。 友人関係では、最初の頃に話しかける勇気が無くてなかなか友達が出来なかった。

その他

新型コロナ関連	マスクをしなくても感染が広がっていないデラウェアに対して、マスクをしていても状況が悪化している日本の違いはなぜだろうと考えることが増えた。
ヘイトクライム	飲食店に行ったときに、明らかに前の人と対応が違ったこと。（前の人は白人）また ELI の遠足で NY に行ったときに、沢山の人の視線を感じた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・デラウェア大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	自分の意見をためらわずに伝えることができるようになった
学習面での課題	背景知識がないため授業を理解するのが大変
学習目標	全授業で A 以上
そのためにやるべきこと	授業の予習、復習を忘れない

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	みんな優しく困ったことがあった時に助けてくれるから
余暇の過ごし方	旅行
嬉しかったこと	私が留学にきて間もないころから仲良くしてくれてる子に英語伸びたねと言われたこと
苦労したこと	洗濯機が使えないことがあること

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ニューヨーク州立大学ブロッツバーグ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニングの伸びを特に感じた
学習面での課題	授業でのグループワークで他の留学生の英語が聞き取れない
学習目標	TOEIC900 点取得
そのためにやるべきこと	夏休み期間を利用し文法や単語力を身につける。セルフレジやインターネットを出来るだけ使わないようにし、少しでも会話する機会を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ESL のクラスが小規模で、授業の種類も少なかったが、先生に恵まれていると感じる
余暇の過ごし方	現在（夏休み）は就職活動に専念しているが、7 月はカナダでホームステイをする予定
嬉しかったこと	授業を通して仲良くなった友人とその家族との交流、また 8 月に彼女の家滞在する予定があること
苦労したこと	ルームメイトが日本人だったこと、かなり田舎でバスや電車などの公共交通機関が近くにないためキャンパスからほぼ出られないこと、円安の影響

その他

新型コロナ関連	5 月末に感染したが、留学先大学のヘルスセンターから 1 日 2-3 回ほど体調確認の電話も貰っていたため、特に不安はない
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ニューヨーク州立大学ブロッツバーグ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業中に躊躇なく先生に質問できるようになった。
学習面での課題	語彙力が乏しいので、分からない単語はメモして調べてインプットしている。ネイティブの英語や他の留学生のアクセントがある英語が聞き取れないことが多々ある。
学習目標	全授業の成績で B+以上をとる。TOEIC スコア 800 取得。
そのためにやるべきこと	授業の予習、復習、課題をしっかりとやる。 授業の予習復習、課題以外での、自習学習を毎日最低 2 時間確保する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	授業についていくのは大変だけれど、素晴らしい先生たちに恵まれて、毎日授業を受けるのが楽しいし、新しい友達もできて毎日刺激をもらって楽しいから。
余暇の過ごし方	課題をしたり、友達と遊びにいたり、ご飯を一緒に作ったりしている。
嬉しかったこと	アメリカ人の友達と、自分のゼミの分野であるアメリカの政治について話せたこと。
苦労したこと	ルームメイトが日本人で、アラームが鳴り止まないなどその人と合わなくて、その結果自分がその部屋を出ることになったこと。

その他

新型コロナ関連	アメリカでの Booster の接種は少し不安でしたが、接種後も何も問題なくて安心しました。
ハイトクライム	ハイトクライムは今のところ見てもないし、経験もしていません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ニューヨーク州立大学ブロッツバーグ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	論文を読んでいるときに出てくる難しい単語が少しずつ覚えてきた。
学習面での課題	20 ページのリーディングをすべて理解しようとしてわからない単語を調べていると 3 時間はかかってしまう。
学習目標	興味のある授業で 90 点以上
そのためにやるべきこと	予習と復習

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	遊べて話せる友達ができたのが嬉しかったが、このセメスターで他に知り合いを作ることができなかった。
余暇の過ごし方	動画鑑賞、SNS、友達と遊ぶ、課題
嬉しかったこと	誕生日を祝ってもらいプレゼントと手紙をもらえて嬉しかった。
苦労したこと	一番仲良かった友達にされた些細なことが嫌で拒絶してしまったこと。最初のルームメイトと仲が合わなかったこと。

その他

新型コロナ関連	授業中はマスクが必要だが外ではなくて良い
ハイトクライム	特に経験していない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースアラバマ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	第一に、リスニング力の向上を感じます。初めは、単純な会話でさえも聞き取れない場面が多ありましたが、少しずつ日常生活や授業内でも内容がスムーズに入ってくるようになりました。
学習面での課題	リスニングの授業では、講義動画を全て理解するのに多くの時間を要します。従って、授業時間外に、何度も同じ動画を視聴し、少しずつ理解するように心がけています。苦手な分野は、時間をたっぷりかけて丁寧にコツコツ進めるようにしています。
学習目標	学部授業の内容がスムーズに理解できるようになる・全授業の単位を取得する
そのためにやるべきこと	授業間の空いた時間に予習・復習を徹底する・ルームメイト（外国人）との会話を常に心掛ける

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	夏休み期間は多くの外国人が家に帰ってしまうため、日本人ばかりの生活になってしまう点が残念だと感じています。
余暇の過ごし方	買い物や、ジム、旅行など
嬉しかったこと	現地の方が気さくな方が多いので、すぐに仲良くなることが出来ました。また、仲良くなった友人とは、遊びに行ったりお話をしたりなど、友好関係の輪が広がっていくことに喜びを感じています。
苦労したこと	パーソナルな空間を創りづらい共同生活では、ルームメイトに気を遣う場面が多く、精神的に辛く感じる時もありました。

その他

新型コロナ関連	旅行先から帰ってきた際、体調を崩してしまい、一人で体調管理をすることの大変さを感じました。
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学グリーンズボロ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語の文献を辞書なしで大まかな内容を理解することができるようになった。授業中に自分の考えていることやわからないことをクラスで共有することができるようになった。
学習面での課題	自分の意見を発言するときに、まだ戸惑ってしまうことがあるので、そこが課題だと感じる。とりあえず、自分が発言できる雰囲気を作るために、何か言葉を発するようにしている。
学習目標	TOEIC スコアで 900 点以上取得。
そのためにやるべきこと	文献や資料を読むとき、人の話を聞くときに要点を意識して読んだり、聞いたりする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	寮に虫が大量に発生するので、気が休まらない。
余暇の過ごし方	課題をしていることがほとんどです。
嬉しかったこと	インターリンクやインターナショナル関係の人が優しく、気にかけてくれること。
苦労したこと	車が乗れないので、食材を買いに行くにも一苦労だ。移動時間にバスと徒歩で往復 4 時間かかり、重いものを運ぶのが大変だった。

その他

新型コロナ関連	同じ NUFS の学生がコロナになり不安を感じた。病院だったり、生活面で自分がもしコロナになっていたらどうしようかと思った。
ヘイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学グリーンズボロ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	スピーキングもリスニングも向上した。授業の中では積極性を高めることができています。
学習面での課題	教授が話していることを理解するのに苦労するため、事前に予習することを欠かさない。
学習目標	全授業をパスし、TOEIC850 点以上をとる。
そのためにやるべきこと	わからないことは正直に質問し、控えめにならない。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	沢山の友達ができうれしいが、用意された寮が一番ランクが低くて少し汚い。
余暇の過ごし方	買い物、旅行
嬉しかったこと	世界中に友達ができた。
苦労したこと	店員さんが言っていることを理解するのに時間がかかることがある。

その他

新型コロナ関連	実際にこちらで感染したが、隔離のために寮を用意してくれ、大学の対応もよかった。
ハイトクライム	特にない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学グリーンズボロ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業で自分から発言したり、分からないことを先生に聞く事ができるようになった。また、プレゼンスキルや英語の本の読むスピードが速くなったと感じている。
学習面での課題	毎日同じ授業があるため毎日課題が出され、それがかなりの時間を要するのでそのような面でかなり苦労している。
学習目標	TOEIC のスコア 850 以上
そのためにやるべきこと	積極的に現地の人や留学生と交流する、できるだけさまざまなイベントに参加してみる

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	外大から一緒にきた人やアメリカでお世話になっている人は皆人がいいが、寮が本当に悪く精神的に苦痛を感じる。虫が大量に出るほか設備も良くないので食欲もわかず、毎日気分が落ち込む。
余暇の過ごし方	課題をやったり、たまにジムに行ったりしている。
嬉しかったこと	寮の近くにジムがあること。
苦労したこと	車が使えないので公共交通機関を利用しなければならないが、バスもほとんどない上電車がないので食料を買いに行くのに 1 日かかる。また、寮からバス停が歩いて片道 20 分ほどかかるので重い荷物を持って暑い外を歩くのはかなりしんどい。また、語学期間中は留学生がほとんどおらず交流が日本人学生のみだったので、あまり異文化に触れる機会がなかった。

その他

新型コロナ関連	外大の日本人学生がかかり、自分や友人が感染しないか不安だった。
ヘイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学グリーンズボロ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業内で取り上げるトピックについて自分の意見を取り入れながらプレゼンテーションをできるようになった。
学習面での課題	苦労している点は授業内容の聞き取りです。リスニングの時間を設けたり分からなかった英単語を勉強することで、リスニングの理解度を高めるようにしています。
学習目標	TOEIC850 点取得
そのためにやるべきこと	リーディングを通して語彙力を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	大学の寮内で決めたルールを守らない人がいたり、文化の違いから夜中にルームメイトが部屋に友達を招き騒音で勉強がしづらいなどの問題があります。
余暇の過ごし方	課題や部屋の掃除、地域の人と一緒に地元の動物園や公園に出かけたりしています。
嬉しかったこと	英語力が不足していても丁寧に説明してくれたり喋るスピードを落として接してくれる友人がほとんどなので、語学の問題を気にしすぎない状態でコミュニケーションを取ることが出来ます。
苦労したこと	留学先大学は車がないと生活しづらい場所なので、徒歩やバスの利用だけでは日用品の買い出しに時間がかかり大変だと感じます。

その他

新型コロナ関連	身近に新型コロナウイルスの感染者が出て自分が濃厚接触者になりましたが、アメリカではコロナに対しての措置が日本よりもかなり緩和されていたため自分が人に移すリスクや感染することに不安がありました。
ヘイトクライム	留学先で差別を受けたことや聞いたことはありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学グリーンズボロ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で自分から発言ができるようになった。授業の内容が日本語で確認しなくても分かるようになった。先生の言うことが聞き取れたり、やり取りができるようになった。
学習面での課題	授業外での英語を話す機会の確保が難しかったので学外のイベントや、語学の先生に誘われたイベントや他の留学生との交流など積極的にするようにしていた。
学習目標	英検準一級合格
そのためにやるべきこと	授業についていくための予習復習を怠らないこと。分からないことをそのままにしておかないこと。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	午前中はオンライン、午後からは 7 人中 5 人が日本人のクラスなので出会いのあるような授業形態であったとは言えない。
余暇の過ごし方	ジムに行く、語学の先生が誘ってくださるイベントに行く、友達と寮で課題をする。
嬉しかったこと	比較的どのような食材であっても通販やバスでの買い物で手に入れることができるので自炊で日本食を再現できること。
苦労したこと	シャワーとトイレが牢獄のような風貌だったこと。浴槽がないこと。日本人同士でルームメイトだったので会ったばかりの友達と 24 時間一緒にいること。

その他

新型コロナ関連	実際に感染して、ルームメイトがいるので寮ではすごしてはいけないうのにどこで過ごしていいかわからなかったこと。対応してくれる施設が月曜日から金曜日の五時までと見時間時間帯だったので、連絡が取れなかった時にどのように動けばよいか分からなくて不安に感じた。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学シャーロット校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語で話すときに自分が考えていることをスラスラと話す事ができるようになった。 Writing において様々な表現方法を学ぶことができた。
学習面での課題	細かい文法のミスがまだある→絶対にミスがあることを念頭に置いて見直しをする 語彙数を増やす必要がある→News や Podcast など英語の情報を積極的 life に取り入れる
学習目標	授業で B 以上の成績を取る TOEIC900 点以上
そのためにやるべきこと	毎日英語のニュースを見る・聞く 自習最低 2 時間

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	Summer Term の間は現地の学生と交流する機会があまりない
余暇の過ごし方	旅行、友人と食事、買い物
嬉しかったこと	友人と様々な場所へ旅行に行ったり、食事や遊びに連れて行ってもらった事
苦労したこと	特になし

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学シャーロット校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	・雑談をしている際、相槌だけで終わるのではなく自分の思っていることも少しずつ付け加えられるようになった ・日々多用するリアクションのバリエーションが増えた ・外大で履修していた授業と関連のある内容について、より専門用語や全体の体系について知ることができるため、知識がより確かなものになった ・自身や人々のアイデンティティ形成、それに文化や言語について、留学前よりさらに興味をもつことができるようになった
学習面での課題	・先生の話すスピードが速く、知らない単語も頻繁に出てくるため、そこで話している内容を見失ってしまうことが多い。板書をとる必要のある授業では、板書の見易さは二の次でできる限り早く済ませ、先生の話を一息懸命集中して聞くということを最優先に授業を受けている。その上で、日本語でもあまり馴染みのない内容の授業では、キーワードやトピックの核となるコンセプトを意識して理解することを、すでに馴染みのある内容では、その授業を再現できるようにすることを意識して受けている。 ・留学先大学の canvas（Google クラスルームのような使われ方をしているサイト）で、決められたトピックについて自分の意見を投稿する必要がある授業がある。
学習目標	・平和やアイデンティティ形成について学ぶ授業の最終課題を、英語力、世界に対する知識や意識（主に民族、情勢に関して今の状況を踏まえ、自分が留学を通してもった考え）両方の面で留学の集大成といえるようなものにする。 ・エッセイの課題で 9 割以上の点数を取る。
そのためにやるべきこと	・授業で聞いた学生の体験談について自分でさらに調べてみるなど情報収集をし、参考になりそうなバックグラウンドをもつ知人にインタビューするなど、留学中だからこそ実現できることに積極的に挑戦する。 ・エッセイの課題は、留学先大学のライティングセンターや現地の友人から意見をもらい、文章の構造を確認や文法上の疑問点解決を行う。また内容がしっかりとテーマに沿っているか確認する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	自分から声をかけた学生と仲良くなることができ、英語での雑談や互いの文化交流に加え、自分が抱えている悩みなども相談できる仲になることができたため。
余暇の過ごし方	ルームメイトと過ごすことが多い。 買い物に行く、映画や動画を見る、互いに知っている言語について教え合う、など
嬉しかったこと	特別なことがなくても、会って話したいと思う友人ができたこと。その友人たちに対し、相手の文化や言語について学びたいという姿勢を示せば、親身に教えてくれること。
苦労したこと	ネイティブ同士の英語の会話を聞き取れず、ついていくことができなかったときは、気まずさを感じる。 やるべきことは多いが、授業の枠が少ないため、空いている時間をメリハリつけて過ごすために、自分なりに工夫する必要があると感じている。

その他

新型コロナ関連	自分は感染しなかったが、日本人学生数人が同時期に感染したことがあり、警戒する必要性を感じた。
ヘイトクライム	経験したことはまだないが、民族や人種について敏感で話し方がやや攻撃的な学生と話したとき、少し怖さを感じた。（日本人について何か言われたわけではない）

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学シャーロット校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	コミュニケーションをとるのに苦労をしなくなった。使える会話表現が増えた。
学習面での課題	リスニングがいまだに完璧にできない。話してることが分からないことがあるため、何と返せばいいか分からない時がある。
学習目標	TOEIC900 点以上
そのためにやるべきこと	会話だけでは英語力は向上しないと思うので、リスニングに慣れて、自分で文法も改めて勉強する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトとも問題なく交流できており、クラスにも友達ができただけ。
余暇の過ごし方	ジムに行ったり、授業の準備。たいていは YouTube を見ている。
嬉しかったこと	日本を好きな人が多く、積極的に話しかけてくれる。
苦労したこと	特にはない。

その他

新型コロナ関連	みんなマスクはしていない。
ヘイトクライム	具体的な出来事はないが、みんなこれに関してはセンシティブに思っていると思う。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ノースカロライナ大学シャーロット校				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で発言するときに使える単語が増えた。
学習面での課題	もともと聞き取りが苦手なため、一度で指示されたことが理解できないときがある。
学習目標	全ての授業を落とすことなくやり終える。
そのためにやるべきこと	現地の学生と積極的にコミュニケーションをはかる。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	授業を受けている学生が外大生しかいないため。
余暇の過ごし方	現地の学生と出かけたり、パーティーをしたりしている。
嬉しかったこと	日本語を勉強している現地の学生が多く、交流する機会が多い。
苦労したこと	滞在先のホテルがなかなかハウスキーピングをしてくれない。

その他

新型コロナ関連	特になし
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	会話表現が豊富になった
学習面での課題	日本語を避けること
学習目標	Duolingo で 130 を取ること。帰国後の TOEIC では 900 を超えること。
そのためにやるべきこと	苦手なリーディングの克服のために本を読む。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	人が多過ぎる
余暇の過ごし方	勉強
嬉しかったこと	違う学部の人やコロナで関わりの持てなかった後輩に会うことができたこと。
苦労したこと	男子 1 人はなかなか大変。インターンの人にとって英語の習得は第一ではないように思えることが多々あり、価値観の差によりどのように接するのが正解か、避けるのが正解かわからない時がある。

その他

新型コロナ関連	マスクつけている人は少ない。
ヘイトクライム	特にない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	教科書や記事を読むのが最初の時と比べて早くなった。国際学について理解が深まった。
学習面での課題	授業を理解するために、予習は毎回している。授業中わからなかったところはメモして自分で調べるか、友達に教えてもらう。
学習目標	心理学のテストの正答率を毎回 90%以上にする。
そのためにやるべきこと	日本語の使用を抑える。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	たくさんの友人に恵まれて、充実した毎日だと感じるから。
余暇の過ごし方	友人と遊ぶ。
嬉しかったこと	アメリカの友人がたくさんできたこと。
苦労したこと	最初は人に話しかけることも毎回緊張していた。

その他

新型コロナ関連	コロナにかかった。
ヘイトクライム	駅で友達と待ち合わせしていたときに、知らない人に「Fuck you! Go back to your country!」と言われたこと。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	聞き取れる量が増えた
学習面での課題	Reading の量が多い。
学習目標	TOEIC850 点以上
そのためにやるべきこと	日本人間でも英語を使って会話している

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトやクラスメイトもみんないい人なので。
余暇の過ごし方	友達と遊んだり、映画を見たりしている
嬉しかったこと	友達から遊びに誘ってくれるようになったこと
苦労したこと	日本食が簡単に手に入らない、高い

その他

新型コロナ関連	濃厚接触者になった時は、不安だった。
ヘイトクライム	2、3 回ほどアジア人ヘイトで罵声を浴びせられた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際日本
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	日常会話でよく使うフレーズや単語は多く取得することができた。
学習面での課題	クラスメートが日本人のみだけでなく、留学生が基本的に日本人以外いないため英語を話せる環境が非常に作りにくい。そのためボランティアやクラブに積極的に参加するなどいろんな人と知り合える機会を大切にしている。
学習目標	TOEIC900 以上
そのためにやるべきこと	現地日本人の友人間でも日本語の使用、毎日自習 5 時間

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	他の国からの留学生はいないがその分現地のアメリカ人学生と話せる機会が多いためです。
余暇の過ごし方	宿題、友人と買い物
嬉しかったこと	寮は基本的に現地の生徒と同じ部屋にしてくださるため、家族のような存在の友達が作れるのが嬉しかったです。
苦労したこと	円安の影響で何を買うにも高く、毎日一番安いスーパーまで歩くなどして工夫しています。

その他

新型コロナ関連	マスクはしている人の方が少ないです。
ヘイトクライム	叫ばれることなどはたまにあります。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	質問があったら友達とか先生にできるようになった。学部授業で新しい単語が沢山学べたり、ディスカッションでグループの子の意見を聞いたり、自分で言ったりして理解が深まった。
学習面での課題	ちょっと集中力が切れると全く内容が入ってこない。だから先生やしゃべっている人のことを常に見るようにしている。
学習目標	TOEIC 900 点以上（帰国後）、ネイティブスピーカーの自然なスピードの会話を難なく理解できること
そのためにやるべきこと	現地日本人の友人間でも日本語の使用を意識して抑える、現地の友達と過ごす時間をできるだけ作る。英語のドラマや映画をたくさん見たり、本を読む。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	毎日いろいろなことがあって、とても充実している。現地の友達が本当に優しくしてくれて、とても感謝している。
余暇の過ごし方	友達と遊ぶ。コンサートに行ったり旅行する。
嬉しかったこと	ルームメイトがいることについて、日本にいたときはとても心配していたけど、とてもいい子で一番の友達になった。学部授業で同じテーブルにいた子に話しかけてみたら、とても仲良くなれた。友達の友達、という感じで人脈が広がった。
苦労したこと	一緒にいすぎることと疲れることがあった（日本人）。夏休み中は現地の子がほぼ帰ってしまうから、日本語を話す機会が増えてしまった。

その他

新型コロナ関連	友達が何人か感染して、私も濃厚接触者で隔離されていた時期があった。4 月くらいにマスクが任意になって、私も夏休みごろからつける機会が減った。
ハイトクライム	電車の駅の近くでホームレスの人に帰れと言われた友達がいた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ペアワークで自分から話しかけられるようになった。
学習面での課題	予習用の文献が多いため、読む際に無駄に時間をかけすぎないようにする。経済の授業では専門用語が多いため、事前に日本語のサイトなどで予習しておく。
学習目標	TOEIC IP テスト 900 点
そのためにやるべきこと	できるだけ日本語を使わないようにし意識的に英語を話す。自動翻訳機能に頼らないようにする。自学習ではリスニングよりもリーディングの練習をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	友人の友人で徐々に輪が広がっていくのを感じた。
余暇の過ごし方	週末には友人と集まって映画を見ている。
嬉しかったこと	寮内や食堂で声をかけられるようになったり、週末に何度かドライブに誘ってもらった。
苦労したこと	ルームメイトと生活リズムが合わず、かなり気を使った。

その他

新型コロナ関連	隔離のために寮を移動している友人が何人もいた。
ハイトクライム	自分は知識がなかったが、すれ違いざまに差別用語を言われた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニングとスピーキングを日常的によく使うようになったために成長を感じる。
学習面での課題	現地の友人と会話している時は、わからない単語が話されていることもよくあるが、その時は自身で調べたり、本人にその意味を聞き、会話についていけるように努力している。
学習目標	TOEIC 800 点以上を取得する。
そのためにやるべきこと	毎日の自習 1 時間

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ルームメイト問題や、日本人間でもトラブルが起きているから。
余暇の過ごし方	旅行やキャンパス内のボランティア活動。
嬉しかったこと	新しい友人が出来たこと。友人たちと一緒にまだ行ったことがない場所へドライブしに行ったと。
苦労したこと	ルームメイトと価値観や生活リズムが合わないこと。

その他

新型コロナ関連	周りの人がコロナに感染し、自分が濃厚接触者になった時、どのように周りとは接していけばいいのかということを不安に感じた。
ヘイトクライム	国に帰れというようなことを言われた。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	活用できる単語数が増えた、現地学生と怖がらずにコミュニケーションを英語でとることができるようになった、英語でのレポートの書き方を身に付けることができた、少しずつ耳が英語に慣れていき英語での会話がスムーズになった。
学習面での課題	リスニング力が弱く最初はルームメートと会話する時同じことを 5 回も聞き直してしまうほどだったが、あきらめずに話し続けたりわからないことがあったら質問し続けることで耳を慣れさせることができるように努力した。また、留学最初の 1 週間はホームシックで毎日泣いていたが、そのたびに TED TALK を聞いたり誰かと会話することで少しでも英語に触れたり現地での友達関係を広げたりして、成長できる機会をとにかく探し続けることができた。
学習目標	TOEIC900 点以上の取得
そのためにやるべきこと	毎日洋画を見ること、毎日外に出て現地の人と会話をすること

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	パシフィック大学の現地の生徒は日本人にとってもやさしくフレンドリーに接してくれる方が多いため、努力すれば友達の輪が広げやすいため。
余暇の過ごし方	旅行、TRUE Leadership Conference というリーダーシップについて様々な国籍を持つ留学生たちと学ぶ 4 日間のキャンプへの参加、Duolingo のスコア取得に向けた勉強、学内にあるジムでのエクササイズ、自炊、近所の方のお宅への訪問（クリスチャンのためたまに一緒に教会へ行ったこともあります）
嬉しかったこと	ルームメートが非常に社交的で友達が多かったため、同じ寮の中で友達を増やすことができた。学内であったイベントで仲良くなった現地学生とインスタグラムのアカウントを交換して、メッセージのやり取りを続けていたら部屋へと招いてくれて遊べるくらい仲良くなれて、さらにその招いてくれた現地学生が次の学期のルームメートになるくらい仲を深められたこと。 箸を使うことや毎日シャワーを夜に浴びることなど、生活習慣や文化の違いがたくさんあったが、それらを受け入れられるようにアメリカ人のルームメートや友達も努力してくれたりたくさんコミュニケーションをとってくれたこと。
苦労したこと	何度か一緒に遊んだことのある現地学生が突然 communication をとってくれなくなってしまい、大変ショックを受けた時期があった。しかし、しばらく時間がたって共通の友達に聞いたら別に私のことが嫌いではなく文化の違いに戸惑っただけと聞き、不安は解消された。

その他

新型コロナ関連	三回目のワクチン接種を渡航 2 週間後ほどで接種し、まだ生活に慣れていないまま副作用と戦うことになってしまい不安だった。さらに、ルームメートがコロナにかかってしまった関係で自分も簡易テストをしたら自分もコロナにかかっていたことが発覚した時期があり、とても不安で恐怖だったが自分の体と心の様子を見ながら回復に努めることができた。
ハイトクライム	電車に乗っていたら知らない中年男性にジュースの入ったコップを投げられ、怖い思いをした。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	政治学の授業では、毎日変わる世界情勢や問題・ニュースを把握しておく必要があったため、世界で今何が起きているか？と自分で調べるようになった。また、日本と関連付けて話をできるようになった。 ELI の文法やライティングの授業では、ほとんど授業の内容を理解することができた。
学習面での課題	学部授業での英語での Paper の作成、課題や予習に人一倍時間がかかるため、英語で Paper ををさらっと書けるようになりたい。授業についていくために、日頃からニュースや世界情勢について調べるようにしていた。
学習目標	TOEIC900 点以上、成績では A 以上
そのためにやるべきこと	英語で毎日読書をする。毎日課題以外に予習を 1 時間。現地の学生と今まで以上に交流をするようにする。日本人学生とはなるべく英語で話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人が多すぎるため、それが厄介になる時が多いから。日本人学生と関わるのが必然的に多くなる。また、今のところルームメイトとの関係に満足していない。しかし、それ以外では自分ができることはチャレンジしていることで、色々経験できているから。
余暇の過ごし方	ダウンタウンや街の方に出かける、買い物に行く、大学のイベントに参加する、
嬉しかったこと	日本食スーパーがあること。アジアにルーツがある学生が多いため、環境に溶け込みやすい。多様な人種の人がいるため、比較的、自分の英語を聞き取ってもらいやすい。ミールプランで、毎日野菜や白米、栄養を沢山取れたこと。留学生が参加できるイベントが多いこと。
苦労したこと	冬は寮の部屋が寒くて、課題をやるのにも集中できなかった。大きなスーパーが、バスを使わないと行けないため、頻繁に利用できない。日本人学生が多いため、現地の学生との交流があまりできない。公共交通機関の利用の時に、怖い思いをする。

その他

新型コロナ関連	周りで流行りだしたときは、寮生活のため不安だった。
ヘイトクライム	良くない言葉を言うてくる人はたまにいる。変な人だと捉えれば、ダメージはない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	発言したい内容を頭の中で英語に変換するスピードが速くなった。
学習面での課題	語彙が少ないことやスピーキング力が低いこと。日常で話す時に分からなかった単語をメモに残している。日本人同士でも英語で会話やチャットをしている。
学習目標	TOEIC800 点台後半取得。
そのためにやるべきこと	英単語帳を使用して勉強する。分からないことをうやむやにしないで自分で聞いて解決する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	夏休み期間中の寮には現地の学生が少ないため、交流の機会が少ない。また、日本人学生の割合が高いため、留学しているという感覚があまりない。そんな中でも、インターンシップに励んだり自分で外に出かけてみるなど、この期間を無駄にしないように何とか努力している。
余暇の過ごし方	友人と出かけたり、ウェブ上で就活をしたりしている。
嬉しかったこと	友人関係の輪が広がったし、留学後も仲良くしたいと思える人々（現地の人々や日本人学生ともに）にも出会えたこと。
苦労したこと	日本人同士で行動することが多く、なかなか英語力が伸びないこと。また、他の日本人学生と自分を比較してしまい、落ち込むことが多々あった。

その他

新型コロナ関連	日本よりも制限が緩和されていて、色々動きやすい。一時期日本人学生の間でも流行ったが、日本よりも寛容な対策がされていると感じた。
ヘイトクライム	私は経験したことが無いが、他の学生が、アジア人という理由で嫌な言葉を言われたと聞いたことがある。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	現地の学生の前でプレゼンすることに抵抗がなくなった。
学習面での課題	リスニング力の向上は感じるが、スピーキング力の伸びが感じられない。
学習目標	成績で A
そのためにやるべきこと	もっと現地の子と話す

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	現地の子の友達を作るのは難しい。日本人が多すぎる。大学の授業やサポートは良い。
余暇の過ごし方	友達と遊んだり、勉強をする。
嬉しかったこと	現地の友達のお家に招いてもらったこと。
苦労したこと	ルームメイトとかとの会話は人によっては自分からいかないと全くなしになってしまう。

その他

新型コロナ関連	ルームメイトがコロナにかかって隔離しなければいけなかったとき、一人で部屋にこもっているのが不安だった。
ハイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	Writing の授業を通して最初は 1 ページ書くことも大変に感じていたレポートも英語での書き方を覚えながら学期終わりには長いレポートを書くことができるようになりました。Grammar の授業からは今までなんとなく使っていた文法がなぜそのように使われるのかということを理解したことによって、正しい文法が使えるようになったと感じています。1 つ取っていた学部授業の Political Science ではアメリカの国際情勢に関心の高い学生に囲まれて授業を受けることで、自分の意識も高まったり物事を異なる視点から見るできるようになりました。
学習面での課題	Political Science の授業にて週に一回ディスカッションがあり、そこで考えてきたことを発表することはできるが他の生徒の意見に対して自分の意見を述べたり速いペースでの討論についていくことが大変でした。その克服のためにはまず背景知識を持っていないと発表もできないので国際情勢に関心を持って意欲的に調べたり、自分の意見を英語で確立するようにしました。
学習目標	TOEIC スコア 900 点取得
そのためにやるべきこと	日本人の友人間でも日本語の使用を意識して抑えることや、TOEIC の単語勉強を毎日 30 分以上継続すること。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	留学中の生活は困ったことがあっても国際交流部の方々が助けてくださるおかげで不自由は感じませんでした。現地の子との友人関係としては話せる子はできましたが、遊びに出かけるほどの中の良い子があまりできないことやルームメイトとの会話があまり多くなかったことからそういった関係に悩むことはありました。
余暇の過ごし方	学校や地域のイベントに参加したり、電車とバスで街まで出かけてお買い物をしたり、遊びにつれていってもらったりと部屋を出て過ごすこともあれば、寮の友人の部屋に遊びに行ったり自室で本を読んだり映画ドラマを見ています。長期休暇には長距離バスや電車、飛行機を使って旅行をしています。
嬉しかったこと	仲良くなった現地の子に誘われて部屋にお邪魔したりご飯を食べに行ったりとお出かけをすることがうれしかったです。自分で勇気を出して行動して遊びに誘ってお出かけに行けた時も自分で行動してできた結果なので嬉しかったです。
苦労したこと	現地の子と話すときに自身の慣れない英語に緊張してあまり話すことができず、仲良くなるまでがとても難しいことです。周り自分を比べてしまうこともありつらい時期もありました。

その他

新型コロナ関連	基本的にアメリカではマスクの着用は必須ではないため、キャンパスでも街でもマスクをしていない人の方が多いです。私自身も一度コロナになり 5 日間の隔離だったのですが、夏休み中であつたためご飯を届けてもらう等のサポートはありませんでした。ですが幸い多くの友人が手伝ってくれたおかげで安全に隔離されて過ごすことができました。
ハイトクライム	基本的には学生も町の人々のとても親切な人が多く、差別を直接感じたことはありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	economic の授業を履修していたため、苦手なうえに知らない用語も多かったが、予習や復習を通して授業内で教授が何を言っているのかなんとなくではあるが理解できるようになった。
学習面での課題	圧倒的に語彙力がないなと感じている。そのため、授業前は教科書を予習として読み、授業で使うスライドも事前に単語を調べておいて、授業内で教授が言うことを理解できるように努めた。ルームメイトたちと話していて分からない単語やスラングなどもメモしておいて、後で調べてまとめたりしていた。そうすることで次にその単語を聞いたときは理解できたし、スラングなどの生の英語も学べた。
学習目標	語彙力強化、学部授業で B 以上の成績
そのためにやるべきこと	単語帳を何周もしたり、分からない単語や表現のメモを続ける。分からないことはとりあえずで返事せずに分かるまで質問する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学クラスが本当に日本人しかいないため、リアルな英語に触れる機会が少ない。
余暇の過ごし方	海外ドラマを見たり、英語の本を読んだりしている。自炊をしなければならないため、ルームメイトたちが買い物に出かけるときには一緒に行ったり、彼女たちとの時間を増やすようにしている。またボランティアに参加したりもした。
嬉しかったこと	良いルームメイトたちに恵まれたこと。私のことも気にかけてくれて、食べたことのない料理なども作ってくれたりしたのが嬉しかった。こっちの人たちは私のダメダメな英語でも、You're fine と言ってくれるから、優しいなと思った。
苦労したこと	1 対 1 の友達を作ることがなかなかできなかった。日本人の友達から友達の輪が広がったり、気づけば現地学生 1 に対したくさんの日本人で、理想と違うなと思う点多かった。学部授業で出逢った友達は 1 対 1 の関係を築けたが、語学クラスが日本人しかいないため、どうしても日本語を聞く機会も多く、自分の英語の成長しなさに焦りを感じている。

その他

新型コロナ関連	マスクが強制で無くなって以降、学期の終わりくらいに大学内でコロナが流行し、日本人の間でも流行したので少し怖いなと思った。同じ時期くらいにコロナではなかったが風邪もひいたので、日本人からどう思われているかななどと考えたりもした（思い込みすぎな面はある）。また、語学授業がオンラインばかりになり、これでいいのかなとそこの英語の伸びも不安を感じた。
ヘイトクライム	大学内で感じたことはないが、英語には様々な表現があるので表現によっては人種差別っぽくなってしまったり、でもこれは大丈夫だったりと、自身で発言する際に考えることが多かった。また、日本人の友達が車で人種差別的な言葉を浴びせられたと聞いて怖いなと思った。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業中にわからないことや疑問に思ったことをためらうことなく先生や友人に聞けるようになった。アメリカの憲法について、essay を書いた為、それについての知識が深まった。エッセイの課題が多かったため、英語で文章を書くことに対しての苦手意識が少なくなった。
学習面での課題	ELI クラスで使われる単語は、理解しやすいものが多いが、学部の授業で使われる単語は難しいものが多く、テキストとして使われる動画の聞き取りもとても難しく苦労した。事前に授業の PDF が配られたり、教科書があったりするため、授業前にしっかり予習して、できるだけわからない単語が少ない状態で授業に取り組むように努めた。
学習目標	TOEIC850 以上取得、全授業で A 以上の成績を取る
そのためにやるべきこと	毎日単語学習を続ける、夏休み期間など時間があるときに英語の本を読んだり映画を見たりして新しい知識を増やす。現地日本学生の間でも英語で会話するよう意識する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人が多い
余暇の過ごし方	NETFLIX や Disney + で映画やドラマを見たり、ジムに行って身体を動かしたりしている。
嬉しかったこと	誕生日にルームメイトや友達がケーキやプレゼントを用意して、お祝いしてくれたこと。
苦労したこと	夏はカフェテリアが開いておらず、自炊生活をしたことがなかったので、毎日何を食べようか考えることに苦労しているため、来る前に少しでも慣れておけばよかったと思った。

その他

新型コロナ関連	コロナに感染したが、学校が食料のサポートや経過観察など、しっかりサポートしてくれたため、大変ではあったが安心して療養することができた。
ヘイトクライム	時々、こちらに向かって「日本に帰れ！」のようなことを言われるが、特に暴力を振られたりしたことはない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	以前よりもはっきり聞き取れるようになった。授業の内容や単語が分かるようになった。
学習面での課題	発言が今だ少ない
学習目標	ネイティブと問題なく話せるようになる。TOEIC850 以上取得
そのためにやるべきこと	現地の友人と英語を話す機会を増やす。日本語を話す機会を減らすことができるように日本人同士でも英語を話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	円安がひどいため生活費を抑えることが大変
余暇の過ごし方	友人と出かける
嬉しかったこと	仲の良い友人ができたこと
苦労したこと	衛生面

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・パシフィック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業中の難しい単語やディスカッションの内容を聞き取れるようになってきた。 現地の学生やルームメイトとの会話の中で活用できる単語が増えてきた。
学習面での課題	授業中(特に学部授業)の発言や内容理解に苦労している。事前の予習に時間をかけ、積極的に参加できるように努力している。また分からないところは、ルームメイトや現地の学生、ELI の先生に質問をし、疑問を残さないように努力している。
学習目標	小テストは常に満点をとれるようにする。中間、学期末テストでは 90 点以上をとる。 学部授業のグループワークで積極的に発言する。
そのためにやるべきこと	予習、復習を 1 時間以上取り組む。日本人の友人間でもできるだけ英語で話す努力をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ルームメイトや現地の学生と交流できる場がたくさんあり、常に英語を学べる環境だから。また ELI の先生方の手厚いサポートがあり、授業や生活面での問題をすぐに解決できるから。
余暇の過ごし方	クラブ活動やボランティア活動に参加したり、ショッピングや映画を見て過ごしている。
嬉しかったこと	ルームメイトたちがとても親切で生活面でも学習面でも助けてくれたこと。 ランゲージパートナーや現地の学生が食事や映画、買い物などに誘ってくれたこと。
苦労したこと	物価が日本に比べ高いため、日用品や食事などの費用がかかること。

その他

新型コロナ関連	ダブルルームを共に使用していたルームメイトが体調を崩し隔離になった時、自身も新型コロナの疑いで隔離されたこと。新型コロナの検査が自分自身で行う簡易キットなため、結果の信憑性に少し不安を感じた。
ハイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ハワイ大学マウイ校				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	緊張せずに発言できるようになった。フォーマルな単語もカジュアルな単語も語彙が増えてきた。ハワイのカルチャーに触れて積極的なコミュニケーションが取れるようになってきた。
学習面での課題	ライティングの授業を英語で理解するのは少し大変だと思う。社会問題や日本文化について意見したり日本の知識がない人に説明したりするときに、もっとわかりやすく話せるようになりたい。授業でわからないことはその日のうちに先生に質問して、自分の言っていることが理解できるか、正しい英語を使っているかどうかは現地でできた友達やホストファミリーにチェックしてもらったりしている。暇なときは TED トークを見たり友達と映画を見に行ったりしてリスニング力と語彙力の向上に努めている。
学習目標	現地の人と自然にコミュニケーションを取れるようになりたい。ホスピタリティの授業で多くの知識を吸収し、将来の仕事に役立てたい。
そのためにやるべきこと	積極的に会話をし、授業外でも交流する現地の友達をあと最低 3 人作る。語学コース中は毎日自習を 3 時間、学部に入ったら 5 時間する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	本当にいいホストファミリーに恵まれたと思うし、様々なバックグラウンドを持った人と友達になれたから。
余暇の過ごし方	ビーチで泳ぐ、マウイ巡り、ホストファミリーの親せきとパーティー、ボランティア活動、ホストファミリーの孫のベビーシッター、現地の友達と外食、映画、オフ島などマウイ以外のハワイの島へ旅行
嬉しかったこと	とてもきれいなコテージに住まわせてもらえて、ホストファミリーが私たちのためにハワイ文化をたくさん経験させてくれるのは本当にありがたいと思う。様々な国からの友人もできて、授業外でも交流する仲になれたときはすごくうれしかった。また、自分ではコンプレックスだと思っていたことをポジティブに捉えて褒めてくれる友人が多く、日本にいる時より様々な面で自分に自信が持てるようになった。
苦労したこと	甲状腺の持病がある状態で留学しているため、定期的に採血と診察、薬の処方が必要で、病院を受診するまでのプロセスの違いや医療機関のシステムの違いに最初は戸惑った。現地の病院で自分の症状を英語で正確に伝えるのは非常に難しいと思っていた。 持病に関しては大学から加入する保険ではカバーできないが、私の場合は初診料で 150 ドルほど支払ったのが最高額で、2 回目以降の受診はオンラインにしてもらったので無料で診察を受けられている。3 ヶ月ごとの受診頻度で採血代に約 30 ドル、薬代に 10 ドルほど支払っている。持病がある状態で、かつ治療が必要であることが前提で加入できる保険は日本に存在しないため、ひとまず現地では治療費を全額負担し、帰国後に国民健康保険の海外療養制度というものを利用して治療費を一部還元する予定。 診察を受ける病院と採血をしてもらうラボはそれぞれ独立した別の機関で、ホストファミリーによると、大抵アメリカのクリニックではひとつの病院で採血と診察を完結させることはできない。まず病院からラボでの採血を依頼してもらい、そこからラボに行って採血して数週間後にオンラインで採血結果を踏まえて診察してもらい、ドクターから薬を処方してもらう。薬はコストコやウォルマートの薬局でもらっている。採血のデータは自分からお願いしないと詳しく説明してもらえないし、データを見せてくれさえしないので、詳しく説明してもらえよう質問した方がいいと思う。 金銭面では、昨今の円安とハワイの物価の高さが相まって、日本の口座と紐づいているカードで買い物をする食品を買うだけでかなりの出費になる。また、バスに乗る時や友達と割り勘をする時にキャッシュが必要なことが割と多く、やりくりが大変。 マウイは公共交通機関がバスのみなので、自分で車の運転ができないとなると移動に苦労することがしばしばある。

その他

新型コロナ関連	渡航してから 4 か月間で、語学コースを受講中だが、クラスメイト 3 人とホストファザーがコロナに感染していた。屋外でマスクをしている人は減っていないし、とても不安に思ったが、現地で無料でブースター接種を受けられたし、自分で予防に努めることは可能なので、今のところ問題ない。
ハイトクライム	渡航後 1 週間くらいの時に、一緒に渡航した日本人学生と屋台で昼食を買うために並んでいたら、横を通りかかった人（おそらく観光客）に石を投げられた。怖かったし悲しかったが、それきりハイトには遭っていないし、基本的にハワイの人は留学生に理解があると思う。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ハワイ大学マウイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニング能力が上がった
学習面での課題	スラスラと言いたいことが出てこない
学習目標	ひとつも授業を落とさないこと
そのためにやるべきこと	課題、予習をギリギリにやらないこと

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	趣味があった友だちがいる
余暇の過ごし方	海でサーフィンかフリーダイブ
嬉しかったこと	いいホストママに出会えたこと
苦労したこと	物価が高すぎる

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ハワイ大学マウイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	ほぼ完全に英語のみの環境なので、英語で話すのに慣れてきた。
学習面での課題	アメリカ発音や単語にはあまり馴染みがないので生活の中で覚えなければならないことが多くある。
学習目標	全授業での成績を「良」以上を目指す。
そのためにやるべきこと	ホストファミリーや現地の友人と積極的に喋ることによって英語を使う時間を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	自分だけ現地のコーディネーターの助けがなかったから。
余暇の過ごし方	観光名所に行って、観光学の前準備をしている。
嬉しかったこと	現地の友人が何人か直ぐにできたこと。
苦労したこと	物価が高い。

その他

新型コロナ関連	ワクチンを打っていても罹患する可能性があること。
ハイトクライム	若者数人に小石を投げつけられた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ハワイ大学マウイ校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業内での発言がすらすらできるようになった
学習面での課題	ホストファミリーとたくさん交流したり授業外でも英語に触れられるように毎日活動的に生活している
学習目標	TOEIC のスコアで 900
そのためにやるべきこと	日本人の友達同士でも日本語を意識して押さえたり、ボランティアやアクティビティを通してたくさん国際交流をする

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	語学コースではクラスが少人数であったため友達の輪が広がりづらかったがホストファミリーや友達に恵まれ毎日充実した生活ができているため
余暇の過ごし方	マリンスポーツ
嬉しかったこと	一緒に趣味を持つ友達に出会えたこと
苦労したこと	円安の関係もあり経済面に苦労している

その他

新型コロナ関連	観光客が多くマスクをしていなかったりする人も多いところ
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ライティング重視の授業が多いため、アカデミックなレポートを書けるようになった。
学習面での課題	まだ言いたいことが思うように出てこなく、相手が「こういうこと？」と聞いてくるのに対して、「そうです」と答えることが多いので、相手に甘えず自分の言葉で伝えたい。
学習目標	プレゼンテーションをスクリプトなしでもできるようになりたい。
そのためにやるべきこと	毎日ワンフレーズどんなことでもいいから覚える。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ルームメイトが日本人なのと、語学の授業が日本人しかいないため。
余暇の過ごし方	映画鑑賞、散歩
嬉しかったこと	学校の設備は良い。日本語サークルがあり、そこで友達ができた。
苦労したこと	留学生とは違い現地の人は本当に話すスピードが早いので聞き返すことや聞き取れないことが多い。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	プレゼンテーションをたくさんすることで、人前で話すことに慣れてきた。
学習面での課題	listening 能力がひくいいため、聞き取りに苦しみことがあるので余暇時間にもよく英語を聞くようにしている。
学習目標	ネイティブが話している会話を理解できるようになる。
そのためにやるべきこと	多くの友達を増やして自分から英語で話す機会を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	夏の期間は現地の学生がいいため、強制的に自分たちしか学校にいない。
余暇の過ごし方	洋画を見る、でかける
嬉しかったこと	現地の友達がいろいろな場所の連れて行ってくれたこと。
苦労したこと	食生活が大きく変わったため、苦労した。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で間違えてもいいから発言しようと思うことができるようになった。
学習面での課題	語学コースでの苦労は特にないが、学部コース履修に向けて語彙力を増やすために自習をしている。
学習目標	TOEIC スコア 850 以上
そのためにやるべきこと	夏休みの間に本を 3 冊本を読む。学部授業の期間の間にも続ける。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ダイニングの食事が良くないが、寮に住んでいると必ずミールプランに登録しなければならないので食における楽しみがないこと。
余暇の過ごし方	映画を見たり、散歩やジムに行くなどをしている。
嬉しかったこと	寮の部屋が快適
苦労したこと	ご飯が美味しくないこと

その他

新型コロナ関連	マスクをしている方が変に見られることが多い。
ヘイトクライム	特にない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語のリスニング力が伸びたのとプレゼンがたくさんあったので人前で話すことに慣れた
学習面での課題	語学と一緒に渡航した外大生だけだったので日本人同士でいることがほとんどであり思った以上に英語全般伸びは感じない。課題が多くファイナルウィークはとても忙しい。
学習目標	ネイティブの英語を全部理解できるようになってすらすら話せるようになりたい。
そのためにやるべきこと	秋学期が始まったら日本人とはできるだけ距離を置き現地人の輪の中に入る。自分から積極的にいく。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	語学授業は外大生だけであり他に留学生と出会う場所がない。そのうえ夏休みに入ってから現地人や留学生もみんな帰省し、いまはほぼ私たち外大生しか学校に残っていない状態になっている。そのせいか食堂もとても手抜きになっており満足できる状況ではない。
余暇の過ごし方	寮で過ごすか OIE のイベントに参加する
嬉しかったこと	寮がきれいで快適。一緒に来た外大生みんなと仲良くなれた。
苦勞したこと	学校に現地人や留学生がほとんどいなく海外の友達がありません。キッチンルームはあるがコンロやオープンなど何もないため自炊できない。また、交通の便がとても悪く田舎なためショッピングや遊びに行くには時間もお金も必要になってくる。

その他

新型コロナ関連	日本人が帰国する前々日にコロナにかかって帰国が延長していた。
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語を話す習慣ができたので以前より会話は増えた
学習面での課題	プレゼンテーションが多く、最も苦手なスピーキングで苦しんでいる
学習目標	TOEIC850 以上
そのためにやるべきこと	会話の頻度を増やしたい、日本人と過ごす時間を減らしたい、自主的に英語勉強の時間を作り増やしたい

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	一緒にきた日本人の生徒とうまくいっていない、
余暇の過ごし方	ほとんど寮にいる、交通の便が悪く簡単に出かけることができない
嬉しかったこと	日本語クラブがあり、興味を持って近づいてきてくれる人たちがいる
苦労したこと	交通の便が悪く簡単に出かけることができない、一緒にきた日本人の生徒とうまくいっていない、食堂の食事が美味しくない

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・ペンシルバニア州立インディアナ大学				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニングの力がついた。授業で積極的に発言できるようになった。
学習面での課題	プレゼンをする授業が多く、準備に時間がかかったり、ライティングなど宿題が多く出される授業があったりして苦労している。
学習目標	TOEIC で 850 点以上とる
そのためにやるべきこと	一緒に来た外大の子（日本人）に頼りすぎないようにする。現地の友達を本気で作りたいのでスピーキング力の磨きを頑張りたい。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	前半は語学授業で現地人とあまり関わる機会がなく、英語の上達を実感できていないため。
余暇の過ごし方	旅行、部屋で映画を見る
嬉しかったこと	個別の寮で、1 人の時間がしっかりとれること。
苦労したこと	現地人の友達を作るのが難しい。

その他

新型コロナ関連	マスクをほとんどしないので、危機感が薄れてしまっている。
ハイトクライム	とくになし。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・州立オースチン・ピー大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	現地ならではの英単語や言い回しを吸収しアウトプットを繰り返し、使いこなせるようになった、考え方における自己成長、多様な文化を持っている人々に関わることによって視野が広がった
学習面での課題	課題の量が多いことや課題が難しくどう取り組めばいいかわからない。それを克服するために現地でできた友人に助けを求め、自分の交友関係も深めながら課題に取り組んでいる。
学習目標	全ての授業で B 以上のグレードを取る。
そのためにやるべきこと	課題や授業に妥協しない。時間がある時に予習復習を欠かさず、授業のためのみではなく、授業で得た知識を継続して持っておけるように取り組む。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	話せる・一緒に出かける現地の友人もでき、自分の時間も大切にしながら、交友関係を日々深めていけているから。また、英語学習のみならず、日本とは違うアメリカの生活や文化を身をもって学んでいると感じているから。
余暇の過ごし方	友人とカレーなどの日本料理を作ったり、ダウントウンへ友人とご飯を食べに行ったり、アメリカンフットボール等のスポーツの試合を見入ったり、課題に取り組んでいる。
嬉しかったこと	ルームメイトと適度な距離感で過ごせていること、毎日キャンパスを歩いていると現地の友人と挨拶できたり、他愛もない会話をすることが出来ること。
苦労したこと	学期が始まったころは、ご飯と一緒に食べられるような友達の作り方が分からなかったり、同じ大学に通っている日本人留学生が 10 人以上いるが、いつも彼らは基本的に日本人でかたまって過ごしているため、彼らとの距離感をどうした方が自分の為・自分の英語における成長の為になるかについて悩んでいた。物価が高すぎる。日本のオンラインサイトで購入したものがアメリカの国際交換局で止まっており一向に送られてこない。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・州立オースチンピー大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ビジネスに対する理解が深まった。英語の発音が少しずつ上達してきた。
学習面での課題	どの教科も、一週間で教科書を 20 ページ以上読み授業の予習復習をしなくてはならないことに、とても時間がかかり苦労しています。その克服のため、一週間ごとに学習の計画をたて、その振り返りをして次週に改善を試みることを繰り返す。
学習目標	TOEIC で 900 点以上取得、ビジネスクラスで A を取得、英検準 1 級の取
そのためにやるべきこと	明日やるべきことを前日に細かく決めてそれに取り組む。リスニング向上のため、授業や会話以外に毎日ポッドキャストを聞いて、オーバーラッピングとシャドーイング、気持ちをこめた音読を毎日する。単語帳に寝る前や隙間時間に取り組む。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	おおむね満足していますが、留学中の人間関係の難しさや、忙しい日々の中で自分の体力と相談しながらバランスをとることの難しさを時々感じますが、自分なりにトライアンドエラーを繰り返し、徐々に進歩できるように心がけています。
余暇の過ごし方	大学のイベントが多く開催されるので、それに参加したり、課題に専念したり、休息をとるなどバランスを心がけて過ごしています。
嬉しかったこと	ネイティブの友人と打ち解け、趣味のピアノを通じてセッションを定期的にできていることが特に心の支えです。
苦労したこと	課題の多さになかなか休息がとれないこともあったので、早めに必ずどのように課題をいつまでに終わらせるかを決めて生活のバランスを崩さないようにしています。

その他

新型コロナ関連	特に感じていませんが、人ごみに行くときは特にマスクの着用等の感染対策をしています。
ハイトクライム	自分が実際に体験したことは今のところありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・州立オースチンピー大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業での聞き取りと会話ができるようになった、使える単語や表現が増えた
学習面での課題	特に文法の授業で質問をして解説を受ける際に、もちろんすべて英語なため理解することが難しかった点、日本の授業でプレゼンをしたことがなかったのでプレゼン準備に苦労した点、
学習目標	全授業の成績で A を取る、授業で自分の意見をはっきりと英語で伝えられるようになる
そのためにやるべきこと	外国人と一緒にいる時間を増やして常に英語を使う、英語でニュースを読んで現地の社会問題などについて知識をつける、ポッドキャストなどをきいてリスニングスキルを高める

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	親切な人が多い。渡航してすぐでも日本からの留学生だと伝えると興味を持って話しかけてくれる人が多かった。生活面でも支えてくれる人が多かった（寮で困った時や、出かける時に車を出してくれるなど）。会話の中で言っている意味や表現がわからなかった場合、質問するとわかりやすい表現に言い換えて教えてくれたり、例を出して教えてくれたりした。
余暇の過ごし方	授業がある期間の休みの日は、友達とダウントウンに出かけてご飯を食べたり、ジムでスポーツをしたり、図書館で課題を知ることが多かった。 夏休み中は旅行へ行ったり、友達とショッピングをしたり、外大からの課題を進める時間に充てている。夏休み中は学部生がほとんどいないため留学生同士で助け合い、出かける際は公共交通機関を利用して移動している。
嬉しかったこと	言語がたつたなくても多くの人と知り合って友達になれたこと。自分が困っていることがあったとき必ず助けになってくれたこと。学食や学内のファストフード店が充実していて食事の面でロスにはならなかったこと。
苦労したこと	文化の違いや価値観の違い。日本で当たり前なことを疑問に思われたり、自分も友達の行動に対して「今のはあまり良い行動ではない」と思ったことがあった。

その他

新型コロナ関連	コロナに対しての危機感や考え方が日本と違うと感じた。マスクをするのもしないのも個人の自由という感じである。ウーバー以外ではマスクの着用を義務付けされたことはなかった。飛行機の国内線でもつける必要はなかった。
ハイトクライム	差別された経験はないです

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・西フロリダ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニング能力は渡航前よりもだいぶ伸びたように感じる。スピーキングについてはまだ言いたいことが出てこないことが多いが、初めよりはすらすらと出てきている。ただ、学部授業が始まり、知らない単語が出てくると一気に内容が分からなくなる。さらにネイティブは単語帳に乗っていない単語を話すのでいちいち意味を確認しないといけない時がある。
学習面での課題	言いたいことが言えないことで自分が尻ごんでしまったりすることがよくある。でも、みんなは結構、私が英語を喋れないことをあまり気に留めていないため、どんどんわからないことを聞いたりすることが大切だと学んだ。そして助けを求めた時にはみんなよく助けてくれる。
学習目標	TOEIC800 点以上
そのためにやるべきこと	授業内容を今よりもしっかり把握し、わからない時があったらしっかり頼れる友達を今よりも増やす。今よりも過ごしやすく、楽しい環境で勉強できる環境を作るのは自分次第である。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	よくしてくれている友達はとても多いけれど、秋学期でみんなそれぞれの友達が戻ってきたから、元の仲のいい友達と時間を過ごしている感じがするから、また新しいコミュニティーを作るのに苦労しているが、今現在は良い関係を築けている。
余暇の過ごし方	友達の家で料理をしに行く
嬉しかったこと	友達の誕生日と一緒に祝えたこと
苦労したこと	やはり、母国語が英語ではない友達は私たちのことを理解してくれるのですが、ネイティブと話すときにはなかなか難しかったり、最近は学部授業で内容がわからないことも多いので、自分の英語に自信がなくなってくることもある。

その他

新型コロナ関連	特にありません
ハイトクライム	特にありません

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・西フロリダ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	はじめは発言をする際に英語がとてまたどしどしだったが、今は以前よりも間違いを恐れずに心に余裕をもって発言をできるようになった。また、現地の人々と会話することで日常が英会話ばかりの環境にもだいぶ慣れてきた。
学習面での課題	学部授業が始まったが、授業の内容が語学授業の時に読んでいたものよりもレベルがとても高く、読むことがとても大変で毎日苦労している。知らなかった単語に直面した時、それを書き出して覚えるようにすることで、学習する内容に対して頻出する単語をすらすら読めるように努力している。
学習目標	TOEIC800 点以上
そのためにやるべきこと	授業の内容だけでなく、語学のスコア獲得につながるような英単語を覚える。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学の間は同じレベルの英語を話す友達に恵まれ、授業の内容も想定していたよりも難しかったものの、たくさんの友達に助けられて毎日充実していました。学部授業が始まってからは、授業が本当に大変で毎日課題に追われています。友人にも助けられていますが、夏までと環境が変わり、なんとなく気持ちや体がついていけないという感じも正直あります。英語がわからないことに、今まで以上のストレスを感じています。
余暇の過ごし方	スーパーで買いものをしたり、友人が遊びに誘ってくれた時は外出しています。
嬉しかったこと	多くの人がとても親切で、いつも手を差し伸べてくれます。特に、今住んでいるところは車がないとどこにもいけない田舎ですが、いろんな人が気にかけて車を出してくれたり外に連れて行ってくれたりするので不便なく楽しく過ごせています。
苦労したこと	車がないことです。幸いにも語学の授業でおおくの友達と出会えたのでいまは不便ではないですが、他人を頼らないと行きたいところに行けない現状には時々ストレスを感じます。

その他

新型コロナ関連	特にありません。ただ、風邪をひいたときに自分でも感染を疑ったことがありました。風邪の治りが遅かったので病院を受診しようか迷いましたが、自分一人で病院で受診できる自信はありませんでした。結局自然治癒で症状が悪化することはなかったですが、その時は不安に感じました。
ヘイトクライム	アジア人であることによって、買い物をするときに若干ほかのお客さんとの対応に差を感じましたが、ヘイトクライムと呼ばれるような経験は今のところしていません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・オックスフォードブルックス大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始後、オンライン留学（日本滞在）と渡航しての留学との混合				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	質問を理解して、自分が答えたいことを話せるようになった
学習面での課題	スピーキングが弱いので、突然あてられた時に単語が出てこない。友達と会話をする機会を増やして、スピーキングの機会を増やすようにしている。
学習目標	全授業で B+以上を取りたい
そのためにやるべきこと	授業後にわからなかったことをそのままにせず、自習に積極的に取り組む

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	コロナと、ロシアとウクライナの戦争の関係で、語学コースのクラスメイトが少なく、6 人中 4 人が日本人だった
余暇の過ごし方	課題を進める、友達と遊びに行く
嬉しかったこと	中国人の友達とご飯に行って、中国語を少し教えてもらえたこと
苦労したこと	物価が高いので、生活面で少し苦労した

その他

新型コロナ関連	クラスメイトが少なかった
ヘイトクライム	一回だけロンドンで Hello と何度も馬鹿にしたように言われたので無視した

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・オックスフォードブルックス大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始後、オンライン留学（日本滞在）と渡航しての留学との混合				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	フィードバックをもらい、その後自分の間違いを確認できるため次回への成長が自分でもわかった。
学習面での課題	毎回の課題が多く、9 時間、11 時間かけながらレポートを書くことが多かった。 とにかく勉強に時間を費やした。
学習目標	前授業で B + 以上を目標とする。
そのためにやるべきこと	自習の時間を増やし、事前に課題を進めていく。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	寮の引っ越しを二度行わなければならない、また引っ越し期間も一日しか設けてもらえない。車もないために短い時間ですべての荷物を一度に運ぶことは不便である。 授業や友人関係は満足している。
余暇の過ごし方	課題をおこなうか日常の買い物をしに行く。
嬉しかったこと	特に問題なく過ごすことができた。
苦労したこと	現地の学生が夏休みであるために、イギリス人の友達を作ることは苦労した。

その他

新型コロナ関連	特に不安はない。
ヘイトクライム	経験したことはない。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・オックスフォードブルックス大学				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	アカデミックでのリスニング力が上がった。また、言いたいことを英語で言えることが増えてスピーキングも少し上達したように感じる。
学習面での課題	リーディング力が下がったと感じる。まずは授業で使用する文献を速く読むようにしている。
学習目標	TOEIC 930 点、英検準 1 級、(IELTS 6.5)、全授業の成績で A 以上 1 つ A+ とる
そのためにやるべきこと	まずは課題をこなす（時間じゃなくて大切にしたいのは課題の効率）。現地の友達との時間を増やしてリスニング、スピーキング力を鍛える。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	友達を作る機会が少ないように感じる。留学期間が 6?8 月のバカンス中であり多くの学生が実家に帰っている。留学先のオックスフォードは学生の街であるため、特に大学では活気が感じられない。また、夏の語学コースは現地の学生に混じっての授業でもないで現地の友人が作りにくい。語学コースは日本人 4 人多国籍生徒 2 人しかおらず、語学コースでも友達の輪を広げにくかった。
余暇の過ごし方	課題をこなす。友達と遊ぶ。ゆっくり過ごす。
嬉しかったこと	現地の友人が入寮の手続きを手伝ってくれたため比較的スムーズに寮に入れた。現地の友達は数人しかいないが、その友達が一緒に時間を過ごそうとってくれたり、友達の輪を広げようとしてくれたのが嬉しかった。また、日本人の友達がいるおかげでストレスを軽減することができている。
苦労したこと	学生と交わる機会が少なくて友人を作るのに苦労している。また、入寮したときに共同キッチンの状態が酷かったため、キッチンをきれいにしてもらうように受付に相談したことがストレスに感じた。そして共同キッチンでは共同冷蔵庫に入れていた食べ物を、会ったことがないフラットメイトに食べられるのが困っている。

その他

新型コロナ関連	マスクをつけている人がいないことに驚いた。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・オックスフォードブルックス大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際日本
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語で質問や会話をすることを躊躇わなくなった。
学習面での課題	現地の友人もおらずモチベーションが保てないので、定期的に旅行や趣味に時間を使っている。
学習目標	全授業の成績 B+ 以上
そのためにやるべきこと	授業に確実についていく。不明な箇所があれば質問する。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	現地の学校が既に休暇に入っているため、友人ができない。
余暇の過ごし方	国外旅行やナイトクラブ
嬉しかったこと	日本人の友人ができた。
苦労したこと	自炊が苦労している。毎日同じメニューしか作れない。

その他

新型コロナ関連	屋内でマスクをしていると稀に話しかけられる。
ハイトクライム	中国人や韓国人に間違われる。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・キール大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業内容の理解度が最初のころに比べて上がってきている。ディスカッションでも以前よりも発言できていると感じる。
学習面での課題	授業や予習のためのリーディングはアカデミックで専門的な用語が多々使われたり、内容が複雑であるため理解するのに時間がかかり（時間をかけても理解できないこともある）苦勞している。リーディングでは現地の学生やアメリカからの留学生などネイティブの生徒にわからない文章の解説をしてもらったり、授業で疑問点があれば近くの席の生徒や友達に質問するようにしている。
学習目標	授業内容を 7,8 割以上その場ですぐに理解できるようになる。授業内での発言を増やす。
そのためにやるべきこと	授業外でも現地の学生や留学生と積極的に交流し常に英語に触れる。新しく知った単語やフレーズの復習を毎日最低 30 分する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	フラットメイトが共有場であるキッチンスペースを綺麗に使用してくれたり、一緒にいて居心地の良い友達が多いため。
余暇の過ごし方	基本的には授業の予習、復習をしたり課題があればそれを進める（フラットメイトと寮で勉強することが多い）。キャンパス内のジムや近くの町へ友達と出かけたこともある。
嬉しかったこと	たとえ完璧に英語が話せなくても国籍や人種関係なく寄り添い合うことで分かり合えたり、皆同じ人間で喜びや不安などを同じように共有できることがわかって嬉しく思う。日本に興味関心を持つ人が多いことも嬉しい。
苦勞したこと	言語の壁。自分の言いたいことが 100%伝えられるわけではないのでうまく説明できない時は苦勞する。英語を第 2 言語として話す生徒の中には母国語のアクセントが非常に強く聞き取りづらい人がある。

その他

新型コロナ関連	マスクを皆つけていないことが多い
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・キール大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始後、オンライン留学（日本滞在）と渡航しての留学との混合				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業で周りの学生と話すことができるようになった
学習面での課題	リーディングが多く、苦労している
学習目標	TOEIC800
そのためにやるべきこと	毎日課題に加えて、自習を 1 時間

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人が多い
余暇の過ごし方	旅行に行きます
嬉しかったこと	現地の友達とテーマパークへ行きます
苦労したこと	場所は違うけど、日本と同じで合う人は合う。合わない人は合わない。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・キール大学				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	最初は正直、どの授業も 3 割程しか完璧に理解できていなかったが、今では 7 割程までは一度で理解できる授業が増えた。
学習面での課題	まだまだ一度で全てを理解することができず、どの授業も理解できていけばいい復習に時間がかかっているが、理解して授業についていくために予習復習を毎日怠らず行っている。
学習目標	全ての授業の単位を取得すること。（低い目標に思えるが、大学の先生がイギリスの大学は採点が厳しく単位を取ることが難しいと言っていたことに加え、匿名採点で考慮はなく留学生向けの授業ではないため）
そのためにやるべきこと	毎日の授業の予習復習を怠らず毎日平日は最低でも 5～6 時間自習する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	大学内の設備がしっかりしていて田舎ではあるがキャンパス内に郵便局も Medical centre も簡易スーパーもあるため生活に困ることはないから。
余暇の過ごし方	基本は自主学習。週に数回部活に散会しており、たまに友達と出かける。
嬉しかったこと	初めましての子たちに「仲良くなりたい」と言われたこと。 好きな恰好を人の目を気にせずできていること。
苦労したこと	もっと踏み込んで仲良くなりたいのに自分の英語力の低さが邪魔をしてなかなか話することが出来ず深い関係になりづらいこと。

その他

新型コロナ関連	イギリスではマスク着用義務撤廃及びコロナウイルス陽性者でさえ隔離なしになったためそこが不安に感じた。
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ケント大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英会話の応答がはやくなった。 語彙が増え、アカデミックでも使える単語を覚え、使えるようになった
学習面での課題	現地学生の話すスピードが早かったり、訛りなどに苦労してる
学習目標	IELTS7.0とTOEIC 800 点台
そのためにやるべきこと	毎日、英語学習を自習として確保する

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	他の留学生とコミュニケーションが取れ、イギリス国内の歴史や文化に触れ刺激となっている
余暇の過ごし方	買い物や旅行
嬉しかったこと	他の留学生に日本のこと多く聞かれ、話したこと
苦労したこと	生活費が高騰してる

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ケント大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	フォーマルな英語を使う場面が多くあったため、カジュアルな英語との使い分けができるようになりました。
学習面での課題	授業を受けていて語彙力の少なさを実感したので、ニュアンスだけで理解しようとせずに、わからない単語は随時意味や使い方を調べるようにしています。
学習目標	9 月から始まる学部授業で授業評価 70%取りたいです。
そのためにやるべきこと	分からないと思ったことをそのままにせず、意欲的に知識を深めていきたいです。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	今まで関わったことのなかった国の人たちとの交流を深めることが出来たからです。
余暇の過ごし方	旅行に行きました。
嬉しかったこと	体調を崩したときに友人が世話をしてくれたり、食事のサポートをしてくれたことです。
苦労したこと	文化の違いがストレスに感じるがありました。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ケント大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	留学前より流暢に喋れるようになった。日本人がいない環境への苦手意識がなくなり、積極的に発言できるようになった。
学習面での課題	ボキャブラリー不足を実感している。そのため、現地でオールイングリッシュのボキャブラリー本を買い、学習している。
学習目標	帰国までに英語レベルを C1 以上にする。
そのためにやるべきこと	クラブなどの集まりに積極的に参加し、日本語の使用を週一程度にする。また、自分の英語力を測るためにケンブリッジ英検 CAE の取得を帰国後に目指しているため、毎日授業外の自習を 3 時間とする。

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	クラスのナショナルリティーが偏っているため、英語以外の言語が休み時間に飛び交っている。自分の語学クラスはタイ人が 6 人と日本人が 3 人なのですが、休み時間になるとタイ語が飛び交うため、少し嫌になる。
余暇の過ごし方	友人と観光に行くか、一人旅をする。課題やテストあけは寮でゆっくりと映画を見たりする。
嬉しかったこと	以外と日本に興味ある人が多かった。
苦労したこと	英語でコミュニケーションをとる際、タイ人のアクセントやイントネーションが独特で慣れるのに苦労した。

その他

新型コロナ関連	新型コロナウイルスに感染したが、微熱が一日出て、咳がたまに出るくらいだったので特に何も感じなかった。イギリスについたときはほとんどの人がマスクをしていなかったため、少し不安だった。
ヘイトクライム	特に経験はしていない。しかし、買物に出かけると白人の割合が多いため、少し居心地が悪い（アウェー感がする）。この経験から日本にいる外国人の気持ちが分かった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ブルネル大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力が圧倒的に伸びたと感じた。
学習面での課題	二学期目からの学部コースに向けて自分の学部分野に関するテーマに沿ったエッセイを最終課題で提出するのですが、その取り組みが大変でした。それと同時に 10 分間のプレゼンテーションをする授業もあったので、計画的に課題に取り組むことが必要でした。
学習目標	帰国後の TOEIC で 800 点以上を取得
そのためにやるべきこと	自主学習（課題は含まない）を 1 時間以上はやる、TOEIC の単語など

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	もっと多くの友達（現地の）ができると思ったが、夏休み期間だったためキャンパスにあまり人がいなかった。外大生徒同士で固まるというまで経っても友達はできないと感じた。
余暇の過ごし方	セントラルロンドンへ遊びに行く、徒歩 20 分バス 5 分で行けるアクスブリッジ駅周辺に買い物へ行く、図書館へ行く
嬉しかったこと	たまたまキャンパス内で友達になった現地の学生の子がとても親切で、交通 IC カードにお金が入りまくってチャージされなかった時返金対応の電話をしてくれて、無事に返金がされた。（電話番号をまだ持っていなかった時）
苦労したこと	現地の大学生は気軽に話しかけてくれて、困ったことがあったら何でも助けてくれるが、そうなるためには、自分からフラットメイトや、学部授業が始まった時は知らない生徒に自分から積極的に話しかけないと絶対に友達には発展しない。（連絡先を聞くなど）

その他

新型コロナ関連	不安に感じたことはない
ハイトクライム	特になし、みんな親切

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ブルネル大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始後、オンライン留学（日本滞在）と渡航しての留学との混合				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	現地の語学の授業を通して大学の学部の授業、または社会でも利用することのできるアカデミックな英語のスキルの向上を焦点にした学習を受けることができるので、新たに基礎から単語の学習、エッセイの書き方、プレゼンテーションの学習を受けることができ、留学前よりもよりフォーマルでアカデミックな英語スキルを学ぶことができました。
学習面での課題	日本で学習する以上に、自分の課題は自分で責任を持つという流れになっているため、課題の締切は決まっているが、そこに間に合うように学習計画を立て、取り組んでいくのは自分一人の責任であるため、甘えることなく自分の学習をコツコツと進めていく必要があることは難しさを感じました。また一緒に授業を受けている学生の方は本当にさまざまな国から訪れた学生の方が多いので、先生方の言葉のリスニング以上に学生の意見を聞き取るのがとても困難で、初めは特に難しく感じました。
学習目標	さまざまな国の方の英語を聞き取れるようになること。語学の授業を無事に終了に良い評価をもらえるように努力すること。
そのためにやるべきこと	さまざまな方のアクセントのリスニングを自主学習として行う。自分から他の学生に積極的に話しかける。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	現地の先生方、学生の皆さまが本当に優しい方々で、いつも私自身の体調面や学習環境を気にかけてくださっているの、[わからないこと]を黙らずに「わからない」と伝えることができ、ストレスなく過ごすことができています。
余暇の過ごし方	授業の宿題も少しありますが、英語の能力上げるため、また授業の理解度を深めるために余暇の時間にもさまざまな方法で英語の学習をしたり、英語に触れる時間を作っています。しかし、勉強だけではなく、現在暮らしている町はロンドンをはじめとする都市部とアクセスが良いため観光をしたり、学校の主催する交流会などにも参加して、有意義に過ごすことができています。
嬉しかったこと	まず、生活をしている寮も設備が良く、不自由を感じないため、ゆっくりと自分の時間を過ごすことができています。そして友人関係では、日本人は名古屋外国語大学からの留学生以外では本当にいない町ではあるのですが、その分多くの方が日本に興味を持ってくださいし、英語の能力に関してまだまだ不安であるということをあえて伝えることで、多くの方が授業以外の時間でも積極的に声をかけてくださるのでとても楽しく過ごせています。
苦労したこと	生活面として、寮の設備は良いのですが、ただ全ての建物が新しい建物であるということではないため、寮によっては電気がつかないなどといったトラブルもたまに発生します。ただ、それら設備のスタッフさん方へは独自のアプリを通して故障の報告ができ、迅速な対応をしてくださるため、そこまで大きな問題は感じておりません。友人関係では、やはり言語の難しさが大きいかと思います。現地にはインド出身の方やサウジアラビア出身の方など、日本で暮らしているとあまり交流する機会がない国籍の方と接することが多いので、そういった方々の会話を聞き取るのが初めとても難しく感じ、今でも難しく感じるため、そこが苦労した経験であると思います。

その他

新型コロナ関連	やはり日本とは全くとって良いほどコロナウイルスに関する考え方が異なっていると感じます。9 割近い方はマスクを着用していないですし、コロナウイルスはもう終息したという考えを持っている方が多いので、そこについては違いがあるということを理解しておいた方が良いかもしれません。
ヘイトクライム	特に大きな経験はないのですが、一度中国人の友人とスーパーに行った際に中国に対する暴言をおっしゃっている方がいらっしゃったので、少し驚いてしまいました。しかし、生活をしている地域は多くの国籍の方が暮らしているので、アジア人として特に視線を感じるということはなく、とても多様性のある地域であると感じているのでそこまで不安を抱えずに訪れてほしいと感じます。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・マンチェスター・メトロポリタン大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	コミュニケーションなどは問題なくできるようになったと思う
学習面での課題	授業の内容を 1 回で理解することが出来ていないこと
学習目標	全授業で成績を上位に収めたい
そのためにやるべきこと	毎日期末課題に取り組み、期末課題になれる

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	インターナショナルサークルなどに参加し、色んな友達を作ることが出来ているから
余暇の過ごし方	ショッピングやインターナショナルサークルの旅行に参加
嬉しかったこと	日本文化に興味ある人が多いこと
苦労したこと	コミュニケーション

その他

新型コロナ関連	特になし
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イタリア・トリノ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	活用できる単語数が英語、イタリア語ともに増えた。中世ヨーロッパ史、ヨーロッパ都市の成り立ちについての造詣が深まった。
学習面での課題	まだイタリア語を話すためには頭で一度考える時間が必要で、スラスラ出てこない。わからない単語と遭遇したらその場で意味を調べて、すぐ活用するように心がけている。
学習目標	イタリア語がスラスラ話せるくらいになる。
そのためにやるべきこと	毎日少なくとも自習時間を設けて、イタリア語英語共にボキャブラリーを増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	毎日いろんな国から来た仲間と会って交流を深める中で、新しい文化に触れたり、今まで考えたことの間違った側面から物事を考える機会が多く、充実した毎日を過ごしていると思うから。
余暇の過ごし方	友人と会っておしゃべりすることが多いが、他にも買い物に行ったり、街を散歩したり、たまに別の街を観光したりして過ごしている。
嬉しかったこと	初めて会った人とまた会おうとってもらえることが多かったり、みんな日本のことについて興味を持ってくれたりすること。また一人新しい人と仲良くなると、その友達を紹介してもらえてまた数人新しく友達の輪が広がる場所。お店で店員さんに話しかけられる内容は大体わかるようになってきたこと。
苦労したこと	時間の感覚が日本と違い、公共交通機関は時間通りに来ることはなく、公共機関に行っても半日は待たされた。また、友人と会う約束をするときも前もってではなく、当日や前日に決まることが多く、少しストレスに感じるがあった。

その他

新型コロナ関連	来た当初、イタリアの規制はヨーロッパの中でも一番厳しく、ワクチン接種証明書を持ち歩いて、そのバーコードがなければお店にも入ることが許されなかったり（スーパー、薬局は例外）、室内や公共機関内、授業中は FFB2 というしっかりとしたマスクをつけることが義務付けられていたため、特に不安に思うことはなかった。しかし、到着から一か月後にすべてが撤回され、マスクなしでどこでも行けることが決まってから、マスクを外すことにかなり抵抗があった。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イタリア・トリノ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	英語を話したり、聞いたりすることに抵抗がなくなった。
学習面での課題	授業では教授の話していることがたまに理解できないことがあるが、教授と一緒に受けている学生に聞いて理解している。
学習目標	toefl 100 点取得
そのためにやるべきこと	家に引きこもる時間を減らし、友達と英語を使って話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	同じ交換留学で来ている世界各国の学生たちと話す機会があり、みんな優しく、そして楽しく会話できていると思う。
余暇の過ごし方	1 人で街に出て写真を撮る。
嬉しかったこと	自分の誕生日パーティを開いてくれた。
苦労したこと	特になし。

その他

新型コロナ関連	日本よりもマスクをする人が少ないこと。
ヘイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イタリア・トリノ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	中世ヨーロッパの建物の変遷についての授業を履修したのですが、その授業内で学習した内容は実際にイタリア国内を旅行し昔の建物を見た際に役立っています。
学習面での課題	イタリアはイギリス英語を使用している傾向が高く、今まで私が勉強してきたアメリカ英語とは語彙が異なったり、同じ単語でも表記方法が異なったりしている(z→s 等)ので理解に時間が掛かる事。
学習目標	イタリア語検定を受検する事を考えています。
そのためにやるべきこと	聞き取れなかったものは分かった振りをせず理解できるまで聞き直す事。 毎日ニュース等のイタリア語文面を読み新出単語を覚える事。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	トリノ大学は世界各地から留学生がきている事もあり、稀に送られてくるはずのメールが人によって送られてきていない、質問しても返信が非常に遅い等困惑した点があった。また、名古屋外大からトリノ大への留学生が少ない事やそもそも日本からイタリアへの留学生が比較的すくない事もあり基本的に情報収集には苦労しました。
余暇の過ごし方	博物館巡り、旅行、勉強、市内観光
嬉しかったこと	授業が遅くまで開講しているため、授業によっては授業後にそのまま夕食をクラスメイトと食べに行ったりできる事。
苦労したこと	大学自体の規模が大きく、授業が沢山開講しているため友達が作りにくい事。

その他

新型コロナ関連	留学当初は、日本でブースターショットを受ける事が出来なかった(当時そもそも接種が開始前だった)にも関わらずヨーロッパはブースターショット摂取済みでないと日常生活が送れない等苦労した点があったが、その後はマスク規制も廃止され日常に戻っている。
ヘイトクライム	ごく稀に街中で Cinese! (中国人)と叫ばれたり、すれ違い際にわざとぶつかられた事もありましたが、比較的親日の人が多いと思います。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	オランダ・HU ユトレヒト応用科学大学				
留学制度	TESS II	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	専門用語でも理解できる単語が増えた
学習面での課題	アカデミックレポートのレベルを上げるために文章構成・使用単語の例を友人のレポート等を参考に学んでいる
学習目標	IELTS7.0 以上・TOEIC990
そのためにやるべきこと	参照任意の参考資料も目を通す

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	寮がハズレだったので生活は満足ではない。友人関係に関しては、クラスメイトやその他コミュニティ含め良い人ばかりでとても満足している。
余暇の過ごし方	友人とカフェ、パーティー、ショッピング、観光
嬉しかったこと	日本人一人の私を心配して、友達が同じ国籍の友達を紹介してくれることで交友関係が広まったこと
苦労したこと	寮のリビングで夜遅くまで騒いでいる人がいること。マリファナの匂いが自分の部屋に流れ込んできたときはとても困った。 友人関係で苦労したことはない。

その他

新型コロナ関連	不安に感じたことはない。皆マスクをしておらず全くシリアスな感じではなく、この状況であれば自分がどれほど気を付けても滞在中一度はかかって当然だと感じた。
ヘイトクライム	物理的に危害を加えられることはないので特に不安は感じない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	英語で話すことに抵抗がなくなった。
学習面での課題	会話で言いたいことをできる限り表現できるように、自習では単語をなるべく多くインプットするように心がけている。
学習目標	IELTS7.0
そのためにやるべきこと	自由時間なども、英語のコンテンツビデオやラジオなどを聞くなどして、日々英語漬けにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	学生寮でなかなか家庭的な文化を体験できる機会が無いが、友人関係などは満足している。
余暇の過ごし方	映画や本などを読んでいる。
嬉しかったこと	色々な国出身の人と話して生の話を聞くことができた。
苦労したこと	インターナショナル生とはたくさん話したり、仲良くなりやすいが、なかなか現地の人と深い関係を築くのが難しい。

その他

新型コロナ関連	特になし
ハイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	英語教育専攻
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語のコロケーションを覚えたり、正しい文法で英語が使えるようになってきた
学習面での課題	リスニングとリーディングでたまに聞き取れなかったり、読むのが遅いと感じること。 そのためにネイティブの方と積極的に会話して、リスニングを鍛えている、リーディングでは英語の記事を読むように心がけている
学習目標	英検準 1 級、学部コースの全クラス単位取得
そのためにやるべきこと	課題も授業も全てが英語の練習だと思い集中して、妥協せず真面目に取り組む。学んだ語彙やフレーズを積極的に会話に使う

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	たくさんの国の方と知り合えたから
余暇の過ごし方	旅行にいたり、ホストファミリーと過ごしている
嬉しかったこと	言語や文化が違えど、クラスメイトととても仲良くなれたこと
苦労したこと	たまに孤独感を感じてしまうこと

その他

新型コロナ関連	症状は酷くはなかったが、まず何よりホストファミリーに移したのではないかと心配した
ハイトクライム	特に今とこ感じているが、自分にも起こりうると危機感を感じている

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英語教育専攻
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	より流暢に話せるようになった。臆することなく話しかけたり、授業中に発言できるようになった。ミスを恐れなくなった。
学習面での課題	現地の人の話すスピードにまだ慣れていないので、Youtube などを活用しリスニング力の強化に努めている。
学習目標	TOEIC950 点
そのためにやるべきこと	毎日英語に自分から触れに行き、英語のスキルの向上を目指す。毎日学校に残り課題をただやるだけでなく深く、より多くのことを獲得、学べるようにやる。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	毎日が充実しているから。
余暇の過ごし方	Youtube 等で英語の勉強、本を読む、ビーチに行き運動をしに行く
嬉しかったこと	寮で生活しているので、いろんな国の方と交流がしやすいこと
苦労したこと	特になし

その他

新型コロナ関連	不安はない
ヘイトクライム	経験はない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	まだ完全ではありませんが、留学初期よりも会話の内容が理解できるようになったと思います。また、授業で学んだプレゼンテーションで用いられる言葉を自分のプレゼンテーションに取り入れることで、自然な流れで進めていけるようになりました。
学習面での課題	授業や日常生活においてリスニング力がまだ足りないと感じるので、ポッドキャストで英語の会話やスピーチを聞いて少しでも理解ができるようにしています。 また、知らない語彙や語の組み合わせが多いため、曖昧な単語や分からない単語は Longman Dictionary を用いてなるべく英語で理解し確認するようにしています。 約 4 か月経ちましたが、スピーキングの流暢さや発音など様々な点において周りよりも劣っていると感じています。学部も始まるため、より一層努力しなければならないと感じています。
学習目標	授業内容をきちんと理解した上で、全授業の成績の「良」以上を取る。 TOEIC で 850 以上を取得する。
そのためにやるべきこと	毎日の自習 2 時間 TED などを用いて、英語でのリスニング力と自分自身の考えを伝える力を鍛える。 日常的に英語を用いる時間を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	ホストファミリーやクラスメイトがとてもフレンドリーで優しいから。 自分の英語の拙さや性格上、積極的にコミュニケーションを取ることが出来なかったから。 自分で考え行動する力が足りなかったため。
余暇の過ごし方	勉強、また買い物に行ったり、時々ホストファミリーとボードゲームをしたりします。
嬉しかったこと	ホストファミリーやクラスメイトがとても優しくフレンドリーに接してくれたこと。 様々な国のクラスメイトと話したり、文化交流ができたこと。
苦勞したこと	ホストファミリーとの文化や考え方の違いに戸惑うことがあった。 周りの人と上手くコミュニケーションを取ることができず、少し辛かった。また、休日も友人を遊びに誘ったりということができず、自分から行動することができなかった。

その他

新型コロナ関連	マスクをつける習慣があまりないと感じました。
ハイトクライム	特にありません。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	留学前は、会話の際に自分の伝えたいことをすぐに英語にできないことも多かったが、徐々に英語ですぐに伝えられるようになった。
学習面での課題	授業や課題などについて情報が少なく、自分たちで情報収集しなければならないことがある。
学習目標	学部授業の成績で 80%以上を取得する。
そのためにやるべきこと	予習復習をしっかりと行い、分からない箇所は積極的に相談する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	現地には、気さくで優しい人がとても多く、ストレスを比較的抱えることなく生活できている。
余暇の過ごし方	より多くの経験をするために、さまざまな場所へ出かける。都会的な地域ではないため、自然を楽しむことが多い。
嬉しかったこと	日本以外の国から来ている学生も多く、さまざまな国の人と知り合うことができたこと。
苦労したこと	寮生活で生活習慣や文化が合わないことがあった。

その他

新型コロナ関連	日本に比べて、新型コロナに対する警戒心が弱いと感じた。
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・オカナガンカレッジ				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	以前は、英語を喋るときに単語がよく思いつかずに、「えー」などを言って言葉が詰まっていたが、今はそれが少なくなった。
学習面での課題	エッセイやプレゼンテーションなどのアウトプットの課題をこなすのに苦労している。
学習目標	ネイティブスピーカーの会話スピードについていけるようになる。（ちゃんと話している内容が聞き取れる、話を聞いているだけで無く対等に話し合える）
そのためにやるべきこと	海外の友達をたくさん作る

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	海外の友達をもっと欲しいから まだ少ない
余暇の過ごし方	友達・ルームメイトと過ごす、ホストファミリーと出かける、ホストファミリーと喋る、一人でゆっくりして過ごす、一人で買い物に行ったり訪れたことない場所に行ったりする
嬉しかったこと	自分の誕生日をたくさん祝ってもらえて、友達 0 で留学したのにも関わらず、こんなに祝ってもらえる友達ができて自分は恵まれていると実感したとき。 ホストファミリーが作ってくれるご飯がとてもおいしい。
苦労したこと	ホストファミリーとの生活の中でと一緒に旅行に行ったときに感じた文化の違い。 日本人の子とは意外とすぐに友達になれるが、海外の子と友達になるのは難しい。自分から積極的に話していく必要がある

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セネカカレッジ				
留学制度	TESSIV	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語を話す際に感じていた違和感がなくなった。
学習面での課題	間違っていることを恐れて発言する前に考えてしまうこと。ゆっくりでもよいから止まることなく話し続けるよう努力している。
学習目標	TOEIC 800 点以上
そのためにやるべきこと	恐怖心を取り除くため日常会話から英語化する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	新しい人や出来事に会うことで毎日新鮮に感じているため。
余暇の過ごし方	市内巡り・旅行
嬉しかったこと	海外での人間関係や生活に慣れたと感じたこと。
苦労したこと	円安

その他

新型コロナ関連	特になし
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セネカカレッジ				
留学制度	TESSIV	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	ディベートで積極的に自分の意見を言えるようになった
学習面での課題	授業中に分からないことがあったとき、すぐに質問するようにしています。また、先生や生徒によって英語が聞き取れないことがあり、苦労しています。
学習目標	TOEIC850 点
そのためにやるべきこと	日本人同士でも英語を使うよう心がけ、無意識に英語が思い浮かぶようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	毎日色々な友達と共に学びながら楽しく過ごせているから。
余暇の過ごし方	旅行や運動を頻繁にしています。
嬉しかったこと	1 人じゃ解決できず困った時に助けてくれたこと。
苦労したこと	最初は友達を作るのが難しく、どうしても外大生同士共通の友達が多かったこと。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セネカカレッジ				
留学制度	TESSIV	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	会話時に使う英語が変わった。今までは日本語を訳した英語を使っているような感じだったが、英語としての言葉を使うようになった。授業に係るボキャブラリーが増え、授業理解がしやすくなった。様々な文化に触れることで、視野が広がった。
学習面での課題	授業中に完璧に聞き取れなかったり、言っていることが完璧に理解することが出来なかったりすることがある。授業時の発言も出来るようにはなったが、まだ焦ったり、パニックになってしまったりすることがある。
学習目標	TOEIC800 取得。英語でスラスラとグループで会話をできるようにする。
そのためにやるべきこと	なるべく多くの人と関わり、多くの経験をする。英語を話す機会を自分でも作る。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	英語を話す友達もあり、充実している。
余暇の過ごし方	ボランティアに励んだり、友達と遊んだりしている。
嬉しかったこと	日本の商品が意外と有名でみんなが好きだと言ってくれたこと。
苦労したこと	ルームメイトのお皿を洗わない問題

その他

新型コロナ関連	みんながマスクをしていない
ハイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セネカカレッジ				
留学制度	TESSIV	留学期間	1 年	学科	国際日本
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	クラスメイトやルームメイト、その他周りの人との会話の際、話すことに躊躇しなくなったこと、以前よりも気軽に話せるようになっていると感じること。
学習面での課題	drill と呼ばれる実践的な課題兼試験の際、第二言語で状況に応じた対応をすることの難しさに直面し、前期は少し苦労したが、自分自身でも、友人と一緒にでも練習を重ね、また先生やクラスメイトに質問を沢山してわからないことをクリアにするように心掛けた。
学習目標	TOEIC800 点以上取得、セカンドセメスターも fall 2022 President's Honour List を受け取ること。
そのためにやるべきこと	授業を真剣に受ける、英語だけで生活する、授業外でも TOEIC の勉強をする時間を設ける

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	いい面だけを見れば満足だが、それと同時にいくつかの点で苦労した点もあるから。
余暇の過ごし方	ルームメイトや友人とお話をしたり、一緒に料理を作ったり、外に出かけたり、散歩を楽しんだり。個人の時間を使って、趣味に当てたりもする。
嬉しかったこと	いいルームメイトに出会えたこと。趣味や好きなものが近いことでより距離を縮めることができていると感じる。夏の気候的にも、大学の周りの環境的にも、カナダという国が比較的過ごしやすいこと。
苦労したこと	留学の前半期間は、部屋に電子レンジがなく、ろくなものを食べることができなかったこと。円安の影響が大きく、何もするにも何を買うにも全て金銭的に厳しいこと。日本人同士の交友関係がうまくいかなかったこと。

その他

新型コロナ関連	全面対面の授業がひとつもないこと。
ヘイトクライム	唯一 1 人の先生（ネイティブカナディアン）から授業中に突然怒られた経験目づ、その先生が他の学生（その時はインド人）に対しても、ヘイトクライムと受け取られるような対応をしていた等の経験から、少し恐怖を覚えた。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セルカークカレッジ				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業での最初のほうは自分の意見を述べるのが難しかったり、話すスピードについていけなかったりなどがあったが、授業を通して自分の英語力に自信が出てきて、発言をできるようになった。そして語彙力なども会話などを通して増えてきたり、ネイティブの人としっかり会話できるようになった。
学習面での課題	課題面としてネイティブの人と会話などを通じてボキャブラリーの少なさなどを実感した。そのためわからないスラングや単語が出てきたとき、その場ですぐに意味を聞いて理解したり、メモなどをして後からすぐに調べて分かるように努力している。
学習目標	授業の成績で A 以上を取るようになる。
そのためにやるべきこと	宿題をしっかりとやり、授業でも意見を積極的に述べていく。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	現地の友達ができたり、友達と楽しく過ごすことができているから。 生活としては住んでいるところが田舎であるため、やることは少ないが満足はしている。
余暇の過ごし方	友達とショッピングに行ったり、スポーツなどをして過ごしている。
嬉しかったこと	友人関係では現地の友達ととても仲良くなり、自分のことを頼ってくれたり一緒に遊びに行ったりなどうれしいことが多い。
苦労したこと	田舎であるため、日曜日にバスがなかったりなど交通面で不便に感じるが多々ある。

その他

新型コロナ関連	特になし。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セルカークカレッジ				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	理解したふりをする機会が減った。
学習面での課題	わからないことがあったら、躊躇しないで質問するようにした。
学習目標	全て成績で A を取る。
そのためにやるべきこと	現地日本人の友人間と英語を話さない約束をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	辛く感じることもあるけど、英語力上達を感じる。
余暇の過ごし方	旅行に行ったり、韓国ドラマを見て韓国人の友達と文化交流をしている。
嬉しかったこと	英語でゲームを楽しめたこと。
苦労したこと	性格が真逆に感じる時もあって、理解するのに苦戦した。

その他

新型コロナ関連	学校主催の Banff 旅行でクラスターになった。
ハイトクライム	感じることはほぼない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セルカークカレッジ				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界共生
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	事前の自習をする事で自身の単語数が増え、実際の会話でも利用できるようになった。
学習面での課題	課題の作成(レポートなど)
学習目標	Toeic800 以上、GPA3.3 以上
そのためにやるべきこと	ネイティブスピーカーやその他国籍の留学生との会話の時間を自主的に取る。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	多くの友人に恵まれ、日々英語だけではなく様々な知識を得られている。
余暇の過ごし方	友人とハイキングや海に行くなど自然豊かな場所ならではの生活をしている。
嬉しかったこと	友人が自分との会話を通じて日本に関心を抱いてくれたこと。
苦労したこと	文化の違いから感情の表現の仕方が違うなどのコミュニケーションの点において苦労した。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・セルカークカレッジ				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	言いたいことをしっかり英語で伝えられるようになった 間違いを恐れず英語を使えるようになった 特別な準備はしなかったが TOEIC のスコアがかなり上がった
学習面での課題	英語を話せはするが流暢さに欠ける 授業で使うような難しい単語の知識がまだ足りない 日常会話で使う単語を意外と知らない
学習目標	TOEIC スコア 850 以上取得
そのためにやるべきこと	毎日授業に参加し、わからない単語があればしっかり調べる

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	休日や空いた時間に楽しく過ごせる友人たちに囲まれているため。また、困った時は必ず友人が助けてくれるから。
余暇の過ごし方	友人たちとダウンタウンのカフェやレストランに行ったり、部屋で映画を見たりしている。
嬉しかったこと	日本が恋しくて気持ちが落ち込んでいた時、友達が私の話を聞いて寄り添ってくれたこと。
苦労したこと	少しのニュアンスの違いで友人と誤解が生まれたこと。 性格や意見の合わない友人がいること。

その他

新型コロナ関連	特にない
ヘイトクライム	特にない

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・ノースアイランドカレッジ				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	現地の生徒だけでなく、他の国から来た生徒も積極的に発言しており、自分もそれに感化され、授業中だけでなく、日常の会話の中でも自信を持って自分の意見を伝えることができるようになった。 スピーキングの面では、留学開始直後は日本語の文を最初に思い浮かべて、その後に頭の中で英語に訳し、会話をするという形だったが、留学 3 ヶ月目くらいに頭の中で話したい状況をイメージして日本語の文すら考えることなく、英語でその状況を説明することができるようになり、会話が少しだけスムーズになった。
学習面での課題	授業中や会話の中で相手のの言っていることが分からないことがあったため、TED Talks を YouTube で見ながらシャドーイングをして耳が英語に慣れるように努めた。 犯罪学の授業を取ったが、専門用語が多く、日本語ですら意味の分からない英単語が出てきて理解するのが大変だった。→授業前に教科書を読み、分からない専門用語は調べて授業を受けた。
学習目標	毎授業必ず 1 回は発言する ホスピタリティのクラスで A 以上の成績を取る
そのためにやるべきこと	普段から疑問に思うことや自分が感じたことを積極的に口に出したり頭の中で発言する

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	NUFS からの留学生が自分一人だけであるため、ありのままの自分をさらけ出すことの出来る友人がおらず、常にホームシック。しかしながら、ホストファミリーが非常に良い方で、学校であった出来事を聞いてくれたり、いろんな場所に連れて行ってくれる。
余暇の過ごし方	午前中は自習勉強(シャドーイング、英語字幕で映画やドラマ視聴)。午後はホストファザーのガーデニングの手伝いや自主トレ(バスケット、ハイキング)。ハイキング中に会った人に話しかけてできるだけ英語をアウトプットすることを心掛けている。
嬉しかったこと	唯一できた友人(カナダ人)が夏休みに滝を見に連れて行ってきて遊んでくれたこと。 ホストファミリーは特に厳しいルールがなく、自由にストレスなく過ごせていること。
苦労したこと	4 ヶ月かつ第二言語で親友を作ることが難しいということ。現地の学生は授業後すぐに帰ってしまうため、自分から遊びに誘ったりしないと、なかなか仲良くなる機会が無い。また、インターナショナルな生徒はそれぞれアルバイトがあるためなかなか遊ぶ機会がない。 毎日の習慣としてお風呂に浸かることができないことが少しつらい。

その他

新型コロナ関連	特に新型コロナに関することを話している人やマスクをしている人を見かけることが無かったため、特に何も感じていない。
ヘイトクライム	特になし。アジア人だからと言って気を使われたり、特別に扱われたことも無い。あくまでも周りの人と同じ扱い。コモックスの人々はみんな優しい。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・ブリティッシュコロンビア工科大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	以前聞き取れなかった英語の会話が聞き取れるようになった。主にビジネス英語を勉強していたので、丁寧で礼儀のある言葉を学べた。
学習面での課題	まだ長い説明の時に聞き取れなかったりすることがあるので、映画を字幕で英語にしたり日本語にしたりして、分からなかった単語の意味を理解するように心がけていました。
学習目標	単語の習得を心がけ、もっと文法を正確に身につけられるように心がける。
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間の自習

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	私の周りの友達はとても優しく、遊びに誘ったりしてくれました。英語を話す時に英語が思いつかなくても、待って話を聞いてくれたりとか、心の支えになってくれる友達ができたからです。さらに今まで一人暮らしをしたことがなかったので、1 人の時間が増え、自分自身を見つめ直すきっかけが出来ました。
余暇の過ごし方	映画を観たり、友達と遊びに行きます。
嬉しかったこと	寮で話したりして英語できちんと話せていること。また友達ができて、お互いに出身国に訪れる約束もできるようになった友達が出来たこと。
苦労したこと	物価、食費が日本に比べてはるかに高い。友人関係では、価値観が違ったり、自分が楽しくやっていることを否定したり、自分の意見を押し付けたりするひとがいたりして、関係を維持するのにかなり気を遣いました。

その他

新型コロナ関連	バンクーバーはマスクをつけているひとはとても少ないし、感染者も日本より少ないように感じました。
ヘイトクライム	旅行の際に列で待っているとき、白人の男性が私は列にきちんと並んでいるのにイラついた様子で列でちゃんと待てよと言われたことがあります。アジア人だからなのかなと思いました。未だにアジア人に対するヘイトがあるのが悲しく思いました。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・プリティッシュコロンビア工科大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語が理解できる様になった
学習面での課題	自主的に勉強するようになった
学習目標	TOEIC850
そのためにやるべきこと	毎日 5 時間勉強

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	遊びに行く機会が多いから
余暇の過ごし方	勉強、遊び
嬉しかったこと	英語力を認めてもらったこと
苦労したこと	発音が悪く伝わらない時

その他

新型コロナ関連	特にない
ヘイトクライム	特にない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・プリティッシュコロンビア工科大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	発音が良くなった。長い文章を止まらずに話せるようになった。相手の発言に対するリアクションを自然にできるようになった。
学習面での課題	触れたことのない分野でも通用する単語力がない。インターネットで検索したり授業でメモを取って予習、復習をしている。また、様々な分野のニュースや作品を英語で聞いて、表現を覚えるようにしている。
学習目標	TOEIC ip テスト 950 点取得
そのためにやるべきこと	教科書、ニュース記事、本等の文章を毎日 1 時間読む。気になった単語があればすぐにメモをし、その日のうちに調べておく。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	外大からの留学生が自分以外に一人しかおらず、英語を話す機会が十分あり満足している。信頼できる友人や大人も多く、困ったことがあってもすぐ解決できるので、とても良い環境で学習できていると思う。
余暇の過ごし方	友人と過ごしている。
嬉しかったこと	到着してすぐに友人ができたことがとても嬉しかった。そこからの延長で、知り合いや信頼できる友達がたくさん増えたのでとても満足している。生活面では、特に困ったことはない。寮の共用キッチンで自炊するため、日本食を作れば食べることができるし、バンクーバーではどんな食材や物も簡単に手に入るので、とても生活しやすい。
苦労したこと	同期に留学した外大からの留学生が一人のみだったので、性格が合わず苦労した。

その他

新型コロナ関連	到着して、街中でほとんどの人がマスクをしていなかったのも驚いた。最近はマスクをしている人を見かけることもほとんどない。友人や寮生が感染したというのを聞くのも珍しくはないが、周りに気を配って自主隔離をする人たちが殆どなので、特に不安に感じたことはない。また感染したからといって白い目向ける雰囲気も全くない。
ヘイトクライム	特にない。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・フレーザーバレー大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ボキャブラリーが増えた。
学習面での課題	グループワークの際に発言できない。
学習目標	授業の成績 B 以上
そのためにやるべきこと	予習・復習それぞれ 1 時間以上する

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	英語が流暢に話せなくても優しく接してくれるから
余暇の過ごし方	部屋で youtube を見るか、友達と近くのレイクに行ったりダウンタウンに買い物行ったりする。
嬉しかったこと	悩みを友達と共有できたこと。
苦労したこと	生活に慣れるまではルームメイトと意思疎通をするのが少し大変でした

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・フレイザーバレー大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業への予習と復習の仕方を確立できた。リーディングのスピードが速くなった。何に対しても自分の考えや意見を持てるようになった。
学習面での課題	予習せずに授業に参加すると大変になるので、予習をしておいて、授業では先生の話に集中できるようにしています。エッセイ課題では、要求されるエッセイフォーマットが先生によって異なるので、知らないフォーマットについて一から調べなければいけないのが大変でした。
学習目標	TOEIC900 点以上。授業の成績で A 評価を取る。
そのためにやるべきこと	毎回予習をし、授業後その日のうちに内容を復習する。先生やクラスメイトに積極的に質問する。内容を英語で人に説明できるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	部屋の割り当ての関係上夏学期はルームメイトがおらず、ルームメイトの子繋がりでの交友関係を広げることができなかったから。他の日本人の子に紹介してもらって一緒に出掛けたりもしましたが、後期は自分の力で友達を作りたいなと思っています。
余暇の過ごし方	課題、買い物、旅行
嬉しかったこと	他の国から来た子と友達になって一緒に出掛けたり、学内外で会うと必ずフレンドリーに声をかけてくれる子がいたりすることが嬉しいです。
苦労したこと	生活面では、夏学期は自炊だったため買い出しに行くのが大変でした。友人関係では、やはり国の文化が違うので、相手に無意識に失礼なことを言ったりしないように気をを使うことが多かったです。

その他

新型コロナ関連	ほぼ全員ノーマスクなので不安です。人ごみを避けたり手洗いを徹底しています。
ヘイトクライム	アジア人差別的な言葉を一度だけ言われたことがありますが、普段生活していて差別的な言葉を言われたり暴力を振るわれたりすることはないです。基本的にみんなフレンドリーで親切な人ばかりです。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・マギル大学(生涯教育部)				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	アカデミックな単語の使える数が増えた。
学習面での課題	まだまだ単語数が少ないので、エッセイなどを書く時に同じ単語ばかり使わないようにすることが大変。
学習目標	全ての科目で B +以上
そのためにやるべきこと	学校だけでなく、現地のネイティブとも関わりを増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	世界中から生徒が集まっているため、多文化についての理解を深められているから。
余暇の過ごし方	時間がある時は、現地のボランティアに参加しています。
嬉しかったこと	ホームステイ先の家族と共に遠くまで出かけられるくらい仲良くなったこと。
苦労したこと	フランス語がメインの街だったので、英語が通じない人がいた時。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	到着して、1 週間後くらいに友人と歩いていたところ、アジア人ヘイトに遭ってしまい、危害を加えられそうになったこともありとても怖かったのですが、周りの方々が助けてくださり、ヘイトをする人よりもすごくいい人が多いことを感じられて嬉しかった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・マギル大学(生涯教育部)				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	ほとんど一言一句残さず聞き取れるようになった。ある程度スラスラ英語が頭の中に出てくるようになった。
学習面での課題	課題が多いので、こなすので精一杯。自分の気持ちや考えを全て表現し切ることがまだできない。
学習目標	もう少しアカデミックな単語を覚える。スピーキング能力をもう少し高める。
そのためにやるべきこと	ある程度単語の学習の時間を自分で作るべき。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	現地の子と知りあう機会はまだ少ない。
余暇の過ごし方	課題、友達とご飯
嬉しかったこと	日本を好きな人が数多くいること
苦労したこと	現地の子は英語とフランス語を混ぜて話すので途中で聞き取れなくなる。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	北アメリカ、ヨーロッパの人からしたら、英語がどれくらい話せようが、アジア人というくりにされてしまう。人種差別的発言も実際受けた。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・マギル大学(生涯教育部)				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	プレゼンをする機会が多く、原稿を作らなくても 5 分以上話せるようになった。日常生活で活用できる単語数が増えた。
学習面での課題	授業内でディスカッションする機会が多いが、なかなか自分から意見が言うことができず聞き手に回ってしまう。大人数だとよりそうなりやすいので、ペアワークから慣れられるように努力している。
学習目標	自分の一番苦手なスピーキングのテストで 85%以上取りたい。また、モントリオールはスペイン語を第一言語とする人が多いので、外大で第二言語として履修しているスペイン語を伸ばしたい。
そのためにやるべきこと	友達とお店に行き店員さんと話さないといけない状態の時、いつも友達任せにしてしまってるので自分も話す努力をする。ホストファミリーが多くの留学生を受け入れている家庭で他の国から来た生徒がたくさんいるので、留学生やホストファミリーと話す機会を増やす。同じ家の留学生でスペイン語を話す人がいるので、スペイン語で時々やり取りをする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	とても充実している留學生活ですが、フランス語圏という壁がいつまでも壊れないから。（下記に詳しく書きました）
余暇の過ごし方	宿題が多いときやセッションの最後の週はカフェで大学の図書館で勉強することが多い。川と公園が多いの時々そこまで散歩に出かける。休日はクラスメートやルームメイトとお出かけする。家にいる時は yourube を見たり、Duolingo でスペイン語の勉強をしたりする。
嬉しかったこと	カナダは優しい人が多く、何度か外出先ですれ違った人に助けをもらったこと。2 人ルームメイトで仲良くなることができたこと。一人は日本人で先週日本に帰国して、自分が日本帰国したら日本で会おうと約束できた。もう一人は自分よりもカナダにいる期間が長く、モントリオール内をたくさん案内してくれる。
苦労したこと	マギル大学の 1 セッションが 6 週間と短く、次のセッションに継続する人が少ないので友達が出来ても 6 週間でお別れになってしまったこと。日本と違って価格が税抜きで書かれていることが多く、そして税金が高いこと。チップ制度に関して、いまだに何%払えばいいのかわからないこと。モントリオールは英語とフランス語が公用語で、フランス語のみ話す店員さんに当たったり、お店の中が英語が一切なくフランス語のみだったりすると困ったこと。メトロのアナウンスが全てフランス語のため遅延している時がわからないこと。

その他

新型コロナ関連	自分が実際にコロナに感染してことはないが、ルームメイトやホストファミリーが同時期に 4 人陽性になった時は不安を感じた。
ハイトクライム	アジア人差別まではいきませんが、数回経験した。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・メディソンハットカレッジ				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	文法をしっかり再確認して学んでいるため理解が深まった。 単語の品詞に注意して考えることができるようになった。 ライティングの書き方について理解が深まった。
学習面での課題	理解はしていても言葉に表現するのが難しい。 単語量を増やそうと頑張っている。
学習目標	テストや提出物の点数が 8 割を超えるようにする。
そのためにやるべきこと	毎日その日の授業の復習、テストが 2 週間に 1 回のため毎回テストを意識して勉強する。 自習として単語量を増やしたり、英語の字幕と英語で動画を見たりする。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	留学環境には満足しているが、友人が性格が合わない人が多く少し大変。
余暇の過ごし方	家で課題をするかモールやスーパーへ買い物に行く。
嬉しかったこと	バス停が近くにあり便利。モールへのアクセスもしやすい。
苦労したこと	店が早くしまるところが多い。 ルームメイトと性格が合わない。

その他

新型コロナ関連	同じクラスの子のホストマザーがコロナにかかってしまったとき少し不安だった。また、人が集まる場所でもほとんどがマスクをしていないためたまに不安になる。
ヘイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レイクヘッド大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	英語で 20 分間プレゼンテーションを行えるようになった。
学習面での課題	アカデミックな内容に関する語彙力の不足。教科書に出てきた新しい単語を覚え、実際にディスカッションやプレゼンテーションの中で使ってみる。
学習目標	英語で自信をもって、プレゼンできるようになること。
そのためにやるべきこと	プレゼンやスピーチの練習を事前にしっかり行い、当日はメモを用意せずに発表する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	同じコースを受講している他のクラスの留学生やクラスメイトと関わる機会が多いが、ルームメイトと交流する機会があまりないから。
余暇の過ごし方	大学の主催するイベントに積極的に参加している。
嬉しかったこと	外国人の友人がたくさんできたこと。滞在場所の自然豊かな環境が自分に合っていること。
苦労したこと	時差ボケがひどく、生活リズムを整えるのに苦戦した。

その他

新型コロナ関連	マスク着用が強制ではなくなったが、マスクを外すのにはまだ抵抗感を感じる。
ハイトクライム	特になし。人種に関係なく接してくれる人がかなり多い印象。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レイクヘッド大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で自分の意見を発言できるようになった。
学習面での課題	授業課題がとて多いがクラスメイトと協力してこなしている。
学習目標	成績 80%以上取る。
そのためにやるべきこと	日本語の使用を抑えている。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	全般的に暖かく親切である。
余暇の過ごし方	お出かけや現地で知り合った友達と会っている。
嬉しかったこと	多国籍に友達を増やすことができた。
苦労したこと	文化の違いを理解すること。

その他

新型コロナ関連	特に無し。
ハイトクライム	経験無し。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レイクヘッド大学				
留学制度	TESS II	留学期間	半年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	・授業に積極的に参加するようになった ・英会話で前よりスラスラに話せるようになった ・早いリスニングでも聞き取れるようになった ・ネイティブがよく使う英語を使うようになった
学習面での課題	・リスニングは聞き取れるが、理解に追いつけない時がある→内容をぼんやり全体的に理解できるよう練習している(海外ドラマ、積極的に英語で問いかけるなど)
学習目標	・授業の成績 A + 相当(90%以上) ・長時間難なく英会話できるようになる
そのためにやるべきこと	・留学先の友達に英語でたくさん問いかけてみる ・イベントに出来るだけ多く参加する ・1 日の振り返りの時間(1 時間)を作る(海外ドラマの表現の復習、授業の復習など)

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	友達ができて楽しめるイベントがたくさんあり、ホストファミリーがとても優しく、毎日美味しい料理を作ってくれるから。
余暇の過ごし方	基本はホストファミリーと映画を見たりゲームをしたりしてくれる。 たまに、ホストファミリーが友達の家に来てって、パーティーをする。 週に 1 回ほどクラスみんなでハイキングやショッピングに出かけている。
嬉しかったこと	ホストファミリーが毎晩レストラン並の美味しい料理を作ってくれた。 クラスみんなで食事やハイキングに行った。 毎週バドミントンができて、そこで学校以外の友達ができた。
苦労したこと	ホームステイのため、レジデンス(寮の学生)限定のイベントに参加できないときがあった。 猫の毛がよく服に付いて汚くなるがあった。

その他

新型コロナ関連	ホストマザーが風邪を引いて抗体検査を受けた。結果陰性だったが、学校を休まざる負えなかった。
ヘイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レイクヘッド大学				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキングに対する対抗心が少なくなった。1 つの単語に対する様々な言い方やジェスチャーの意味などを理解できた。
学習面での課題	自分の英語に自信をつけることができない。言語が違う人とたくさん関わりを持って、ひたすら話したり書いたりしてスラングなどを学んでいる。
学習目標	クラス的最優秀者に選ばれること。TOEIC スコアを 850 以上取れるようにする。
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間は英語の時間に費やす。積極的に外に出て、現地の人や大学の人とコミュニケーションをとるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	自分の住む町と似ていて、過ごしやすい。自然についてより身近に感じられている。日本との違いに常日頃発見があり、楽しい。
余暇の過ごし方	youtube を見たり、買い物やカフェに行く
嬉しかったこと	多くの人から声をかけてもらえて、様々な人種と仲良くなって、その国のこととかを知ることができた。
苦労したこと	ルームメイトと打ち解けられるのに時間がかかり、家の中で孤独を感じていた。

その他

新型コロナ関連	周りで感染者が出たりして、身をもって怖さを再実感した。
ハイトクライム	私はまだありませんが、友達がバスの中で get off! と怒鳴られたと聞き、そこから少し怖さを感じている。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レスブリッジ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	リスニング力が向上され教授が話している内容を理解できるようになってきた。
学習面での課題	学部授業は予習復習が大切。一週間に 2、3 回授業があるので授業のスピードも早い
学習目標	IELTS8、TOEIC900
そのためにやるべきこと	自分から人に話しかけ英語を使うようにする、発音練習をシャドーイングを通してする

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	2 期からバドミントンクラブに参加したくさんの友達ができた
余暇の過ごし方	バドミントンのクラブ活動、友達と出かける
嬉しかったこと	ホストファイリーがとても良い人たちで親切にしてくれた、カナダの人はとてもフレンドリーで英語が完璧でなくても話しかければ答えてくれたり、教えてくれる。クラブに参加し、現地の友達がたくさんできた。
苦労したこと	日本人留学生がたくさんいて、前期の語学授業はクラスメートがほぼ日本人だった、日本人間では日本語で話してしまうこと。

その他

新型コロナ関連	カナダについて空港でランダム検査に選ばれ、陽性になってしまった。陽性になってしまった。症状がなかったので特に不安ではなかった。
ヘイトクライム	友達からアジア差別のようなことを言われたと聞いたことはあるが、実際に自分は経験しなかった。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レスブリッジ大学				
留学制度	認定	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング能力が想像以上に伸びていた。また、日常会話も支障がないほどに成長できている。
学習面での課題	思ったことがまだ、日本語から英語に頭の中で翻訳しないとでてこないこと。
学習目標	TOEIC900 点分の英語能力を得ること。
そのためにやるべきこと	授業後、図書館で勉強し、家に帰ってからはホストファミリーと積極的に話す。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ホストファミリーが熱心に英語を教えてくれるから。
余暇の過ごし方	カナダでしかできないことに挑戦している。
嬉しかったこと	仲良くなった人たちが、遊びや食事に誘ってくれること。
苦労したこと	物価が高いこと。

その他

新型コロナ関連	まだかかったことがないため、感覚がわからないことと、意識が日本と異なるため、不安に感じたことはない。
ハイトクライム	特に感じたことはない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レスブリッジ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力が伸びた。以前よりも伝えたいことをすらすら発言できるようになった。語彙力が増えた。
学習面での課題	授業終了後、図書館に行ってその日の課題や復習をする。
学習目標	TOEIC900 点以上取得
そのためにやるべきこと	チャットアプリ内でも英語を使用する。現地の人と積極的に話す。ボランティア活動に参加する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	夏休み期間の授業のため、現地の友人を作る機会が少ない。
余暇の過ごし方	友人と買い物や旅行に行く。
嬉しかったこと	旅行に行ったこと。お互いの出身国のご飯を作って食べたこと。
苦労したこと	クラス内に日本人しかいないため、現地の友達作りが難しい。

その他

新型コロナ関連	実際に陽性には一度もならなかったが、何度も濃厚接触者になった。
ヘイトクライム	ない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レスブリッジ大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	国際教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に語学コースを履修（+学部科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業が全て英語で行われるため、リスニング力が格段に上がった。英語でのプレゼンの行い方が学べた。
学習面での課題	英語でのエッセイの課題が多く、日本語のエッセイの倍以上時間がかかるので大変。
学習目標	帰国後の TOEIC で 875 点以上取得
そのためにやるべきこと	毎日友達又はホストファミリーと英語で一時間以上会話する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人の友人と授業やメンタル面で支えあっており助かっているが、日本人が多い環境のため一日の半分またはそれ以上を日本語の会話で過ごしてしまう。
余暇の過ごし方	友人とダウンタウンなどに出かける。大学の図書館で勉強する。ボランティアをする。
嬉しかったこと	カナダの人々は積極的に遊びに誘ってくれる。留学生の私のために季節ごとのイベントを盛大におこなってくれてカナダの文化に触れられる。日本庭園でのボランティアを通して、日本が好きなカナダ人との交流を行っており、良い国際交流ができています。
苦労したこと	価値観の違いで人間関係のトラブルが何度か起きた。バスの時間がルーズで授業に遅刻した。

その他

新型コロナ関連	渡航直後からほとんどの人がマスクをしておらず快適だが、夏休暇アミューズメントパークに行った後でコロナに感染し、発熱や悪寒などで苦しんだ。だが、そうしたリスクを踏まえてもマスクの必要ない生活は想像以上にストレスの軽減につながったと感じる。
ヘイトクライム	カナダはアジア人がとても多いため目立った人種差別は今のところ無いが、ごくまれにアジア人女性を軽視しているとも考えられる態度で近づいてくる現地人男性がいる。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	スペイン・ウエルバ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業開始すぐの頃より、発言できるようになった。また、グループワークでもしっかり意見を言うことが出来るようになった
学習面での課題	これまで学んだことのない分野の授業は理解するのが難しい。また、スペイン語の授業もすぐに理解できない時がある
学習目標	スペイン語のレベル A2 取得
そのためにやるべきこと	スペイン人の友人とスペイン語で会話するようにする

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	大学や日常生活でも友人を過ごすことが多く、充実している。しかし、日本と異なる生活様式（アパートに住んでいるため）に戸惑うことがある。
余暇の過ごし方	友人と外出する
嬉しかったこと	日本人が 1 人もいなく、心細かった時に偶然大学で合った留学生の子に話しかけれらアパート探しやその他諸々手伝ってくれた。
苦労したこと	スペインの生活様式に慣れるのが大変だった。（活動時間がだいぶ異なる）。友人関係で苦労したことは特になし。

その他

新型コロナ関連	留学開始後 1 カ月ほどでマスクも解除された。
ハイトクライム	スペイン語で言われたため解釈が合っているか分からないが、1 度バスに乗ろうとした時に運転手に中国人かと言われた気がする。その他は特になし。

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	スペイン・グラナダ大学				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	英米語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	まだまだ困難は多いけれど、少しずつスペイン語で話せるようになってきている。
学習面での課題	英語開講でも自分の専攻と違う学部で、レベルの高い 4 年生向けの授業のためなかなか難しい。また、スペイン語開講の授業については、理解できなくて当たり前という認識が少なからず当初からあったため、蔑ろにしてしまった。もっと集中して残りの授業を受けたい。
学習目標	スペイン語である程度、日常会話ができるようにする。
そのためにやるべきこと	頻繁にスペイン語を話す環境を作る。自習で単語量を増やす。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	グラナダはスペインの中でも特に学生の街として知られる街で、たくさんの学生がいていろんな人に出会える。もう少し、スペイン語が話せればもっと楽しめるのと思う。
余暇の過ごし方	旅行（グラナダには留学生をメインターゲットとした旅行会社が 2 つあり特に人気：EMYCET Viaje, Best Life experience）、ランゲージラウンジ的な集まり、友達と外出
嬉しかったこと	バディの制度があり、バディを通じて、授業以外のプライベートで遊ぶ友達ができた。グラナダは、学生の街のため、本当に世界中から生徒が集まっていて、ラテンアメリカの学生のまた違ったスペイン語も少し学ぶことができた。
苦労したこと	スペイン語が聞き取れないことがよくあるので、その点大変。また、民間寮で寮で風邪を引いた時や朝の寝起きの時にも食堂で他の子たちと顔を合わせるのが、本当は話したいのに話せなくてつらかった。

その他

新型コロナ関連	混雑したクラブでパーティーなど、ここではコロナはもうほぼ気にしていません。
ハイトクライム	特にない、治安もいい。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	ドイツ・マールブルク大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	少人数のクラスでなら発言できるようになった。
学習面での課題	リーディングの課題をしっかりとやる
学習目標	TOEIC900 点取得
そのためにやるべきこと	リーディング課題を絶対に疎かにしない。クラスで一度は発言する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	1 人部屋なので 1 人の時間もあるし、友達と距離が近いこともあり、いろんな人と関わることもできることがよい。
余暇の過ごし方	勉強、友達とクッキング、旅行
嬉しかったこと	日本食を作ったら喜んでくれたこと。
苦労したこと	英語が話せても、ユーモアの違いや TV や音楽面の興味の違いから、周りが笑っていても楽しくないと感じるが多い。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	特にない

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	ドイツ・マールブルク大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	ドイツ語の語彙が増えた。簡単な文の聞き取りが前よりできるようになった。
学習面での課題	ディスカッションで自分の意見をスムーズに言うことができない。なるべく頭の中で整理してから発言するようにしている。
学習目標	ドイツ語で日常レベルの会話ができるようになりたい。英語でのコミュニケーションももっとスムーズにできるようにしたい。
そのためにやるべきこと	積極的に人と会話する。文法の勉強もしつつ、語彙を増やして文章をつくれるようにする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	みんな優しくて、分からないことがあったら教えてくれる。治安も良く、自然の多い環境が勉強に適しているから。
余暇の過ごし方	海外旅行や国内の違う都市に行っている。
嬉しかったこと	新しい食材に出会ったり、のんびりとした時間を過ごすことができるのはとても嬉しい。言語の壁はあるけど、私の言いたいことを理解してくれようと頑張ってくれる友達とも出会えた。
苦労したこと	特にない。

その他

新型コロナ関連	人の多いところではマスクをして感染対策をしている。ブースターを留学後に打つことができたので日本にいるときよりはコロナに対して不安には感じなかった。
ヘイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・アンジェ西部カトリック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	留学前よりも会話や聞き取りが上達した。思っていることをフランス語で相手に伝えることができるようになった。
学習面での課題	ネイティブ同士の会話がまだ聞き取れないため、ホストファミリーとの時間をなるべく多く取るようにしている。
学習目標	B2 レベルに到達する。
そのためにやるべきこと	予習復習を怠らない。毎日フランス語を使うことを意識する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	日本人の友達ばかりできてしまった。しかしホストファミリーがとても良い人たちだったので良い関係を築くことができた。
余暇の過ごし方	散歩や買い物や映画を見る。
嬉しかったこと	ホストファミリーと多くの時間を過ごせたこと。海外の友達ができたと。
苦労したこと	現地での銀行の開設や保険の申請に苦労した。 日本人の輪からなかなか抜けられなかった。

その他

新型コロナ関連	コロナに罹ってしまったこと。1 週間大学に行けなかったので授業に追いつけるか心配だった。
ヘイトクライム	特にない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・アンジェ西部カトリック大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	・使える語彙が増えた。 ・以前より積極的に話せるようになった。 ・日常生活では相手の発言をほとんど聞き取れるようになったと思う。
学習面での課題	授業で取り組んでいるリスニングが難しい時がある。 克服のために家で音源を聞いたり、日ごろからホストファミリーの話を積極的に聞くようにしている。
学習目標	大学のテストで七割以上をとる。
そのためにやるべきこと	帰宅後や休日に苦手な項目を毎日 30 分以上復習する。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	外国人学生との交流は順調なので満足していますが、他大学から留学している日本人学生に嫌がらせをされたことがあります。（無視や仲間外れにされるなど）私の友人も嫌がらせを受けていたので、なぜ嫌がらせをするのか聞いて、辞めるように言い、謝罪されたので今はもう解決済みです。和解後は仕方ないので何事もなかったように接するように努力しています。
余暇の過ごし方	買い物に出かけたり、観光に少し遠出することもあった。
嬉しかったこと	日を追うごとにホストファミリーや外国人の友人との会話が楽しめるようになったこと。外国人の友人からあなたと友達になれてうれしいと声をかけてもらえることが何度かあったこと。
苦労したこと	留学に来てから現地の大学で行った保険加入の手続きが大変でした。私の場合はホームステイだったため、渡航前の手続きにおいて戸籍謄本や銀行の RIB は必要なかったのですが現地の保険加入のためにそれらの書類が必要だと急に言われて大変でした。日本にいる家族に協力してもらい、データで書類を送ってもらいました。私だけならまだしも、日本にいる家族に面倒をかけてしまいとても申し訳なかったです。日本とのやり取りは時差があるので大変でした。 また、他大学から留学にきている日本人学生に嫌がらせ（無視・仲間外れにされるなど）を受けたことも大変でした。折角留学に来たのに、私だけ我慢して嫌な気持ちでいるのはつらいので面と向かって嫌だと伝えました。滞在中はどうしても日本人学生同士の協力が必要な場面もあり、和解した後は仕方なく仲良くしているのですが、一時期はとてつなかったです。海外に滞在し、慣れない環境の中で生活しているのにもかかわらず、同じ国籍の学生に嫌がらせをする人の気が知れないと思いました。世の中いろんな人がいることを自ら反面教師として教えてくれたのだと思うようにしています。

その他

新型コロナ関連	一緒に留学している先輩と私のホストファミリーのベトナム人の学生がコロナに感染し、大変でした。私は二人と明らかに濃厚接触していたため毎日検査をしました。家のトイレ（共同）も便座に座らないようにしたり、自分の部屋の外に出るときはマスクとビニール手袋をして生活していました。食器類も同じものを使わないように使い捨てのものを使っていました。
ヘイトクライム	特になし

学習成果レポート I（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・トゥールーズカトリック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	今まで何となく理解していたものが明確になり自分で使っていけるようになった。リスニング力が上がった。
学習面での課題	単語力が足りない。本や新聞、ニュースを見て語彙を増やしている。
学習目標	TCF または DELF で B2 を取りたい
そのためにやるべきこと	試験対策の時間を毎日 2 時間作る

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	毎月クラスメートの入れ替わりがあるためずっと仲良くしていける人がいないのと、同年代がいらない時があった。
余暇の過ごし方	友達とあつたり予定がないときは勉強する。
嬉しかったこと	違う学校にも友達ができた事
苦労したこと	留学当初、公共交通機関のカードを買ったり、口座を開けたりやらないといけない事があるが頼れる人がいなくて、わからないことをとにかくネットで調べてずっとパソコンと向かっていたこと。

その他

新型コロナ関連	
ヘイトクライム	公共交通機関の中でのマスク義務がなくなった途端本当にだれもマスクをしなくなって驚いた

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・トゥールーズカトリック大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	日本にいたときに勉強した文法事項の理解が深まった。フランス語で発言し話すことを強制される授業環境に置かれているので、単純にフランス語を話すことのハードルが下がった。 テーマに沿って授業が進んでいくので、各分野の語彙を紐づけて理解し、覚えることができています。
学習面での課題	授業の内容は難しすぎることなく、よくわからないことがあったらその場で質問をして理解しながら授業を受けているが、1 問の長さが長いリスニングにまだ慣れず、苦手意識を感じているので、この夏休みも含め、授業外でも自分でニュースなどを使ってリスニングの訓練をしていく。 理解している文法がライティングのときに間違えていたり性数一致を忘れていたりすることがまだあるので、授業外でアウトプットする時間（日記を書く、テーマを決めて文章を書いてみる）をつくっている。
学習目標	帰国までに B2。帰国後仏検準 1 級を目指せるレベルになりたい。
そのためにやるべきこと	平日でも自習時間 5 時間。習ったことを忘れないように繰り返す。 フランス人と話さなくても、なるべくフランス語を使う。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	楽しいこともあればもちろん大変なこともある。文化や国民性のちがいに驚いたり、初めて感じるものがたくさんあるけれど、何かを乗り越えるたびに成長しているんだなと思えるから。
余暇の過ごし方	授業がないとどうしてもフランス語に触れる機会が減ってしまうので、動画やニュースを流して強制的にフランス語を聞いている。 朝早くに起きて学校に行かなくていいので、自分のペースで休んで、勉強している。 来月からまた頑張れるためのリセット期間にしたい。
嬉しかったこと	留学初期に出会ったフランス人の友だちがよくしてくれ、困ったことがあると助けてくれてありがたかった。 クラスの人たちの年齢や国籍が様々だったので、いろいろな人と関わって一緒に勉強できたのは楽しかった。
苦労したこと	円安が本当にひどく、金銭面で気を使うことが多い。 クラスメイトの年齢層が様々で、前期は同世代の人がほとんどいなかった＆短期でやめていく人がほとんどなので友達が作りにくかった。 フランス人と交流できる機会が思っていたより少なかった。

その他

新型コロナ関連	フランスについたばかりのときからコロナウイルスへの危機感は日本にいたときよりも断然低かったし、周りでも感染したという話を多く聞いていたので怖かった。今はもうマスクは強制ではないのでしている人はほとんどいないので、どこで感染してもおかしくないと思う。
ヘイトクライム	アジア人だから、日本人だからという理由で差別や何か嫌なことをされたことはないが、街中でもこちらが日本人だとわかると話しかけてくる人がすごく多い。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・パリ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	国際コミュニケーション
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	自分の専門に関してパリの大学で行われている教育の姿が分かった。またフランス語話者に対する実際の日本語の教育現場を理解することもできた。
学習面での課題	専門的な話になると、日本語では発言したい内容が多くあるがフランス語で伝えるのが難しく感じて日本にいる時に比べて消極的になっていると感じる。授業後に先生や学生に時間を取ってもらって話す機会を設けていただいている。
学習目標	なるべく多くの公演に参加するなどして知見を広めたい。
そのためにやるべきこと	知人も増え、学会や研究会を紹介していただいている。今後も将来の仕事に繋がるよう自分から積極的に行動したい。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	パリは学術において非常に優れた街だが、他方小さな街でもありどこにでも簡単に足を運ぶことができる。小さく凝縮された街だからこそ、友人とも連絡を取りやすく、気になる公演や美術館などにも気軽に足を運びやすい。
余暇の過ごし方	伝統的なフランス料理店に行ったり、美術館や歴史的な建築物を見て回っている。半年や一年の滞在であれば、パリから一歩も出なくともやってみたいことは尽きないように思う。
嬉しかったこと	パリは外国人が多い街であり、日本人の留学生も少なくないので交流する機会が多い。情報を交換したり、困った時に助け合うことができるのは留学生が多いことのメリットだと思う。
苦労したこと	パリ人は純粋なフランス人ではなく、国籍豊かな家庭であることが多い。その為に多くの人が各家庭の国の訛りを残したフランス語を使うことが多く、またパリ人は他の都市と比べても早口であることが知られている。ある程度のフランス語力を持った上で臨まなければ、他の都市に留学するよりも言語に慣れるのに時間がかかるかもしれない。

その他

新型コロナ関連	パリは非常にコロナウイルスの感染者が多く、また頻繁にワクチン接種に対するデモも行われている。友人がコロナに感染することも今や何とも思わないほど当たり前のこととなってしまったが、自身も体調を崩した時期がありコロナウイルスではなかったかと思いつくこともある。
ヘイトクライム	パリ人はアジア人の国籍を見分けることに比較的優れているように感じる。街を歩いていてアジア人に興味を持ち話しかけて来る人が多いが、日本人以外に間違えられたことがない。また想定していたよりもアジア人に対する差別などは少なく、今のところ差別されている現場を見たこともない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	フランス・ボルドーモンテニュ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	語彙が増えた。文法の細かい部分を理解できるようになった。
学習面での課題	リスニングが苦手なので、家でもラジオ等を聞いている。
学習目標	全授業の成績で良以上。
そのためにやるべきこと	毎日 2 時間、週末はそれ以上勉強。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	クラスメイトも優しく、授業楽しい。
余暇の過ごし方	お出かけか、寮でごろごろ。
嬉しかったこと	日本人以外の友達と休日遊びに行ったこと。
苦労したこと	最初は手続きなど分からないし、フランスに行ったのが初めてだったため、習慣がよく分からなかった。周りのクラスメイトのレベルの高さに焦った。

その他

新型コロナ関連	なし
ヘイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	ベルギー・ブリュッセル自由大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	活用できる単語数が増えた、特に歴史についての知識、単語が増えた
学習面での課題	リスニング、長文読解が苦手なのでスキマ時間にフランス語の記事を読んだり、ラジオを聞いたりしている。
学習目標	DELF C1 取得
そのためにやるべきこと	リーディング、リスニング力の向上

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	現地の友人もできたので友人関係は満足しているが、住んでいる場所が治安が悪いので、何かと物騒なことが度々起き、生活面には不満を感じている
余暇の過ごし方	カフェで勉強、市外に日帰り旅行、友達と遊ぶ
嬉しかったこと	気にかけてくれる人が多く、困ったらすぐに手助けしてくれたこと
苦労したこと	最初は留学生間でしか友達を作れなかったため、使用言語が英語ばかりでフランス語を使えなかったのが不満だった。

その他

新型コロナ関連	特になし。三月以降は規制がほぼ撤廃され徐々にマスクのない生活ができてうれしかった。規制撤廃後はコロナの話題を全く聞かなかったため、7月に知人が新型コロナにかかった際には「新型コロナなんてもう存在しないと思っていた」と話していた。
ヘイトクライム	特にないが、ごくまれに街を歩いていると「チャイナ！」と言われる。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	ベルギー・ブリュッセル自由大学				
留学制度	TESS II	留学期間	1 年	学科	フランス語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業内容の理解度が回数を重ねるごとに高まっていった
学習面での課題	未だ語彙力が弱い、日々新しく学んだ単語を積極的に使うように努力している
学習目標	TCF B2 レベル獲得
そのためにやるべきこと	日々の学習

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	現地出身の多くの人、他ヨーロッパ国からの留学生など多くの友人ができた
余暇の過ごし方	ヨーロッパ各国を旅し、様々な異文化を体験した
嬉しかったこと	コミュニケーションが滑らかにいくようになったこと
苦労したこと	慣れるまでに時間を要してしまった

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	ベルギー・リエージュ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	現代英語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できている
学習成果	授業での英語や専門用語を外大以上に理解できるようになった。
学習面での課題	授業内で出てくるフランス語や大学院生向けの英語の誓いをしなくてはならないところ。
学習目標	帰国までに TOEIC850 点
そのためにやるべきこと	毎日フランス語の勉強と英語の専門知識を本や教材から学ぶ事。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ベルギーでは、到着した当日から駅員さんから現地の人、またはベルギーを訪れていた海外の人まで誰しもが私に優しく接してくれている。また、留学中には腹を割って話せる親友もできた事や、毎回遊びに誘ってくれる友達、勉強の手伝いをしてくれる友達など友人関係に困ったことはない。
余暇の過ごし方	現地の友達との交流。
嬉しかったこと	舞子は、もっと自分に自信を持ってほしいとどんな人からも言われたこと。
苦労したこと	ご飯がほとんどグルテンです。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	韓国・釜山外国語大学校				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	世界教養
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	韓国の文化や経済状況など、授業や友人との会話で理解しつつある。今後も授業を通して、より深く理解したい。
学習面での課題	特になし。生活面では言語。
学習目標	単位を落とさない。
そのためにやるべきこと	毎回出席とテスト対策

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	日本語を話せる韓国語が多い
余暇の過ごし方	お酒を飲んだりお出掛けをしたりする。
嬉しかったこと	韓国人の友人がたくさんできたこと。
苦労したこと	言語。日本語か英語のわかる学生としか仲良くなれない

その他

新型コロナ関連	体感、回りの半数以上がかかっていること。
ハイトクライム	ない。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキング、リスニングがかなり鍛えられた。
学習面での課題	話す、聞く力がまだまだ足りないので、中国語で友人と沢山会話するようにしてます。
学習目標	留学終わるまで成績 90 点以上はキープしたいです。
そのためにやるべきこと	毎日帰宅後最低 4 時間は勉強するようにしてます。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	円安が酷すぎます。
余暇の過ごし方	友人と出かけてます。
嬉しかったこと	日本の製品が簡単に手に入るので安心して生活できます。
苦労したこと	台湾の料理が口に合わないことが多いです。

その他

新型コロナ関連	最近はまだ落ち着いている方ですが、ほんの数週間前まで台湾のコロナの状況はとても酷く、いつ自分がコロナにかかってもおかしくない状況でした。
ヘイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業内での発言が増えた、話す際に文がすらすら出てくるようになってきた
学習面での課題	発音や声調の正確度がまだまだあやしい 語学コース留学であることと本科生たちと異なるキャンパスに通っており台湾人と交流することが少ないため、サークルに参加することで現地の学生と交流する場に身を置くようにしている。
学習目標	授業成績 80 点以上
そのためにやるべきこと	スピーキング力を伸ばすために、クラスでたくさん発言したりネイティブスピーカーと会話する機会を増やす

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	勉強と趣味を両立できているから
余暇の過ごし方	平日の疲れをとるため部屋で休息する
嬉しかったこと	ルームメイト間でもめ事がないこと
苦労したこと	周りの日本人と自分を比べてしまってた時折落ち込むこと

その他

新型コロナ関連	隔離期間が長い、感染対策がしっかりしすぎている
ハイトクライム	なし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	半年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキングに特化してもらえているのでスピーキング能力が向上しました。
学習面での課題	スピーキング能力がある程度伸びた後に、停滞期に突入してしまうので、そこで諦めずに、間違えてもいいからとにかく中国語を話すということを毎日意識しています。
学習目標	帰国までには、今よりもっとネイティブな中国語を話せるようになることが目標です。
そのためにやるべきこと	毎日積極的に現地の人と中国語で会話をする。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	さまざまな国籍のさまざまなバックグラウンドがある友達と出会えて刺激ももらえてすごく楽しい留学生活を送れているからです。
余暇の過ごし方	とにかく外に遊びに行って中国語を喋る機会を作っています。
嬉しかったこと	初めて出会った時からフレンドリーに話しかけてくれる子が多くて嬉しかったです。
苦労したこと	語学学校なので、まだまだ中国語を喋れない子もたくさんいて、英語で会話なので、英語で苦労しました。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅢ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	スピーキングを練習する機会が増えた。積極的に発言できるようになった。
学習面での課題	コロナの関係で語学授業のみの留学になったため、1 日の授業時間が午前中の 3 時間のみであること。検定試験用のクラスを受講して午後の時間を有効活用したり、クラスメイトと授業後に会話したり、自習するなどしている。
学習目標	次回の成績表で前回の点数を超える。
そのためにやるべきこと	毎日宿題以外に 1 時間自習する。時間を上手に活用する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	語学学校での生活はあまりメンバーの入れ替わりがないのでマンネリ化している気もするが、様々な国に知り合いができたのでおおむね満足している。
余暇の過ごし方	旅行に出かける。
嬉しかったこと	それぞれ母語ではない言語を通して世界各国に友達ができたこと。実家を出て生活能力が上がったこと。ルームメイトのタイ人との関係が極めて良好であること。
苦労したこと	共同生活に慣れるまではストレスが大きく大変だった。実家を出たことがなかったのも最初は何もできなくて同じ大学の先輩に助けもらった。食事が基本脂っこいこと。

その他

新型コロナ関連	1 週間の隔離を計 2 回経験して学校に行くことができずオンラインで受けた。1 回目は週末一緒に遊んだ人が感染し、2 回目はルームメイトが 2 人感染したためいわゆる濃厚接触者として隔離された。どのように動いたら良いかの指示があまりスムーズに得られず困惑した。
ハイトクライム	特になし。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	半年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	授業で積極的に発言をできるようになって、台湾でしか使わない単語や表現などを身に着けるようになりました。また、外国と台湾の方々と交流し、自分の視野が広がりました。
学習面での課題	「台湾弁」を喋れなくて台湾人と話す時に上手く伝えない場合があります。台湾弁を学ぶために台湾人と常に会話し、台湾弁のコツを探した結果、中国語の e r と i n g を発音するときに鼻を使わないことが大事だと分かりました。
学習目標	授業に遅刻や欠席しないこと、成績をクラスの 1 位になる、台湾弁を完璧まで習得する。
そのためにやるべきこと	生活習慣を崩さないように意識する、小テストやグループワークなどしっかり復習と準備を行う。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	台湾にきてから色々ありましたが、逆に台湾でしか経験できないことをたくさん味わえて満足です。
余暇の過ごし方	仲がいい日本の先輩たちと台湾のグルメや名勝スポットに訪ねました。また、ルームメイトの悩みを聞いたり、お互いにそれぞれ人生の経験を語ったりなどをしていました。
嬉しかったこと	一緒に台湾に来ている外大の先輩たちと初対面にも関わらず、仲良くしてもらえてとても嬉しかったです。周りの人たちも優しくて、孤独や寂寥な感情が全くないです。
苦労したこと	初めてのルームシェアなので、部屋のいる他の 4 人と性格と生活習慣が合わず、話し合いをして、慣れるまで苦労しました。

その他

新型コロナ関連	5/9 に濃厚接触者として部屋で自主隔離、5/13 にルームメイト①が陽性で隔離リセット、5/17 にルームメイト②が陽性で隔離リセット、5/19 にルームメイト③が陽性で隔離リセット。5/26 までほぼ三週間の隔離生活を体験しました。この長い間、ご飯や風呂以外でマスクをずっとつけたままで退屈でしたが、コロナにかからなくて本当によかったです。
ヘイトクライム	全くないです。特に不安もないです。

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・銘伝大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時から実際に渡航して留学中				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力が上がった
学習面での課題	スピーキング力が足りないため先生や台湾人と多く話す必要がある。
学習目標	HSK6 級相当の中国語力を得る
そのためにやるべきこと	毎日最低 2 時間の検定勉強に加え台湾の空気に触れリスニング力とスピーキング力を鍛える。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	頼れる先生方や友人ができ、また食生活や街の空気が日本に似ているためあまり寂しさを感じることなく過ごすことができる。
余暇の過ごし方	台湾旅行をしたり、街に出て買い物などをして過ごしています。
嬉しかったこと	國をまたいで多国籍の友人たちと中国語を使って会話をしながら夜市を回ったり、日本に詳しい子からアニメや文化について聞かれたり、好きだといってもらえたこと。
苦労したこと	文化が違いため、時間の感覚が違ったこと。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	中国・北京外国語大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時からオンライン留学（日本滞在）				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	間違いを恐れず自ら積極的に発言できるようになったことが最も大きい成果だと感じています。また以前に比べ口語を使い話せるようになったこと、中国の文化、クラスメートの国の文化を学べたことも大きな成果だったと考えています。
学習面での課題	授業以外で日常的に中国語を聞く?話す状況を作ることが難しい
学習目標	成績 A 以上 HSK5 級 中国語検定準 1 級に挑戦したい
そのためにやるべきこと	予習復習を引き続きしっかりと取り組み、自習の時間を作れるよう効率よく予習復習を終わらせたい

生活面

友人関係や生活の満足度	不満
その理由	モチベーションを保つのが難しい
余暇の過ごし方	外に出て気分転換をする
嬉しかったこと	家族と過ごす時間は増えた
苦労したこと	生活リズムが国によって違うため、授業以外で交流する場を作るのが難しい

その他

新型コロナ関連	仕方がないことではあるが、現地に行けないのがとても残念
ハイトクライム	特になし

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	中国・北京外国語大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時からオンライン留学（日本滞在）				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	反射的に出る言葉（激しい討論の中での反論、挨拶など）が中国語になった。800 字程度の比較的長い作文も書けるようになった。わからない言葉を英語で補うことをしなくなった。
学習面での課題	授業中発言しようとしたときに、ほかの生徒と発言タイミングが被るとすぐ譲ってしまい発言できない。答えが分かったタイミングでなるべく早くミュートを解除し発言するようにしている。
学習目標	HSK6 級 180 点以上、中国語検定準 1 級合格
そのためにやるべきこと	予習復習を各授業 30 分以上行う。先生に積極的に質問する。必須ではない課題も特別な理由がない場合は必ず提出する。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	Wechat など授業外でもコミュニケーションをとることができ、何人かのクラスメイトとは交流を深めているが、オンラインでできることには限りがある。
余暇の過ごし方	通常の学期内と同じように、宿題をする、体を動かす、趣味に勤しむなど。
嬉しかったこと	フィギュアスケート世界選手権の際、日本選手が上位に入ったことをクラスメイトが報告、祝福してくれた。
苦労したこと	各々違う国にいるため、時差の関係で深夜に連絡が来たり、急ぎの連絡が伝わらないことがあった。

その他

新型コロナ関連	
ハイトクライム	

学習成果レポートⅠ（中間報告） 2022 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	中国・北京外国語大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
留学形態	留学開始時からオンライン留学（日本滞在）				
履修コース	語学コースのみ				

学習面

授業理解度	問題なく理解できている
学習成果	リスニング力の向上 積極的な発言
学習面での課題	文法のミス
学習目標	HSK5 級高得点
そのためにやるべきこと	毎日の自習六時間以上、意識的に中国語を聞く。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	オンライン留学なのにも関わらず、授業外でも交流をするから。
余暇の過ごし方	勉強、休憩
嬉しかったこと	多くの国の人と関わっていること。
苦労したこと	伝えたい事が違うニュアンスで伝わってしまう事がある事。

その他

新型コロナ関連	渡航できない事。
ヘイトクライム	